

平成 30 年 度

事業 年 報



一般財団法人 茨城県メディカルセンター

ま え が き



日頃よりセンター事業の運営につきましては、特段のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当センターにおきましては、平成30年1月に人間ドック棟の建設に着手し、平成31年2月末に完成、平成31年4月から新しい人間ドック棟で健診を開始いたしました。人間ドック棟は、女性健診専用エリアや内視鏡エリアなどを設け、最新の医療機器を備えた精度の高い健診を可能とするとともに、隣接する逆川緑地の景観との調和を考慮し、環境に優しく、快適で魅力ある施設となりました。

今年度は、本館の耐震補強・リニューアル工事に着手いたしますが、受診者をはじめ来館者の皆様方にはご迷惑がかからないよう工事を進めてまいりますので、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

さて、平成30年度の事業実績につきましては、産業保健事業においては、一般健康診断、特殊健康診断、ストレスチェック検査等が前年度実績を下回ったものの、総合健診事業の人間ドックでは、前年度を若干上回る実績を残すことができました。

学校保健事業につきましては、少子化の影響により受診者数は年々減少傾向にあります。

また、茨城県からの受託事業のうち、視覚事業・聴覚事業につきましては、ほぼ例年並みの実績を残すことができましたが、小児救急医療電話相談事業は平成30年9月末、救急医療情報コントロール事業は平成31年3月末にそれぞれ事業の見直しが行われたことにより、委託が終了となりました。

医療機器の整備については、胃部X線透視撮影装置、胸部X線撮影装置、乳房X線撮影装置等を更新し、画像精度の向上を図りました。

今後とも、健診施設の充実や検査精度の維持向上に努め、県民の皆様の健康保持・増進を支援してまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ここに平成30年度事業年報を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

令和元年10月

一般財団法人 茨城県メディカルセンター

理事長 諸 岡 信 裕

目 次

第1章 各事業の運営状況

事業の概要	1
1 自主事業実績	1
(1) 総合健診事業	1
(2) 健康増進事業	1
(3) 産業保健事業	2
(4) 学校保健事業	2
2 委託事業実績	2
(1) 視覚事業	2
(2) 聴覚事業	2
(3) 救急医療情報コントロール事業	2
(4) 小児救急医療電話相談事業	2

I 総合健診事業

1 概 要	3
(1) 一日人間ドック	3
(2) 女性健診	3
(3) 単独健診	3
(4) オプション検査	3
(5) 受診者の状況	4
2 健診結果成績	7
(1) 健診結果成績	7
(2) 総合判定比	8
3 主なオプション検査別受診者数	9
4 主なオプション検査別成績	10
(1) 子宮検査	10
(2) 乳房検査	10
(3) 胸部CT検査	10
(4) 喀たん細胞診検査	11
(5) BNP検査	11
(6) 心臓・血管ドック	11
(7) リウマチ検査	12
(8) 胃の健康度チェック検査	12
(9) 腫瘍マーカー検査	12
(10) 骨粗しょう症検査	13
(11) HPV検査	13
(12) 甲状腺機能検査	13
5 その他の検査	14
(1) 内視鏡検査	14
6 有所見一覧	15
(1) 感染症及び寄生虫症	15
(2) 新生物／「がん」疑い含む	15
(3) 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	16
(4) 内分泌、栄養及び代謝疾患	16
(5) 眼及び附属器の疾患	16

(6) 耳及び乳様突起の疾患	17
(7) 循環器系の疾患	17
(8) 呼吸器系の疾患	17
(9) 消化器系の疾患	18
(10) 尿路性器系の疾患	19
7 精密検査の結果（確定）	20
(1) 新生物	20

II 健康増進事業

1 概 要	21
(1) 指導方法	21
(2) 特定保健指導	21
(3) 特定保健指導の対象者の選定と階層化	22
2 特定保健指導実績	23
(1) 保健指導者数	23
(2) 性別・年齢別受診者数	23
(3) メタボリック判定	24
(4) 初回面談時の行動変容ステージ	24
(5) 腹囲からみた該当リスク	25
(6) 修了者の体重変化	26
(7) 喫煙	26

III 産業保健事業

1 概 要	27
(1) 一般健康診断	27
(2) 生活習慣病健診	27
(3) 特殊健康診断	27
(4) ストレスチェック検査	27
2 各種健康診断の実績	28
(1) 一般健康診断	28
(2) 生活習慣病健診	28
(3) 特殊健康診断	28
(4) ストレスチェック検査	28
3 一般健診及び生活習慣病健診結果成績	29
4 特殊健康診断結果成績	30
(1) 有機溶剤	30
(2) 電離放射線	30
(3) 鉛	30
(4) じん肺	30
(5) 石綿	31
(6) 特定化学物質	31
(7) 有害光線	31
(8) 振動工具	31
(9) 騒音	32
(10) V D T	32
5 有所見一覧	33
(1) 感染症	33

(2) 新生物	33
(3) 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	33
(4) 内分泌、栄養及び代謝疾患	34
(5) 眼及び附属器の疾患	34
(6) 耳及び乳様突起の疾患	34
(7) 循環器系の疾患	35
(8) 呼吸器系の疾患	35
(9) 消化器系の疾患	36
(10) 尿路性器系の疾患	37

IV 学校保健事業

1 概要	39
(1) 検査項目と対象者	39
2 各種検診実績	40
(1) 受診者数	40
(2) 幼児・児童・生徒・学生成績	41

V 視覚事業

1 概要	43
(1) 視覚検診車による視覚移動検診	43
(2) 視覚センターにおける視覚精密検査	43
(3) 年度別事業実績の推移	44
2 事業実績の内容	44
3 事業状況	45
(1) 視覚移動検診市町村別検診状況	45
(2) 視覚精密検査市町村別受診状況（初来者）	46
(3) 視覚事業県内利用分布図	47
4 視覚移動検診の結果	48
(1) 市町村別検診結果	48
(2) 年齢（学年）別検診結果	50
(3) 裸眼視力内訳	50
(4) その他の眼疾患（疑い）内訳	51
5 視覚精密検査の結果	52
(1) 受診経路（初来者）	52
(2) 年齢構成別診断名内訳（初来者）	52
(3) 年齢構成別屈折種別内訳（初来者）	53
(4) 受診後の処置（初来者）	53

VI 聴覚事業

1 概要	55
(1) 業務の内容	55
(2) 実績	56
(3) 受診者の居住分布	56
2 業務別の様態	58
(1) 診断の部（実人数）	58
(2) (リ) ハビリテーションの部	63
(3) 管理の部	66

Ⅶ 救急医療情報コントロール事業

1 システム全体の流れ	69
2 参加機関と内容	70
3 提供情報	70
4 救急医療情報システムの運営状況	71
(1) システム登録医療機関等	71
(2) コントロールセンターにおける医療機関案内状況	71
5 消防本部の運営状況	73
(1) 消防本部における応需情報検索状況	73
(2) 消防本部における医療機関案内状況	73
(3) 一斉照会利用状況	74
6 医療機関の診療応需状況	74
曜日別・時間帯別医療機関診療応需状況	74
7 インターネットによる情報利用状況	74
県民向けページ利用状況	74

Ⅷ 小児救急医療電話相談事業

1 事業の経緯	75
2 事業の運営状況	75
(1) 月別相談件数	75
(2) 二次医療圏別相談件数	75
(3) 時間帯別相談件数	76
(4) 相談内容別相談件数	76
(5) 年齢別・症状別相談件数	76

第2章 概 要

1 法人の運営組織図	77
2 役員，評議員，顧問，相談役，参与，名誉所長，委員会名簿	78
3 職員の配置状況	79
4 施設の概要	80
5 センターの沿革	84
法人のあゆみ	84
6 主な医用機器及びコンピュータ機器	90
(1) 総合健診部	90
(2) 健診普及部	91
(3) 臨床検査業務／検査室関係	93
(4) 読影室関係	94
(5) 公共事業部	94
7 学会及び研修会	96

第3章 業績目録

1 学会・研究発表	101
-----------	-----

第 1 章 各事業の運営状況



事業の概要

当センターの事業は、県民の皆様の健康増進や生活習慣病対策の確立、救急医療情報網の整備を目指し、地域に密着した保健活動を実践している。

平成30年度は、自主事業である「総合健診」「健康増進」「産業保健」「学校保健」と県からの委託事業である「視覚」「聴覚」「救急医療情報コントロール」「小児救急医療電話相談」の8事業を運営しており、事業実績は、次のとおりである。

1 自主事業実績

(1) 総合健診事業

(人)

種 別		実 績	備 考
一 日 人 間 ド ッ ク		18,241	
ミニドック等生活習慣病健診		188	
乳 が ん ド ッ ク		447	
肺 が ん ド ッ ク		37	
心 臓 ・ 血 管 ド ッ ク		322	
B N P 検 査		1,088	
リ ウ マ チ 検 査		350	
女性健診	女 性 健 診 総 数	7,041	
	子 宮 検 診	6,189	
	乳 房 検 診	6,792	
腫 瘍 マーカー	前立腺がん(PSA)	2,551	
	肝 臓 が ん (AFP)	1,478	
	消化器系がん(CEA,CA19-9)	1,955	
	卵 巣 が ん (CA125)	731	
C T 検 査	健 診 オ プ シ ョ ン	830	胸部
	二 次 検 査	576	胸部
	そ の 他 の 二 次 検 査	60	胸部・腹部等
骨 粗 し ょ う 症 検 査		814	
喀 た ん 細 胞 診 検 査		189	
胃 の 健 康 度 チ ェ ッ ク 検 査		696	
H P V 検 査		258	
甲 状 腺 機 能 検 査		592	
胃 内 視 鏡 検 査		1,055	医師の指示により実施

(2) 健康増進事業

(人)

種 別		実 績	備 考
動 機 付 け 支 援		315	
積 極 的 支 援		310	

(3) 産業保健事業 (人)

種 別	実 績	備 考
一 般 健 康 診 断	53,725	
生 活 習 慣 病 健 診	24,222	
特 殊 健 康 診 断	12,240	有機溶剤・鉛・電離放射線・じん肺・その他
ス ト レ ス チ ェ ッ ク 検 査	9,314	
そ の 他	12,964	腹部エコー・P S A検査・腫瘍マーカー等

(4) 学校保健事業 (件)

種 別	実 績	備 考
幼 児 ・ 児 童 ・ 生 徒 ・ 学 生	83,181	
教 職 員	5,128	
(内 教職員ストレスチェック検査)	417	

2 委託事業実績

(1) 視覚事業 (人)

種 別	実 績	備 考
移 動 検 診	11,949	
精密検査	乳 幼 児	792
	乳 幼 児 以 外	960
	一 般	121
計	13,822	

(2) 聴覚事業 (人)

種 別	実 績	備 考
精密検査	乳 幼 児	1,366
	乳 幼 児 以 外	853
	一 般	683
計	2,902	

(3) 救急医療情報コントロール事業 (件)

区 分	実 績	備 考
案 内 件 数	30,450	平成31年 3 月31日付をもって 県からの受託終了
ホ ー ム ペ ー ジ 利 用 件 数	1,226,153	

(4) 小児救急医療電話相談事業 (件)

区 分	実 績	備 考
相 談 件 数	28,645	平成30年 9 月30日付をもって 県からの受託終了

I 総合健診事業



I 総合健診事業

一日人間ドックを主軸とした女性健診等、各種健康診断事業を実施している。

近年、県民の健康管理に対する意識の高揚の中、生活習慣病改善の施策として、特定健康診査・特定保健指導（メタボリックシンドローム）が健康保険組合等に義務化され、健康診断を主軸とした福利厚生事業の取り組みが、一段と積極的となった。

なお、平成30年度は一日人間ドック18,241人、ミニドック等188人、受診者総数18,429人（男 10,495人 女 7,934人）を実施することができた。

1 概要

(1) 一日人間ドック

検査項目		内 容
一般計測検査		身長、体重、BMI、腹囲、視力、聴力
問 診		既往歴、家族歴、生活習慣、自他覚症状の調査（特定健康診査に係わる質問22項目を含む）
眼科的検査		眼底検査、眼圧検査
循環器系検査		心電図検査（安静時）、血圧測定、心拍数
呼吸器系検査		胸部X線検査（正面・側面）、肺機能検査
腹部超音波検査		胆のう、肝臓、腎臓、脾臓、膵臓
消化器系検査		食道・胃部・十二指腸X線検査、免疫学的便潜血検査2日法、ヘリコバクターピロリ抗体（初回のみ）
尿 検 査	尿 一 般	糖、蛋白、潜血、ウロビリノーゲン、ビリルビン、ケトン体、PH、比重、亜硝酸、白血球
	尿 沈 査	赤血球、白血球、上皮、粘液、その他（蛋白、潜血陽性者のみ実施）
血 液 検 査	血 液 学 検 査	白血球数、赤血球数、Hb、Ht、MCV、MCH、MCHC、血小板数 白血球百分率（好中球、リンパ球、単球、好酸球、好塩基球）
	生 化 学 検 査	TP、Alb、A/G比、ALP、AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ-GT（γ-GTP）、T-Bil、LD（LDH）、ChE、BUN、CRE、 TG、総コレステロール、HDL-C、LDL-C、Non-HDLコレステロール、 空腹時血糖、UA、Na、K、Cl、Ca、AMY、eGFR
	免疫・血清学検査	RPR、TPHA、HBs抗原 HCV抗体（初回と節目年齢（5の倍数年齢）になる方を対象）
面 談		当日に医師の面談による総合診断・生活指導（特定健康診査情報提供を含む） ※RPR、TPHA及びHBs抗原検査については、本人希望により省略可

(2) 女性健診

検査項目	内 容
子 宮 検 診	診察、細胞診
乳 房 検 診	視触診、乳房超音波検査、マンモグラフィ検査

(3) 単独健診

検査項目	内 容
肺がんドック	問診、胸部ヘリカルCT、喀痰細胞診
乳がんドック	問診、視触診、乳房超音波検査、マンモグラフィ検査

(4) オプション検査

検査項目	内 容
心臓・血管ドック	問診、心臓超音波検査、血圧脈波検査、BNP検査、頸動脈超音波検査
B N P 検 査	脳性ナトリウム利尿ペプチド測定
胸 部 C T 検 査	胸部ヘリカルCT
喀たん細胞診検査	細胞診
骨粗しょう症検査	骨量測定（DEXA法）
胃の健康度チェック検査	ヘリコバクターピロリ抗体法、ペプシノゲン法の検査
リウマチ検査	抗CCP抗体検査、MMP-3検査
腫瘍マーカー検査	前立腺がんの指針（PSA） 肝臓がんの指針（AFP） 消化器系がんの指針（CEA、CA19-9） 卵巣がんの指針（CA125）
H P V 検 査	細胞診併用で、ヒトパピローマウイルスに感染していないかを調べる検査
甲状腺機能検査	血液中の甲状腺ホルモン、甲状腺刺激ホルモンの値を測定して、甲状腺の働きや異常を調べる検査

(5) 受診者の状況

① 月別、性別受診者数

(人)

月 \ 区分	稼働日数 (日)	男	女	合計	一日当たりの 受診者数
4	17	526	337	863	50.8
5	19	790	458	1,248	65.7
6	22	1,184	736	1,920	87.3
7	22	1,193	830	2,023	92.0
8	21	999	821	1,820	86.7
9	18	945	677	1,622	90.1
10	22	1,147	797	1,944	88.4
11	21	1,103	850	1,953	93.0
12	19	852	797	1,649	86.8
1	18	691	668	1,359	75.5
2	19	781	704	1,485	78.2
3	6	284	259	543	90.5
計	224	10,495	7,934	18,429	82.3

② 個人・団体別受診者数

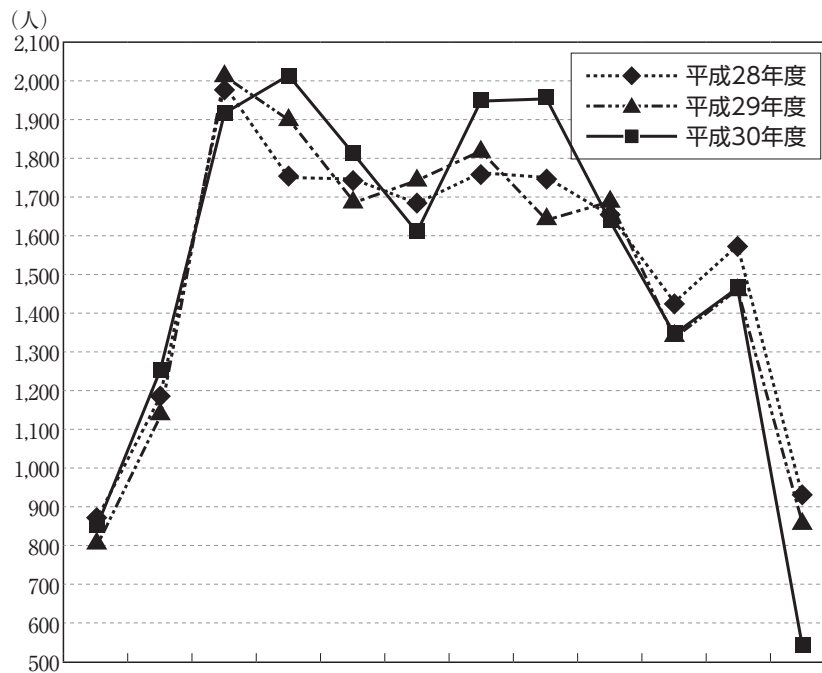
(人)

月 \ 区分	個人扱い				団体扱い				合計		
	男	女	計	比率	男	女	計	比率			
4	41	33	74	8.57	485	304	789	91.43	526	337	863
5	33	31	64	5.13	757	427	1,184	94.87	790	458	1,248
6	45	49	94	4.90	1,139	687	1,826	95.10	1,184	736	1,920
7	37	51	88	4.35	1,156	779	1,935	95.65	1,193	830	2,023
8	40	50	90	4.95	959	771	1,730	95.05	999	821	1,820
9	32	38	70	4.32	913	639	1,552	95.68	945	677	1,622
10	42	54	96	4.94	1,105	743	1,848	95.06	1,147	797	1,944
11	41	45	86	4.40	1,062	805	1,867	95.60	1,103	850	1,953
12	36	40	76	4.61	816	757	1,573	95.39	852	797	1,649
1	39	37	76	5.59	652	631	1,283	94.41	691	668	1,359
2	38	49	87	5.86	743	655	1,398	94.14	781	704	1,485
3	33	28	61	11.23	251	231	482	88.77	284	259	543
計	457	505	962	5.22	10,038	7,429	17,467	94.78	10,495	7,934	18,429

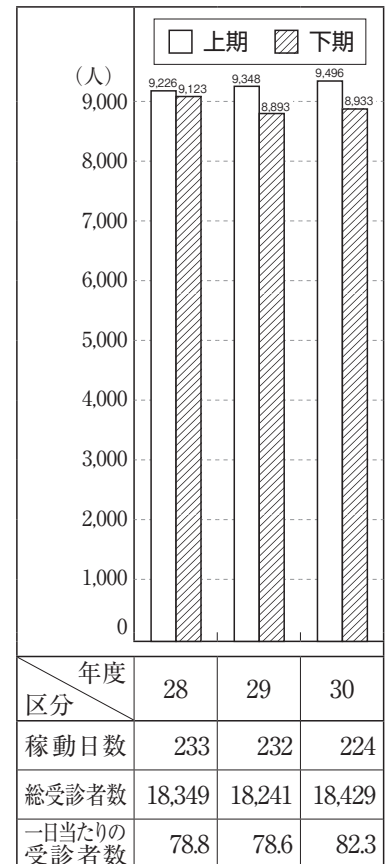
③ 健診回数分布

初・再	個 人 扱 い			団 体 扱 い			合 計			比率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
初 診	98	88	186	1,059	821	1,880	1,157	909	2,066	11.21
再 診	363	413	776	8,975	6,612	15,587	9,338	7,025	16,363	88.79
計	461	501	962	10,034	7,433	17,467	10,495	7,934	18,429	100.00

④ 過去3年間の月別受診者数の推移



⑤ 過去3年間の年度別受診者数の推移

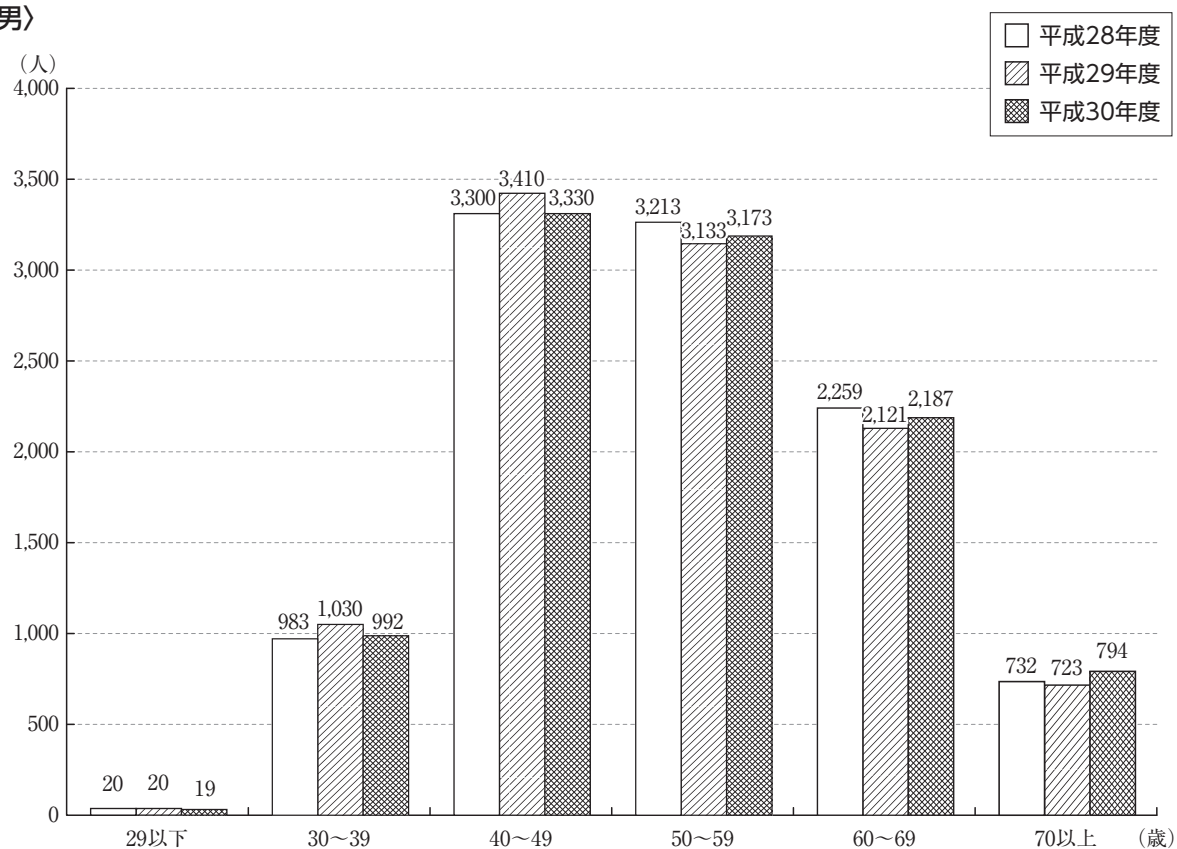


年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
平成28年度	875	1,180	1,980	1,761	1,740	1,690	1,772	1,750	1,659	1,434	1,587	921
平成29年度	816	1,155	2,010	1,907	1,697	1,763	1,826	1,667	1,698	1,349	1,477	876
平成30年度	863	1,248	1,920	2,023	1,820	1,622	1,944	1,953	1,649	1,359	1,485	543

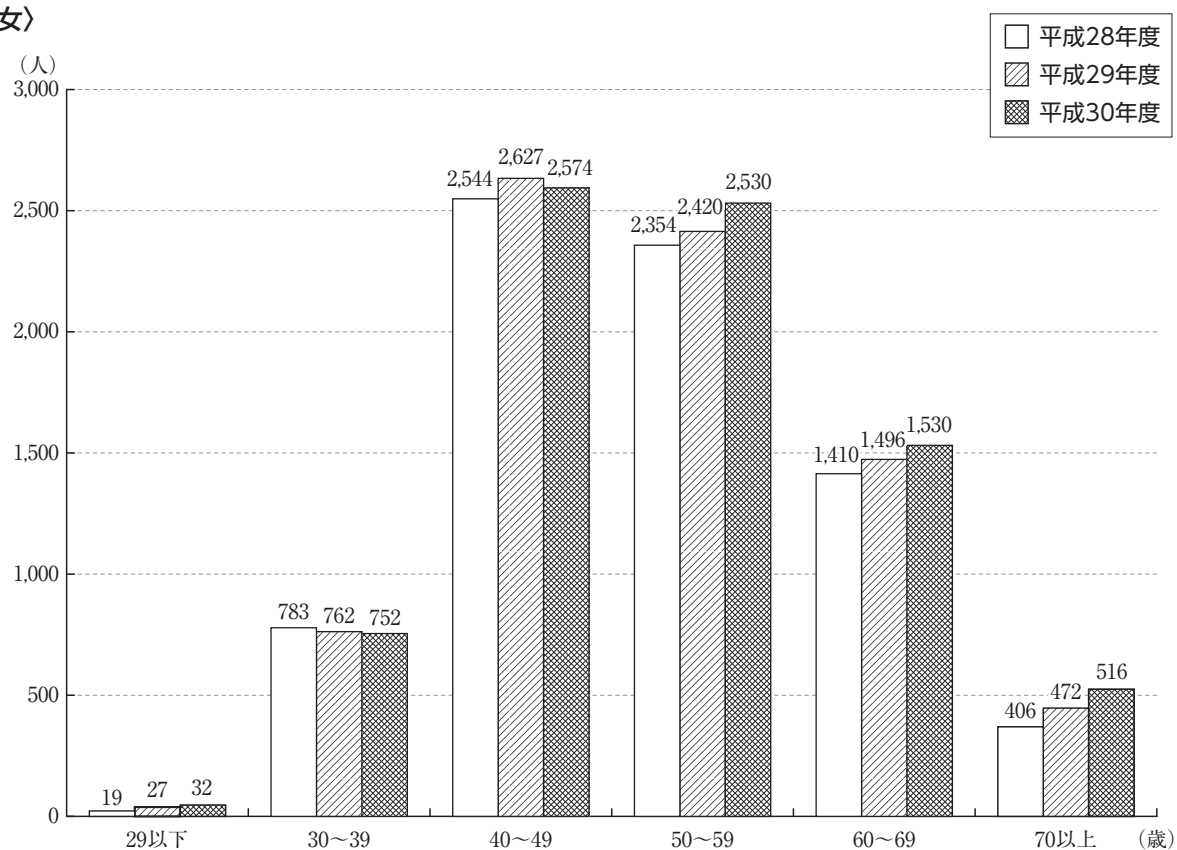
年度	28	29	30
稼動日数	233	232	224
総受診者数	18,349	18,241	18,429
一日当たりの受診者数	78.8	78.6	82.3

⑥ 年代別受診者の状況

〈男〉



〈女〉



2 健診結果成績

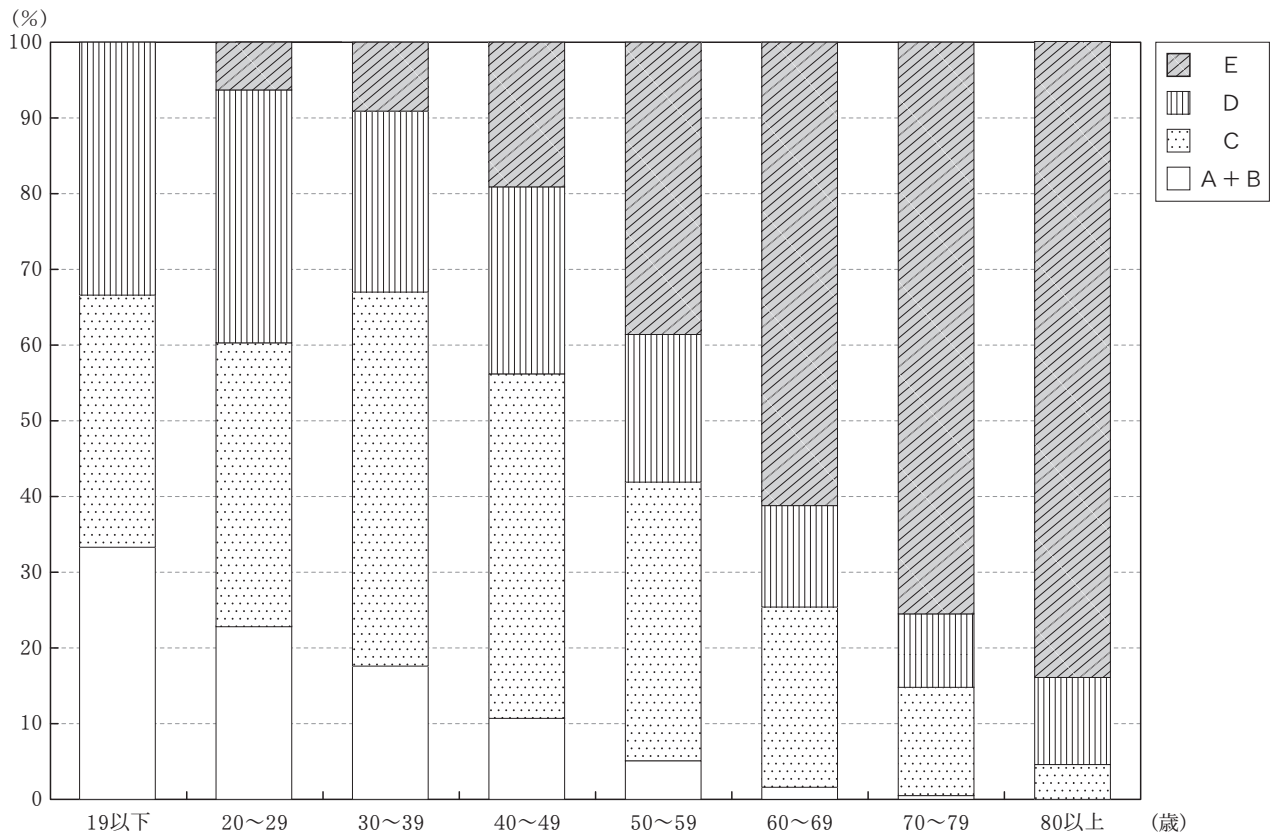
(1) 健診結果成績

男10,495人 女7,934人

年齢(歳) 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男					5	2	2								9	0.09
	女				1	1	4									6	0.08
B	男	1	1	2	42	110	170	129	70	40	23	8	2			598	5.70
	女			8	48	100	182	145	116	67	27	6	4			703	8.86
C	男		1	5	141	336	722	745	576	454	288	171	72	20	6	3,537	33.70
	女	1	4	8	86	298	550	672	589	477	265	161	65	12		3,188	40.18
D	男		2	6	67	195	410	450	349	305	208	104	51	25	9	2,181	20.78
	女	1	3	5	35	120	259	337	264	193	126	55	25	13	6	1,442	18.17
E	男			1	14	82	243	457	601	778	838	547	349	186	74	4,170	39.73
	女		1	1	10	53	143	282	382	442	467	423	262	93	36	2,595	32.71
合計	男	1	4	14	264	728	1,547	1,783	1,596	1,577	1,357	830	474	231	89	10,495	100.00
	女	2	8	22	180	572	1,138	1,436	1,351	1,179	885	645	356	118	42	7,934	100.00

健康診断の結果（判定区分について）		
A	異常なし	今回の検査では特に異常は認められませんでした。
B	軽度異常あるも 日常生活に支障なし	軽度の異常が認められますが心配のない範囲です。
C	軽度異常あり，生活習慣 改善後経過観察を要す	健康管理に留意し，定期的な検査等を受けて経過を見て下さい。 自覚症状が認められた場合はすみやかに医療機関を受診下さい。
D	要精密検査（場合によっては 治療）を要す	さらに詳しい検査，または治療が必要です。 必ず医療機関を受診し，担当される医師の指示に従って下さい。
E	現在治療中	今後とも主治医の指示に従い治療を続けて下さい。

(2) 総合判定比



年齢判定	～19		20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70～79		80～	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
A+B	1	33.3	11	22.9	307	17.6	634	10.7	293	5.1	64	1.7	6	0.5		0.0
C	1	33.3	18	37.5	861	49.4	2,689	45.5	2,096	36.8	885	23.8	169	14.3	6	4.6
D	1	33.3	16	33.3	417	23.9	1,456	24.7	1,111	19.5	493	13.3	114	9.7	15	11.5
E		0.0	3	6.3	159	9.1	1,125	19.1	2,203	38.6	2,275	61.2	890	75.5	110	84.0
計	3	100.0	48	100.0	1,744	100.0	5,904	100.0	5,703	100.0	3,717	100.0	1,179	100.0	131	100.0

3 主なオプション検査別受診者数

(人)

項目		区分	受診者数	備考
女性健診	子宮検査		6,189	
	乳房検査		6,792	
単独健診	肺がんドック		34	
	乳がんドック		447	
心臓・血管ドック			321	
B N P 検査			1,087	
胸部 C T 検査			831	
喀痰細胞診検査			199	
骨粗しょう症検査			814	
胃の健康度チェック			696	
リウマチ検査			346	
前立腺がんの指針（P S A）			2,551	
肝臓がんの指針（A F P）			1,478	
消化器系がんの指針（CEA, CA19-9）			1,886	
卵巣がんの指針（C A 125）			731	
H P V 検査			258	
甲状腺機能検査			590	

4 主なオプション検査別成績

(1) 子宮検査

男 -人 女 6,189人

年齢(歳) 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男																
	女		19	22	41	99	178	199	275	333	259	182	95	27	7	1,736	28.05
B	男																
	女	1	34	54	118	313	612	723	657	518	364	249	128	36	9	3,816	61.66
C	男																
	女		2	2	8	10	22	30	17	10	8	3	2			114	1.84
D	男																
	女		7	6	8	34	57	85	80	48	24	25	10	2	3	389	6.29
E	男																
	女				2	14	23	39	34	11	4	3	2		2	134	2.16

(2) 乳房検査

男 -人 女 7,239人

年齢(歳) 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男																
	女		28	35	64	146	263	301	284	328	260	163	107	31	5	2,015	27.84
B	男																
	女		27	56	167	389	750	933	879	704	476	332	160	53	18	4,944	68.29
C	男																
	女		1	2	6	22	35	29	28	14	3	7	4	1		152	2.10
D	男																
	女				3	6	22	37	16	14	11	8	6	1	2	126	1.74
E	男																
	女					2										2	0.03

※乳がんドック受診者を含む。

(3) 胸部 CT検査

男 635人 女 232人

年齢(歳) 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男				3	7	13	13	4	8	2					50	7.87
	女					1	6	6	1	2	1	1				18	7.76
B	男				3	19	32	58	54	92	98	71	29	26	8	490	77.17
	女				1	3	9	19	21	31	26	27	12	5	4	158	68.10
C	男				2	1	4	5	12	8	15	4	5		2	58	9.13
	女							5	5	7	5	8	3	1		34	14.66
D	男							2	1	3	5	2	2			15	2.36
	女						1	2	2	2			1			8	3.45
E	男						1		2	2	5	3	5	3	1	22	3.46
	女							1	1	2	2	5	2	1		14	6.03

※肺がんドック受診者を含む。

(4) 喀たん細胞診検査

男 172人 女 27人

年齢(歳) 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男									1						1	0.61
	女															0	0.00
B	男				3	10	22	18	20	27	28	20	16	6	1	171	99.39
	女					2	2	3	6	6	2	4		1	1	27	100.00
C	男															0	0.00
	女															0	0.00
D	男															0	0.00
	女															0	0.00
E	男															0	0.00
	女															0	0.00

判定区分	細胞所見
A	喀たん中に組織球を認めない
B	正常上皮細胞のみ 基底細胞増生 細胞異型軽度の扁平上皮化生 纖毛円柱上皮増生
C	細胞異型中等度の扁平上皮化生、または核の増大や濃染を伴う円柱上皮増生
D	細胞異型高度の扁平上皮化生、または悪性腫瘍の疑いある細胞を認める
E	悪性腫瘍細胞を認める

(5) BNP検査

男 663人 女 424人

年齢(歳) 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男				5	25	59	73	81	83	89	58	37	16	6	532	80.30
	女				3	12	29	33	61	55	49	40	25	7	2	316	74.53
B	男				1		3	4	10	4	19	23	18	11	7	100	15.04
	女					1	5	8	18	15	16	16	9	2	1	91	21.46
C	男						1	2	1	2	5	2	4	3	2	22	3.31
	女								1	3	1	3	3	3	1	15	3.54
D	男									1	1	2	1		2	7	1.05
	女												1	1		2	0.47
E	男									1				1		2	0.30
	女															0	0.00

(6) 心臓・血管ドック

男 203人 女 118人

年齢(歳) 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男				4	5	9	4	4		4					30	14.63
	女			1		1	1	1	4							8	6.78
B	男				3	4	7	21	19	19	24	18	12	8	2	137	67.80
	女					3	7	6	10	10	11	15	10	3	2	77	65.25
C	男							1		1	2	3	2	1	1	11	5.37
	女								1	1	2					4	3.39
D	男				1		1	1	1	2	2			1		9	4.39
	女						1	5		5		2	2		1	16	13.56
E	男				1			1		1	4	2	2	3	2	16	7.80
	女								2	2	4	4			1	13	11.02

(7) リウマチ検査

男 147人 女 199人

年齢(歳) 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男					3	10	25	17	21	28	14	13	2	2	135	91.89
	女			1		11	15	16	37	35	24	10	12	2		163	82.18
B	男															0	0.00
	女															0	0.00
C	男								1							1	0.68
	女							1		3	1	1				6	2.97
D	男				1	1	1		1	2	1		1			8	5.41
	女					2	1	5	9	7		3	2			29	14.36
E	男										2			1		3	2.03
	女											1				1	0.50

(8) 胃の健康度チェック検査

男 439人 女 257人

年齢(歳) 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男				11	26	52	44	31	31	29	18	11	6	1	260	59.23
	女		1		3	5	28	16	22	20	17	12	4	2		130	50.58
B	男															0	0.00
	女															0	0.00
C	男				5	6	13	25	13	21	26	32	24	11	3	179	40.77
	女				2	4	7	11	12	22	19	31	12	5	2	127	49.42
D	男															0	0.00
	女															0	0.00
E	男															0	0.00
	女															0	0.00

(9) 腫瘍マーカー検査

男 4,999人 女 1,647人

年齢(歳) 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男		1	1	54	199	428	557	590	842	967	603	361	151	45	4,799	93.83
	女		4	8	15	83	198	232	312	267	228	172	57	14	3	1,593	95.65
B	男																0.00
	女								1							1	0.08
C	男																0.00
	女								1							1	0.08
D	男					2	10	13	7	33	37	43	31	7	3	186	5.74
	女				2	3	5	9	10	12	1	6	2	1		51	4.11
E	男						1		2	2	3	4			2	14	0.43
	女						1									1	0.08

(10) 骨粗しょう症検査

男 89人 女 725人

判定 \ 年齢(歳)		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男						4	11	2	9	13	11	13	7		70	78.65
	女		2		1	5	36	44	76	68	82	33	28	4		379	52.28
B	男															0	0.00
	女															0	0.00
C	男				1		2	3			4	2	1			13	14.61
	女					2	4	8	23	39	55	36	18	5	4	194	26.76
D	男								1		1		3			5	5.62
	女					1	2	3	7	25	26	29	15	5		113	15.59
E	男										1					1	1.12
	女							1	2	5	10	6	7	6	2	39	5.38

(11) HPV検査

男 -人 女 258人

判定 \ 年齢(歳)		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男																
	女			2	10	25	45	36	40	32	21	19	8			238	92.25
B	男																
	女															0	0.00
C	男																
	女				1	3	8	3	1	1		1	1			19	7.36
D	男																
	女					1										1	0.39
E	男																
	女															0	0.00

(12) 甲状腺機能検査

男 229人 女 361人

判定 \ 年齢(歳)		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
A	男				4	7	23	38	20	26	39	23	19	6	2	207	93.88
	女			2	10	28	46	54	50	54	34	31	12	4	1	326	90.30
B	男						2			4	2	6	2		1	17	4.08
	女		1		1		2	8	3	1		1		2		19	5.26
C	男																
	女						1	1		2		1				5	1.39
D	男																
	女				1											1	0.28
E	男									3	2					5	1.22
	女						2	1		1	3	2	1			10	2.77

5 その他の検査

(1) 内視鏡検査

男 600人 女 403人

年齢(歳)		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率 (%)
判定	男							1		1		1				3	0.50
	女						1	1								2	0.50
B	男			1	2	9	30	23	21	22	18	9	9	4	11	159	26.50
	女					12	18	20	24	13	6	10	10	4	5	122	30.27
C	男				1	3	15	25	11	26	61	40	46	23	30	281	46.83
	女					3	14	22	20	30	22	32	18	6	12	179	44.42
D	男				1	5	11	11	21	30	28	15	13	11	10	156	26.00
	女			1	2	5	12	11	14	19	15	1	10	3	7	100	24.81
E	男									1						1	0.17
	女															0	0.00

	内視鏡実施数	生検実施数	生検実施率 (要精検率) %	上皮性					非上皮性(悪性)
				Group1	Group2	Group3	Group4	Group5	Y
男	600	85	14.17	76		3		6 ※1	
女	403	39	9.68	37			1	1	
計	1,003	124	12.36	113		3	1	7	

※1 食道がん1名含む

6 有所見一覧

(1) 感染症及び寄生虫症

男 89件 女 40件

所見		年齢(歳)																			合計
結核	男																				1
	女												1								0
主として性的伝播様式をとる感染症(梅毒等)		男					3		3	5	4	2	1	5	2						25
		女							1	1		2	1								5
ウイルス肝炎	H B s 抗原陽性	男				1		6	10	8	7	3	7	4	1						47
		女				1	1	3	6	4	3	2	3	3							26
	H C V 抗体陽性	男				1	1		1	6	3	1	1	2							16
		女							1		3	3	1	1							9

(2) 新生物／「がん」疑いを含む

男 114件 女 98件

年齢(歳)			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
悪性新生物	所見																
	食道の悪性新生物	男女															00
	胃の悪性新生物	男女									1	1		1			31
	肝及び肝内胆管の悪性新生物	男女						21	11	3	1	22	23				118
	胆嚢及びその他の胆道の悪性新生物	男女							1								10
	膵の悪性新生物	男女							11	11		11				1	36
	脾の悪性新生物	男女							11		1						03
婦人科	気管・気管支及び肺の悪性新生物	男女				1		4	91	21	84	141	22	2	1		4310
	乳房の悪性新生物	男女					1	3	3	2	3	3	3	1			-19
婦人科	子宮頸部の悪性新生物	男女					1										-1
	腎（腎盂を除く）の悪性新生物	男女					11	11	12	2	21	22	13	1		1	1211
	その他の悪性新生物	男女					1		12	14		22	11				512
	良性新生物及びその他の新生物	男女					1	2	4	8	6	5	4	3	4		36
	良性新生物及びその他の新生物	男女					1		4	3	3	5	6	4	1		27

※精密検査の結果(確定)については、P20を参照下さい。

(3) 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害

男 1,059件 女 1,766件

年齢(歳)		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見	男					6	9	18	20	53	57	55	52	37	23	330
	女		2	1	23	107	255	290	139	45	48	33	19	8	5	975
貧血	男		1		2	12	16	28	18	18	8	3				106
	女			1	1	8	20	16	27	22	22	11	5	1	1	135
白血球增多	男			1	5	21	50	56	38	39	22	14	8	2		256
	女		1		3	9	15	14	5	3	9	4	1			64
白血球減少	男				9	16	20	31	20	32	26	32	13	6	1	206
	女				7	15	54	89	83	69	74	16	14	4	2	427
血小板增多	男				1	3	7	18	10	11	6	2				58
	女				5	15	32	43	20	3	6	1	1			126
血小板減少	男				2	3	4	5	11	21	21	13	11	9	3	103
	女						6	4	4	9	5	3	2	5	1	39

(4) 内分泌、栄養及び代謝疾患

男 19,560件 女 10,245件

年齢(歳)		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
肥満	男			5	76	274	558	730	624	617	487	266	140	58	24	3,859
	女		2	2	23	113	215	295	311	232	198	10	71	24	7	1,503
耐糖能異常	男		2	3	87	290	787	1,046	1,058	1,149	1,049	668	395	193	74	6,801
	女		3	3	42	213	474	730	923	886	758	20	308	97	35	4,492
高尿酸血症	男			3	38	114	225	271	207	168	133	55	25	11	5	1,255
	女						5	7	8	10	6	2	3		2	43
高コレステロール血症	男			1	49	173	413	538	508	420	323	181	87	29	11	2,733
	女	2	1	5	16	74	172	352	561	555	419	25	130	35	10	2,357
高中性脂肪血症	男				19	91	196	254	218	172	138	73	25	9	2	1,197
	女				1	10	19	30	39	35	34	5	11	2	3	189
低HDL	男			2	29	85	210	228	198	193	155	83	48	14	7	1,252
	女		1		2	15	24	31	11	26	13	3	3	3	2	134
高LDL	男		1	2	50	176	418	507	437	367	261	150	61	23	10	2,463
	女	1	2	2	15	54	112	239	363	362	248	22	72	29	6	1,527

(5) 眼及び附属器の疾患

男 4,793件 女 3,255件

年齢(歳)		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
眼圧異常	男			1	5	27	41	59	32	38	34	22	14	2	4	279
	女	1			4	10	20	33	22	16	16	6	3	3	1	135
眼底異常	男				15	24	63	83	93	125	137	98	84	50	21	793
	女		1		6	13	34	60	54	58	66	16	43	19	6	376
屈折及び調節の障害	男	1	1	3	91	196	515	605	573	542	516	347	202	92	37	3,721
	女		3	8	66	177	394	548	519	452	360	16	131	53	17	2,744

(6) 耳及び乳様突起の疾患

男 2,178件 女 652件

所見			年齢(歳)														合計
			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	
聴力障害	1 0 0 0 H z	男				3	7	27	32	32	89	93	103	97	62	45	590
		女			2	1	3	20	17	39	41	54	23	70	33	14	317
	4 0 0 0 H z	男				3	23	72	89	126	254	303	299	224	133	62	1,588
		女				1	4	21	18	38	48	58	7	78	41	21	335

(7) 循環器系の疾患

男 2,499件 女 930件

年齢(歳)			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
高血圧性疾患※1	境界型高血圧	男女	4		1	11	43	157	248	285	260	242	144	63	55	26	1,539
					4	13	51	81	103	118	102	10	46	19	12	559	
	高血圧	男女	1			1	13	28	56	44	41	25	15	13	10	4	251
					1	1	7	17	20	21	17	9	4	2		99	
虚血性心疾患		男女					3	8	14	18	32	44	26	21	6	8	180
					1	4	4	15	16	23	14	19	6	4	4	110	
不整脈		男女				1	4	20	17	21	30	45	48	34	17	7	244
				1	2	1	9	17	14	17	11	11	5	5	1	94	
伝導障害		男女			1	3	6	18	13	26	27	17	12	10	2	3	138
						1	2	5	6	7	6	2	3	2	1	35	
心筋症		男女							2	1	4	8	4	1		3	23
									1						1	2	
大動脈瘤及び解離		男女							3	2	7	7	9	7	3	2	40
										1	1		2	1		1	6
心不全	その他の心疾患	男女					2	4	10	7	13	17	14	8	2	7	84
					2	1	1	4	2	4	3	3	1	3	1	25	

※1 心疾患（高血圧性のものを除く）

(8) 呼吸器系の疾患

男 1,340件 女 524件

所見		年齢(歳)															合計
		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～		
肺 炎		男														0	
		女														0	
急性または慢性と明示されない気管支炎		男														0	
		女														0	
肺機能異常	肺 活 量 低 下	男		1		15	22	58	101	112	136	157	99	60	36	18	815
		女			3	8	27	46	47	37	59	37	4	20	11	2	301
	一 秒 率 低 下	男				3	5	33	45	54	58	74	59	43	27	9	410
		女				2	5	19	23	23	15	18	11	15	12		143
肺 気 腫		男														0	
		女														0	
気 管 支 拡 張 症		男														0	
		女														0	
肺 繊 維 症		男														0	
		女														0	
じん 肺		男														0	
		女														0	
そ の 他 の 呼 吸 器 系 の 疾 患		男				1	7	12	17	12	17	20	9	12	6	2	115
		女					4	3	12	12	16	14	12	5		2	80

(9) 消化器系の疾患

男 9,111件 女 3,150件

年齢(歳)			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
食道異常	食道ポリープ	男															0
		女															0
	食道潰瘍	男															0
		女															0
	食道粘膜下腫瘍	男															0
		女															0
	静脈瘤	男															0
		女															0
胃の異常	胃炎	男				4	6	8	10	16	33	34	24	15	9		159
		女					1	2	5	5	4	13	4	1	6		41
	胃ポリープ	男				1											1
		女															0
	胃潰瘍瘢痕	男											1				1
		女															0
胃の異常	胃潰瘍	男															0
		女															0
	胃粘膜下腫瘍	男						1		1				1			3
		女					1		1				2				4
	その他の胃の異常	男				4	6	9	14	17	35	35	25	14	10		169
		女					2	3	5	4	4	13	5	1	6		43
十二指腸の異常	十二指腸炎	男															0
		女															0
	十二指腸ポリープ	男															0
		女															0
	十二指腸潰瘍瘢痕	男															0
		女															0
十二指腸の異常	十二指腸潰瘍	男															0
		女															0
	十二指腸憩室	男													2		2
		女									1			1			2
	その他の十二指腸の異常	男						1	2	1	5	3	2	1			15
		女								2	1	1					4
大腸の異常	便潜血陽性	男	1	2	3	14	66	65	79	86	57	76	50	16	1	1	517
		女		1	3	5	25	29	22	20	18	10	5	4			142
胆嚢の異常	胆嚢ポリープ	男		1		6	28	101	118	105	88	76	37	18	7	2	587
		女				2	11	30	46	53	66	42	8	14	3		275
	胆石症	男					22	33	86	87	130	124	92	63	22	11	670
		女				1	9	25	49	65	68	70	12	29	10	2	340
胆嚢の異常	その他の胆嚢の異常	男				2	11	21	41	52	60	68	33	12	8	5	313
		女					4	8	32	25	25	24	7	8	2		135

年齢(歳)			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
肝臓の異常	肝障害 (AST, ALT, γ-GTいずれか1つ異常)	男		1	5	52	202	444	541	434	361	278	126	57	25	6	2,532
		女		1	1	5	23	43	81	105	97	65	5	16	6	1	449
	肝 血 管 腫	男				4	6	31	37	52	48	29	24	15	4		250
		女				4	7	21	29	42	37	20	12	2	3	1	178
	肝 の う 胞	男						3	5	12	12	10	10	9	2	1	64
		女					1	1	8	3	5	10	13	7	2	3	53
	脂 肪 肝	男			4	57	192	481	599	513	471	392	226	104	47	12	3,098
		女		1	1	5	48	87	150	191	190	138	20	48	18	3	900
肝 硬 変 (アルコール性のものを除く)		男								1	1	1		1			4
		女															0
そ の 他 の 肝 疾 患		男						8	5	7	11	11	2	5	3		52
		女		1				1	3	2	5	4	1	1	1		19
膵疾患	膵 炎 (アミラーゼ高値)	男				8	24	44	55	50	66	80	55	35	29	14	460
		女			3	6	14	22	46	74	80	43	10	35	9	4	346
	膵 の う 胞	男						2	5	12	14	26	17	13	7	1	97
		女				1	2	9	16	19	19	33	25	27	8	2	161
	そ の 他 の 膵 疾 患	男					2	3	8	13	22	22	13	11	6	6	106
		女						3		4	16	10	9	6	5	2	55

(10) 尿路性器系の疾患

男 2,502件 女 2,321件

年齢(歳)			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
尿蛋白陽性		男			1	6	8	24	31	22	31	33	20	11	7	2	196
		女		1			6	14	17	9	6	6	5				64
尿潜血陽性		男				2	10	22	24	36	27	23	20	13	2	1	180
		女	1	3		11	58	104	144	77	27	41	12	14	3	4	499
尿路結石症		男	1		2	13	64	209	314	294	335	317	175	116	43	22	1,905
		女			2	3	28	62	87	117	109	82	8	35	9	3	545
その他の尿路系の疾患		男				3	2	10	16	21	25	28	16	13	4		138
		女		1		3	5	22	40	45	32	25	28	10	2	1	214
腎のう胞		男						2	2	3	1	3	4	4	1	1	21
		女						1		1				2	1		5
のう胞腎		男						1	1	2	2	2					8
		女						3		2				1			6
水腎症		男					3	3	8	7	8	10	8	4	2	1	54
		女					4	4	2		4	2	2	2	2		22
乳房の疾患	乳腺症	男															0
		女				1	7	11	10	7	7	3	2	1			49
	乳房線維腺腫	男															0
		女				2	3	2	1	1							9
その他の乳房疾患		男															0
		女		1	2	6	19	41	52	33	18	8	10	8	2	2	202

年齢(歳)			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
婦人科	細胞診クラスⅢ以上の所見	男女		8	5	11	21	16	39	23	13	6	1				143
	子宮筋腫	男女				2	18	34	59	62	19	9	6	3			212
	卵巣嚢腫	男女		1	2	3	14	20	22	16	7	3	1	3		1	93
	その他の婦人科疾患	男女		1	1	3	9	44	46	57	36	21	26	9	2	4	259

7 精密検査の結果（確定）

(1) 新生物

男 22件 女 31件

年齢(歳)			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
悪性新生物	食道の悪性新生物	男女											1				10
	胃の悪性新生物	男女										1	2	2		1	62
	肝及び肝内胆管の悪性新生物	男女										1					11
	胆嚢及びその他の胆道の悪性新生物	男女							1								10
	膵の悪性新生物	男女															00
	脾の悪性新生物	男女															00
	気管・気管支及び肺の悪性新生物	男女								1		3			1		53
婦人科	乳房の悪性新生物	男女					1	1	4	1	4		4	2			17
	子宮頸部の悪性新生物	男女					1				1						2
腎（腎盂を除く）の悪性新生物		男女									1			1			22
その他の悪性新生物		男女							1	1	1						13
良性新生物及びその他の新生物		男女						1			3	1					51

※「がん」の確定数を示す。

※1 GIST 1名

Ⅱ 健康増進事業



Ⅱ 健康増進事業

特定保健指導の目的は、特定健康診査の結果を踏まえて、食生活や運動不足に起因する糖尿病など、生活習慣病の増加を早い段階で改善させることである。

平成30年度の実績は動機づけ支援315人、積極的支援310人、支援総数625人を実施することができた。

1 概 要

(1) 指導方法

- ① 本人が、生活習慣改善の必要性を認識した上で、自らの行動目標を策定させて、個別性を重視した保健指導を行う。
- ② メタボリックシンドローム及び予備群を抽出し、生活習慣病のリスク要因の数に応じて階層化し、適切な生活習慣、あるいは健康の維持・増進につながる必要な情報提供を行う。
 - ◎リスクの少ない者：生活習慣の改善に関する動機づけを行う。
 - ◎リスクの多い者：積極的に介入し、確実に行動変容を促す。

(2) 特定保健指導

(40歳～74歳までの健康保険加入者対象)

区 分	内 容
動機づけ支援	1人20分以上の個別面談支援 標準的な健診・保健指導プログラム第3編第3章3-3を参考に 各健康保険組合との契約により実施
積極的支援	1人20分以上の個別面談支援 標準的な健診・保健指導プログラム第3編第3章3-3を参考に 各健康保険組合との契約により実施
上記以外の特定保健指導 (健康保険組合等の意向による。)	①動機づけ対象者であっても、積極的支援を行う。 ②受診勧奨値以上は行わない。 ③被扶養者は行わない。

(3) 特定保健指導の対象者の選定と階層化

〔ステップ1〕・内臓脂肪蓄積に着目してリスクを判定

- | | | |
|-------------------------------------|---|-----|
| ・腹囲 男性85cm以上, 女性90cm 以上 | → | (1) |
| ・腹囲 男性85cm未満, 女性90cm 未満 かつ BMI 25以上 | → | (2) |



〔ステップ2〕

- | | | | |
|-------|-------------------------------|----|--------------------------|
| ① 血 糖 | a 空腹時血糖100mg/dℓ以上 | 又は | b H b A 1 c の場合5.6%以上 |
| ② 脂 質 | a 中性脂肪150mg/dℓ以上 | 又は | b H D L コレステロール40mg/dℓ未満 |
| ③ 血 圧 | a 収縮期血圧130mmHg以上 | 又は | b 拡張期血圧85mmHg以上 |
| ④ 質問票 | 喫煙あり (①～③のリスクが1つ以上の場合にのみカウント) | | |



〔ステップ3〕・ステップ1, 2 から保健指導対象者をグループ分け

- | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|--------|---|-----------|----------|--------------|-----------|---------|---------|------|
| (1) の場合 | ①～④のリスクのうち | 追加リスクが | <table border="0"><tr><td>2 以上の対象者は</td><td>積極的支援レベル</td></tr><tr><td>1 の対象者は</td><td>動機づけ支援レベル</td></tr><tr><td>0 の対象者は</td><td>情報提供レベル</td></tr></table> | 2 以上の対象者は | 積極的支援レベル | 1 の対象者は | 動機づけ支援レベル | 0 の対象者は | 情報提供レベル | とする。 |
| 2 以上の対象者は | 積極的支援レベル | | | | | | | | | |
| 1 の対象者は | 動機づけ支援レベル | | | | | | | | | |
| 0 の対象者は | 情報提供レベル | | | | | | | | | |
| (2) の場合 | ①～④のリスクのうち | 追加リスクが | <table border="0"><tr><td>3 以上の対象者は</td><td>積極的支援レベル</td></tr><tr><td>1 又は 2 の対象者は</td><td>動機づけ支援レベル</td></tr><tr><td>0 の対象者は</td><td>情報提供レベル</td></tr></table> | 3 以上の対象者は | 積極的支援レベル | 1 又は 2 の対象者は | 動機づけ支援レベル | 0 の対象者は | 情報提供レベル | とする。 |
| 3 以上の対象者は | 積極的支援レベル | | | | | | | | | |
| 1 又は 2 の対象者は | 動機づけ支援レベル | | | | | | | | | |
| 0 の対象者は | 情報提供レベル | | | | | | | | | |



〔ステップ4〕

- | |
|---|
| ・服薬中の人については, 医療保険者による特定保健指導の対象としない。 |
| ・前期高齢者 (65歳以上75歳未満) については, 積極的支援の対象となった場合でも動機づけ支援とする。 |

2 特定保健指導実績

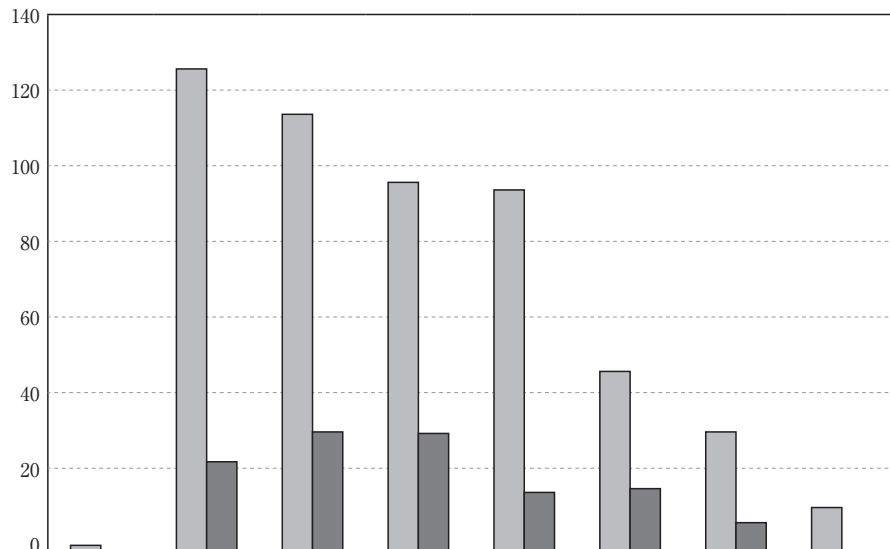
(1) 保健指導者数

(人)

月	区分 該当者	当日保健指導			後日保健指導						支援別合計		計
					センター内			センター外					
		動機づけ 支援	積極的 支援	計	動機づけ 支援	積極的 支援	計	動機づけ 支援	積極的 支援	計	動機づけ 支援	積極的 支援	
4	409	8	16	24	2	4	6			0	10	20	30
5	493	13	11	24	4	1	5			0	17	12	29
6	942	20	32	52	1		1			0	21	32	53
7	1,022	23	23	46		1	1			0	23	24	47
8	910	28	28	56	2	2	4	3	5	8	33	35	68
9	901	36	27	63	3		3	7	1	8	46	28	74
10	1,098	23	39	62		1	1			0	23	40	63
11	1,009	25	27	52	2	4	6			0	27	31	58
12	801	24	11	35	1	3	4			0	25	14	39
1	684	20	16	36	2	3	5	4	7	11	26	26	52
2	812	31	16	47	4	3	7	10	12	22	45	31	76
3	239	5	7	12	9	7	16	7	1	8	21	15	36
計	9,320	256	253	509	30	29	59	31	26	57	317	308	625
比率	81.4%				9.4%			9.1%			50.7%	49.3%	100.0%

(2) 性別・年齢別受診者数

(人)



性別	年齢(歳)								計	比率
	35	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74		
男	2	125	114	96	94	45	26	11	513	77.4%
女		21	29	28	13	14	7		112	22.6%
計	2	146	143	124	107	59	33	11	625	100.0%

※契約により35歳実施健康保険組合有。

(3) メタボリック判定

(人)

性別	非該当		予備群該当		基準該当		計
	動機づけ	積極的	動機づけ	積極的	動機づけ	積極的	
男	75	18	145	157	7	111	513
女	47	3	38	13	2	9	112
計	122	21	183	170	9	120	625
比率	19.5%	3.4%	29.3%	27.2%	1.4%	19.2%	100.0%

非 該 当：腹囲が男性85.0cm未満・女性90.0cm未満の場合はすべて

腹囲が男性85.0cm以上・女性90.0cm以上で下記のリスクが「0」の場合

予備群該当：腹囲が男性85.0cm以上・女性90.0cm以上で下記のリスクが「1」の場合

基 準 該 当：腹囲が男性85.0cm以上・女性90.0cm以上で下記のリスクが「2以上」の場合

- [リスク]
- ① HbA1c 5.9%以上 又は 空腹時血糖値 110mg/dℓ以上
又は インスリン注射または血糖を下げる薬の使用有
 - ② 中性脂肪 150mg/dℓ以上 又は HDLコレステロール 40mg/dℓ未満
又は コレステロールを下げる薬の使用有
 - ③ 最高血圧 130mmHg以上 又は 最低血圧 85mmHg以上
又は 血圧を下げる薬の使用有

(4) 初回面談時の行動変容ステージ

(人)

性別	ステージ	無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期	計
男			6	414	55	38	513
女			4	94	12	2	112
計		0	10	508	67	40	625
比率			1.6%	81.3%	10.7%	6.4%	100.0%

無 関 心 期：6ヶ月以内に行動変容に向けた行動を起こす意思がない時期

関 心 期：6ヶ月以内に行動変容に向けた行動を起こす意思がある時期

準 備 期：1ヶ月以内に行動変容に向けた行動を起こす意思がある時期

実 行 期：明確な行動変容が観察されるが、その持続がまだ6ヶ月未満である時期

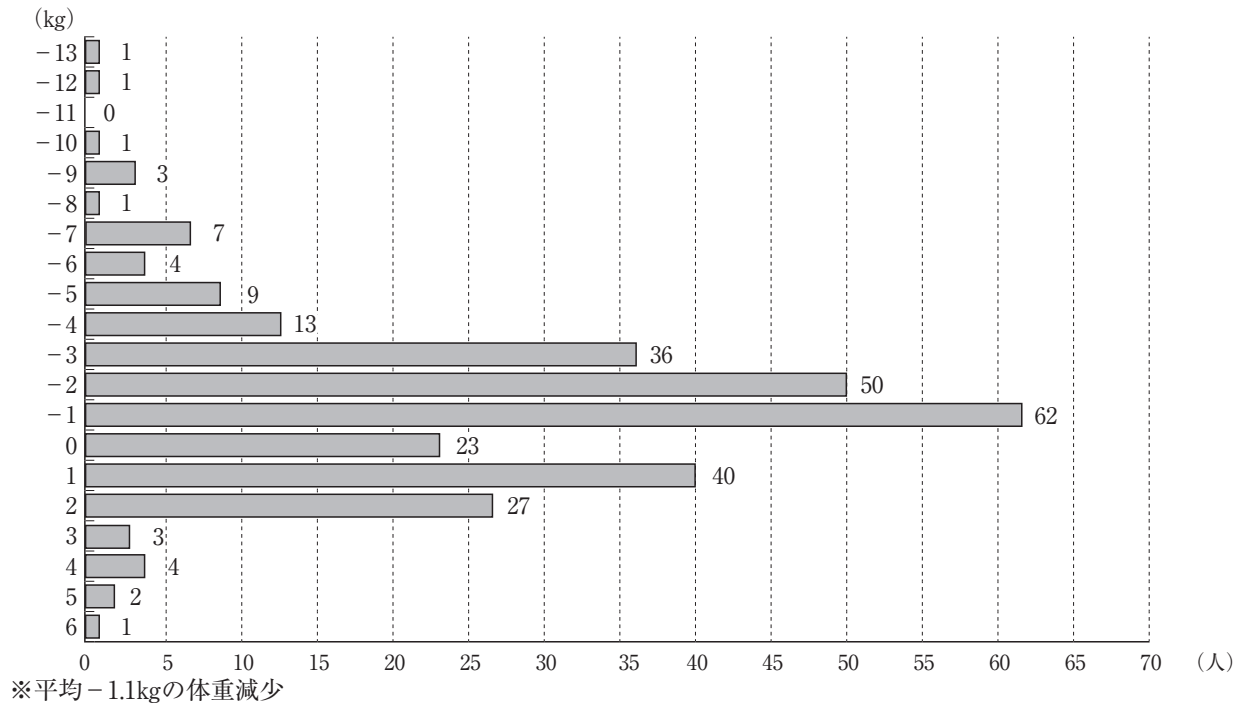
維 持 期：明確な行動変容が観察され、その期間が6ヶ月以上続いている時期

(5) 腹囲からみた該当リスク

(人)

区分		cm	85未満	85～90未満	90～95未満	95～100未満	100～105未満	105以上	計
腹 囲	男		32	220	140	73	29	19	513
	女		11	29	39	20	9	4	112
血 圧 基準値以上	男		12	123	81	37	16	14	283
	女		6	18	21	11	5	2	63
中 性 脂 肪 基準値以上	男		13	89	56	37	12	5	212
	女		4	9	13	6	3	2	37
H D L - C 基準値以下	男		4	38	20	17	7	3	89
	女		2	2	2		1		7
空腹時血糖 基準値以上	男		22	114	70	34	17	9	266
	女		4	8	13	8	4	2	39
H b A 1 c 基準値以上	男		16	118	86	47	21	12	300
	女		9	19	24	14	8	4	78
喫 煙	男		9	54	34	20	10	6	133
	女		1	2	3			1	7
B M I 男	18.5未満								0
	18.5～25未満			131	27	1			159
	25.0～30未満	32		89	110	51	14	2	298
	30以上				3	21	15	17	56
B M I 女	18.5未満								0
	18.5～25未満				6				6
	25.0～30未満	11		29	27	17	1		85
	30以上				6	3	8	4	21

(6) 修了者の体重変化

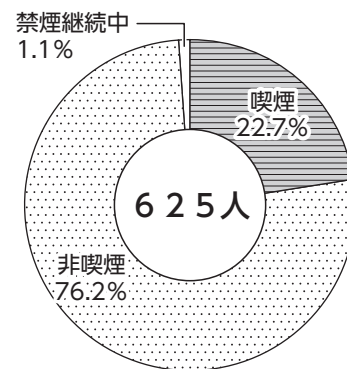


(7) 喫煙

① 初回面談時喫煙人数

(人)

区分	喫煙	非喫煙	禁煙継続中	計
性別				
男	135	371	7	513
女	7	105		112
計	142	476	7	625
比率	22.7%	76.2%	1.1%	100.0%

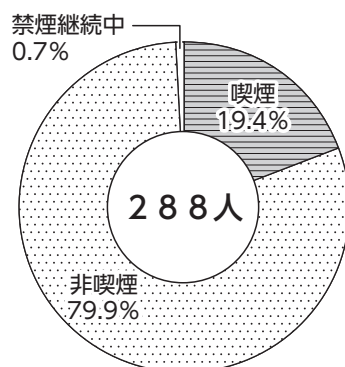


② 修了者の喫煙状況

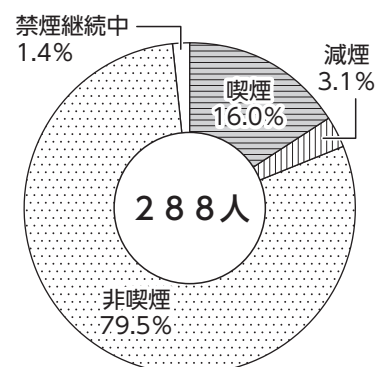
(人)

区分	修了者初回面談時喫煙				修了者修了時喫煙				
	喫煙	非喫煙	禁煙継続中	計	喫煙	減煙	非喫煙	禁煙継続中	計
男	52	187	2	241	43	8	186	4	241
女	4	43		47	3	1	43		47
計	56	230	2	288	46	9	229	4	288
比率	19.4%	79.9%	0.7%	100.0%	16.0	3.1%	79.5%	1.4%	100.0%

修了者初回面談時喫煙率



修了者修了時喫煙率



※人員については平成31年3月31日現在、保健指導修了者288人を対象とする。

Ⅲ 産業保健事業



Ⅲ 産 業 保 健 事 業

事業所を対象に施設内及び検診車の巡回により、労働安全衛生法に基づく各種健康診断を実施した。

また、労働安全衛生法の一部改正により、平成28年度よりストレスチェック検査を実施した。

平成30年度の受診者延べ人数は99,501人（一般健康診断53,725人、生活習慣病健診24,222人、特殊健康診断12,240人、ストレスチェック検査9,314人）であった。

1 概 要

(1) 一般健康診断

検 査 項 目		内 容
問 診		既往歴、自覚症状、他覚所見
身 体 計 測		身長、体重、BMI、腹囲
視 力 検 査		
聴 力 検 査	(オーディオメータ)	1000Hz, 4000Hz
尿 検 査		蛋白、糖
血 圧 測 定		
胸 部 X 線 検 査		間接・直接撮影
血 液 検 査	一 般 血 液	赤血球、白血球、Hb、Ht、MCV、MCH、MCHC
	肝 機 能	AST (GOT), ALT (GPT), γ -GT (γ -GTP)
	脂 質 代 謝	中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール
	糖 代 謝	血糖、ヘモグロビンA1c
	腎 機 能	クレアチニン、eGFR
心 電 図 検 査		安静時12誘導

(2) 生活習慣病健診

検 査 項 目		内 容
問 診		既往歴、自覚症状、他覚所見
身 体 計 測		身長、体重、BMI、腹囲
視 力 検 査		
聴 力 検 査	(オーディオメータ)	1000Hz, 4000Hz
尿 検 査		蛋白、糖
血 圧 測 定		
胸 部 X 線 検 査		間接・直接撮影
血 液 検 査	一 般 血 液	赤血球、白血球、Hb、Ht、MCV、MCH、MCHC
	肝 機 能	AST (GOT), ALT (GPT), γ -GT (γ -GTP), ALP, LD (LDH)
	脂 質 代 謝	中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、総コレステロール
	糖 代 謝	血糖 (空腹)、ヘモグロビンA1c
	腎 機 能	尿素窒素、クレアチニン、eGFR
心 電 図 検 査		安静時12誘導
眼 底 検 査		無散瞳撮影両眼
胃 部 X 線 検 査		間接・直接撮影
便 潜 血 検 査		2日法

(3) 特殊健康診断

検 査 項 目
有機溶剤、電離放射線、鉛、じん肺、石棉 特定化学物質（クロム、シアン、水銀、弗化水素、酸類、その他） 有害光線（紫外線・赤外線、レーザー）、振動工具、騒音、VDT

(4) ストレスチェック検査

検 査 項 目
職業性ストレス簡易調査（57項目）

2 各種健康診断の実績

(1) 一般健康診断

(人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成28年度	3,659	4,632	6,668	5,032	2,929	6,491	7,086	6,248	2,329	2,926	3,368	2,570	53,938
平成29年度	3,670	4,996	6,878	4,704	3,919	6,792	6,904	6,073	2,311	2,868	3,133	2,806	55,054
平成30年度	3,451	4,827	6,595	5,319	3,599	6,230	7,919	5,519	2,196	2,660	2,942	2,468	53,725

(2) 生活習慣病健診

(人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成28年度	1,075	1,686	2,534	2,742	1,260	2,207	2,913	2,349	1,400	1,634	2,158	1,135	23,093
平成29年度	1,084	1,749	3,049	2,757	1,285	2,411	2,793	2,510	1,619	1,472	2,156	1,175	24,060
平成30年度	1,185	1,804	2,809	2,927	1,250	2,042	3,186	2,739	1,631	1,375	2,365	909	24,222

(3) 特殊健康診断

(人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成28年度	1,347	1,430	901	911	115	650	1,909	1,866	782	651	762	376	11,700
平成29年度	1,454	1,897	736	1,150	204	803	1,673	2,427	530	782	681	547	12,884
平成30年度	1,398	1,897	878	1,046	285	527	1,669	2,240	533	668	731	368	12,240

(4) ストレスチェック検査

(人)

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平成28年度		63	574	386	238	1,905	6,785	2,319	772	108	83	183	13,416
平成29年度		92	580	332	305	1,464	1,299	1,981	2,207	93	2,741	1,951	13,045
平成30年度		110	542	502	334	1,160	1,712	1,509	1,963	253	187	1,042	9,314

3 一般健診及び生活習慣病健診結果成績

男 49,027人 女 28,920人

年齢（歳） 判定		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合 計	比率 （％）
A	男	77	411	510	440	241	124	75	29	21	5		1			1,934	3.95
	女	100	409	409	316	195	91	62	22	9	3	3				1,619	5.60
B	男	158	1060	1420	1351	1056	842	690	394	260	161	58	13	2	1	7,466	15.23
	女	164	897	959	840	678	600	494	336	215	140	58	7			5,388	18.63
C	男	270	1671	2530	2921	2581	2512	2626	1776	1434	1026	584	163	30	6	20,130	41.06
	女	296	1451	1554	1502	1282	1416	1582	1313	1140	925	508	113	15		13,097	45.29
D	男	45	391	696	1015	1452	1695	1768	1271	1030	771	461	139	27	12	10,773	21.97
	女	24	178	247	293	423	656	839	646	494	434	248	70	8	2	4,562	15.77
E	男	3	33	69	134	270	577	1016	1256	1668	1678	1289	571	137	23	8,724	17.79
	女	8	22	37	59	112	201	419	623	736	892	848	253	42	2	4,254	14.71
合計	男	553	3,566	5,225	5,861	5,600	5,750	6,175	4,726	4,413	3,641	2,392	887	196	42	49,027	100
	女	592	2,957	3,206	3,010	2,690	2,964	3,396	2,940	2,594	2,394	1,665	443	65	4	28,920	100

健康診断の結果（判定区分について）		
A	異常なし	今回の検査の範囲では特に異常は認められませんでした。
B	軽度異常あるも日常生活に支障なし	軽度の異常が認められますが心配のない範囲です。
C	軽度異常あり，生活習慣改善後 経過観察を要す	健康管理に留意し，定期的な検査等を受けて経過を見て下さい。 自覚症状が認められた場合はすみやかに医療機関を受診下さい。
D	精密検査（場合によっては治療）を要す	さらに詳しい検査，または治療が必要です。 必ず医療機関を受診し，担当される医師の指示に従って下さい。
E	現在治療中	今後とも主治医の指示に従い治療を続けて下さい。

(1) 有機溶剤 男 4,043人 女 672人

(2) 電離放射線 男 2,202人 女 163人

(3) 鉛 男 207人 女 84人

(4) じん肺 男 729人 女 30人

– 30 –

(5) 石綿

男 88人 女 0人

判定		年齢(歳)														合計	比率(%)
		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～		
A	男女		5	10	7	11	9	10	13	11	5	2				830	92.20
B	男女															00	
C	男女			2			1		1							40	7.09
D	男女							1								10	0.71
E	男女															00	
合計	男女	00	50	120	70	110	100	110	140	110	50	20	00	00	00	880	1000

(6) 特定化学物質

男 1,647人 女 107人

判定		年齢(歳)														合計	比率(%)
		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～		
A	男	16	193	120	132	146	185	186	127	112	56	17	2			1,292	78.44
	女		42	13	2	3	10	7	12		1					90	84.11
B	男	1	20	15	8	10	9	19	13	13	10	2	2			122	7.41
	女		2			1		2				1				6	5.61
C	男	2	28	19	14	12	31	18	15	13	7	2	2			163	9.90
	女		6		1	1						1				9	8.41
D	男		14	5	10	4	6	12	7	6	4	2				70	4.25
	女		1					1								2	1.87
E	男															0	0.00
	女															0	0.00
合計	男	19	255	159	164	172	231	235	162	144	77	23	6	0	0	1,647	100
	女	0	51	13	3	5	10	10	12	0	1	2	0	0	0	107	100

(7) 有害光線

男 101人 女 5人

判定		年齢(歳)														合計	比率(%)
		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～		
A	男		2	4		1	1	5								13	12.87
	女															0	0.00
B	男	1	4		1	4	1	2								13	12.87
	女															0	0.00
C	男	1	4		6	6	6	25	11	3	6	6				74	73.27
	女		2					3								5	100.00
D	男							1								1	0.99
	女															0	0.00
E	男															0	0.00
	女															0	0.00
合計	男	2	10	4	7	11	8	33	11	3	6	6	0	0	0	101	100
	女	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5	100

(8) 振動工具

男 195人 女 7人

判定		年齢(歳)														合計	比率(%)
		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～		
A	男		6	7	10	7	1	9	4		1	2				47	24.10
	女						1									1	14.29
B	男		3	7	7	5	9	11	4	4	3	4	2			59	30.26
	女		1				1									2	28.57
C	男	1	2	12	5	3	7	15	8	2	11	8	3			77	39.49
	女		1					2		1						4	57.14
D	男					1		5			1	1	1			9	4.61
	女															0	0.00
E	男					1						2				3	1.54
	女															0	0.00
合計	男	1	11	26	22	17	17	40	16	6	16	17	6	0	0	195	100
	女	0	2	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	7	100

(9) 騒音

男 500人 女 16人

判定 \ 年齢(歳)		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率(%)
A	男	6	23	72	76	38	39	37	25	11	14	6	2			349	69.80
	女	1	2			1	1	4	1	1	1	1				13	81.25
B	男															0	0.00
	女															0	0.00
C	男		1	13	6	13	16	22	14	20	25	9	2			141	28.20
	女								2							2	12.50
D	男				2				2		3	1	2			10	2.00
	女									1						1	6.25
E	男															0	0.00
	女															0	0.00
合計	男	6	24	85	84	51	55	59	41	31	42	16	6	0	0	500	100
	女	1	2	0	0	1	1	4	3	2	1	1	0	0	0	16	100

(10) VDT

男 473人 女 971人

判定 \ 年齢(歳)		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	比率(%)
A	男	33	12	11	9	11	18	12	14	11	4	3	1			139	29.39
	女	13	32	17	10	12	29	31	20	13	20	2				199	20.49
B	男															0	0.00
	女															0	0.00
C	男	8	26	20	35	49	35	59	51	30	14	3				330	69.77
	女	8	83	76	95	86	111	120	78	64	38	11				770	79.30
D	男	1	1			2										4	0.84
	女		1				1									2	0.21
E	男															0	0.00
	女															0	0.00
合計	男	42	39	31	44	62	53	71	65	41	18	6	1	0	0	473	100
	女	21	116	93	105	98	141	151	98	77	58	13	0	0	0	971	100

5 有所見一覧

(1) 感染症

男 32件 女 8件

年齢（歳）		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見	結核	男女			1	2	1	1	3	1	3	5	1	1		19
		男女				1					1	2				4
ウイルス肝炎	HBs抗原陽性	男女						1		2	2		1			6
		男女								1						1
	HCV抗体陽性	男女									5	2				7
		男女						1			2					3

(2) 新生物

男 30件 女 7件

年齢（歳）		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
悪性新生物	食道の悪性新生物	男女											1			1
		男女														0
	胃の悪性新生物	男女										2	1			3
		男女														0
	肝及び肝内胆管の悪性新生物	男女						1		2	1			2		6
		男女							1	1						2
	胆嚢及びその他の胆道の悪性新生物	男女				1										1
		男女														0
悪性新生物	脾の悪性新生物	男女									1					1
		男女														0
悪性新生物	脾の悪性新生物	男女							1							1
		男女														0
悪性新生物	気管・気管支及び肺の悪性新生物	男女					1		1	2	2	1	1			8
		男女								1						1
腎（腎盂を除く）の悪性新生物	の悪性新生物	男女						1			2					3
		男女					1					1				2
良性新生物及びその他の新生物	の良新生物	男女							3		3					6
		男女					1	1								2

(3) 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害

男 5,558件 女 5,878件

年齢（歳）		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
貧血	男	38	10	8	23	33	73	119	124	217	239	205	84	40	7	1,220
	女	147	147	250	297	414	668	739	310	112	134	98	34	9	1	3,360
多血症	男	52	105	99	90	94	130	114	82	68	37	20	8			899
	女	39	47	49	44	54	72	90	152	85	72	32	6	2		744
白血球増多	男	159	112	175	283	334	474	471	378	301	206	104	37	3		3,037
	女	178	113	125	137	116	171	198	98	88	63	3	13	1		1,304
白血球減少	男		11	16	29	27	26	32	26	27	26	20	6	3	1	250
	女	1	16	18	32	39	45	57	53	52	37	9	5			364
血小板増多	男		4	2	18	15	15	20	20	11	6	5	1			117
	女	1	2	4	7	11	21	27	14	4	2	2				95
血小板減少	男		1	2	3	1	2	4	9	3	3	3	3	1		35
	女					3		1	1	1	2	3				11

(4) 内分泌、栄養及び代謝疾患

男 74,878件 女 31,132件

年齢（歳）			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
肥満	肥満	男女	476 239	1,229 443	1,738 538	2,199 632	2,160 614	2,378 866	2,608 913	1,983 860	1,694 763	1,305 715	774 8	269 105	65 16	12 2	18,890 6,714
		男女	319 223	460 601	383 610	316 487	243 374	180 334	151 347	116 287	143 304	82 192	89 7	26 30	11 1	1 1	2,520 3,798
	耐糖能異常	男女	63 42	411 310	743 412	1,394 502	2,134 776	3,031 1,220	3,574 1,588	3,053 1,788	3,083 1,774	2,686 1,464	1,765 18	648 304	128 32	24 3	22,737 10,233
		男女	6 	76 	120 1	232 4	452 4	577 10	538 17	400 22	328 21	227 10	95 	36 4	5 1	1 	3,093 94
高コレステロール血症	男女	男女		19 16	62 30	202 71	801 205	1,174 372	1,202 557	937 771	794 750	573 575	297 10	61 44	4 3	1 	6,127 3,405
		男女	27 5	191 33	370 35	634 68	824 89	1,046 145	1,190 224	935 241	747 219	578 223	312 6	102 26	17 6	1 1	6,974 1,321
低HDL	男女	男女	36 3	198 29	277 37	433 38	523 53	559 57	565 62	426 46	314 32	285 40	188 1	82 10	16 	5 	3,907 408
		男女	18 11	240 115	555 171	936 222	1,322 317	1,745 578	1,919 759	1,372 951	1,092 1,017	791 898	480 11	139 100	18 7	3 2	10,630 5,159

(5) 眼及び附属器の疾患

男 15,821件 女 9,280件

年齢（歳）			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
眼圧異常		男				1	4	4	1	4	2	2	1				19
		女						1			2	1	2	1			7
眼底異常		男		7	14	21	50	107	142	150	164	169	92	38	10	7	971
		女		2	2	1	15	20	33	35	24	35	6	18	2		193
屈折及び調節の障害		男	416	1192	1404	1624	1444	1585	1802	1468	1414	1336	826	264	49	7	14,831
		女	359	995	1036	928	869	940	1069	969	942	852	7	104	10		9,080

(6) 耳及び乳様突起の疾患

男 8,991件 女 2,217件

年齢（歳）			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
聴力障害	1000Hz	男	9	46	59	76	87	134	147	203	335	457	502	258	72	17	2,402
		女	36	38	38	44	56	88	133	167	230	423	28	106	14	2	1,403
	4000Hz	男	11	24	55	121	186	399	595	790	1,099	1,377	1,231	556	122	23	6,589
		女	7	16	18	32	23	47	79	104	117	232	19	103	16	1	814

(7) 循環器系の疾患

男 13,013件 女 4,459件

年齢（歳）			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計	
所見																		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
高血圧性疾患※1	境界型高血圧	男	165	269	399	553	614	903	1,207	1,150	1,207	1,017	658	235	48	9	8,434	
		女	36	39	53	86	152	283	449	535	534	590	17	97	12		2,883	
	高血圧	男	9	27	49	111	189	289	391	359	377	303	217	71	16	2	2,410	
		女	4	8	8	15	46	102	152	172	154	166	14	30	7	2	880	
虚血性心疾患			男	11	2	2	10	13	44	59	75	76	66	49	25	6	1	439
			女	13	2	5	5	8	16	26	25	33	46	17	7	6	1	210
不整脈			男	103	15	12	18	40	54	63	73	131	135	114	53	21	5	837
			女	42	10	11	12	25	24	32	29	30	43	2	10	3	1	274
伝導障害			男	90	21	36	50	79	94	90	69	59	54	35	16	6	2	701
			女	38	7	3	6	13	10	17	21	19	22	5	2			163
心筋症			男						3	3	4	2	2	5				19
			女									3	2	1				6
大動脈瘤及び解離			男								1		4					5
			女															0
心不全	その他の心疾患	男	2	1	3	5	5	17	25	16	26	32	24	10	2			168
		女	1	1			2	3	6	5	7	8	9	1				43

※1 心疾患（高血圧性のものを除く。）

(8) 呼吸器系の疾患

男 2,419件 女 866件

年 齢（ 歳 ）			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所 見																	
肺 炎		男 女															0 0
急性または慢性と 明示されない気管支炎		男 女															0 0
肺機能異常	肺 活 量 低 下	男 女		2	1	2 1	11	11	9	12 3	10 1	9 1	2	2		1	72 6
		一 秒 率 低 下	男 女				1	1	3 1	6 1	2	2	6	5	1		
	肺 気 腫		男 女		3	2	1	7	2 1	7 2	6	13 1	15 1	17 2	4 1	2	
		気 管 支 拡 張 症	男 女		1	1	3 1		4	3 1	2	7 2	9 8	4 6	2 3	2	
肺 繊 維 症	男 女							1 1	2		5	10	4	6 2	1	1	30 3
	じん肺	男 女										3	1	4	1		9 0
そ の 他 の 呼吸器系の疾患		男 女	6 4	36 17	56 20	85 36	123 43	158 46	267 95	275 102	327 131	353 147	298 137	139 39	32 5	9 4	2,164 826

(9) 消化器系の疾患

男 13,473件 女 2,296件

年齢(歳)			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
食道異常	食道ポリープ	男															0
		女															0
	食道潰瘍	男															0
		女															0
	食道粘膜下腫瘍	男										1					1
		女															0
胃の異常	静脈瘤	男							1								1
		女															0
	その他の食道の異常	男						2	2		2	2		2			10
		女											1				1
	胃炎	男		1		3	12	30	40	49	69	55	39	14	1		313
		女				1	1	6	6	9	4	5	8	2			42
胃の異常	胃ポリープ	男									1			1			2
		女								1							1
	胃潰瘍癒痕	男															0
		女															0
	胃潰瘍	男															0
		女															0
十二指腸の異常	胃粘膜下腫瘍	男															0
		女															0
	その他胃の異常	男		1		3	14	32	47	54	71	57	41	10	1		331
		女				1	1	5	8	10	5	5	9	2			46
	十二指腸炎	男															0
		女															0
十二指腸の異常	十二指腸ポリープ	男															0
		女															0
	十二指腸潰瘍癒痕	男															0
		女															0
	十二指腸潰瘍	男															0
		女															0
大腸の異常	十二指腸憩室	男															0
		女															0
	その他の十二指腸の異常	男					1	2	1	3	1						8
		女						1		1							2
	便潜血陽性	男	1	8	5	29	117	128	146	162	143	151	126	38	5	1	1,060
		女		2	8	16	60	71	57	39	41	33	8	12		1	348
胆嚢の異常	胆嚢ポリープ	男			3	1	6	21	26	23	17	16	8	3			124
		女			2		2	6	4	7	2	2	4				29
	胆石症	男				2	6	22	20	25	25	23	18	6		1	148
		女					2	3	12	9	10	9	4	5			54
	その他の胆嚢の異常	男			1	1	3	7	14	12	22	7	9	2	1		79
		女					3	1	7	1	3	2	3	1			21

年齢（歳）			～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																	
肝臓の異常	肝障害（AST,ALT,γ-GTいずれか1つ異常）	男女	51 5	394 45	712 70	1,083 78	1,369 116	1,634 171	1,694 220	1,240 290	1,091 286	724 202	388 7	120 27	21 3	2	10,523 1,520
	肝血管腫	男女				1	2 2	2 1	13 6	13 6	11 4	5 4	4	1			52 23
	肝のう胞	男女							1 2	1 1	2		1 2		1		6 6
	脂肪肝	男女		2	7	17 2	48 6	90 14	129 23	113 25	80 22	65 14	45 6	13 6		1	610 118
慢性肝炎（アルコール性のものを除く）		男女															0 0
肝硬変（アルコール性のものを除く）		男女								2					1		3 0
その他の肝疾患		男女						3	3	4	6 2	1	1				18 2
膵疾患	膵炎（アミラーゼ高値）	男女		2 2	2 3	5 6	8 5	11 5	25 8	19 3	18 6	21 8	23 14	8 5	1		143 66
	膵のう胞	男女						3 2	3 1	4 1	6 3	3 2	3 1	1			23 10
	その他の膵疾患	男女					1	3	1 1	3	3 1	2 4	2	3 1			18 7

(10) 尿路性器系の疾患

男 2,924件 女 2,285件

年齢（歳）		～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
所見																
尿蛋白陽性	男	55	110	84	120	117	149	225	195	197	185	146	65	11	4	1,663
	女	20	67	49	57	56	64	90	64	54	59	4	13		1	598
尿潜血陽性	男	11	23	8	35	52	109	104	126	110	119	63	17	1	1	779
	女	84	84	61	91	193	267	275	177	161	134	18	22	2		1,569
尿路結石症	男	1			3	25	51	76	76	71	55	43	14	1	2	418
	女		1		2	6	12	15	13	16	13	7	3			88
その他の尿路系の疾患	男				1	2	6	15	3	6	4	3	2	1		43
	女					1	3	6	4	4		2	1			21
腎のう胞	男						1	1	1		1					4
	女											1				1
のう胞腎	男						1	1	2	2	2					8
	女						3		2				1			6
水腎症	男							1	3	2	2	1				9
	女							1			1					2
膀胱疾患	男															0
	女															0

Ⅳ 学 校 保 健 事 業



Ⅳ 学 校 保 健 事 業

この事業は、学校保健安全法に基づき幼児・児童・生徒・学生及び教職員の学校における健康管理の適正円滑な運用と成果の確保に寄与することを目的に、私立学校、市町村立学校、県立高校及び特別支援学校を実施した。

また労働安全衛生法の一部改正により、平成28年度よりストレスチェック検査を実施した。

平成30年度の延べ受診者数は、88,309人（幼児・児童・生徒・学生83,181人、教職員5,128人）であった。

1 概 要

(1) 検査項目と対象者

① 幼児・児童・生徒・学生

検 査 項 目		対 象 者
尿検査	蛋白・糖・潜血	私立学校、県立高校及び特別支援学校の幼児、児童、生徒
血液検査	貧血検査 (WBC・RBC・Hb・Ht)	私立学校、市町村立学校、県立高校の希望した生徒
血圧測定		私立学校の生徒
心音・心電図検査		私立学校、市町村立学校の小学1年・4年、中学1年
心臓検診		私立学校、県立高校の高校1年、特別支援学校の幼稚部、小学部1年・4年、中学部1年、高等部1年
胸部X線検査	間接、直接撮影	私立学校、県立高校の高校1年及び特別支援学校の高等部1年
健康診断	既往歴、自他覚症状、身長、体重、視力、聴力、血圧、尿検査、胸部X線検査、血液、心電図等	大学校、短期大学校、専門学校等の学生
特殊健康診断	有機溶剤、電離放射線、特定化学物質等	大学校の学生

② 教職員

検 査 項 目		対 象 者
健康診断	既往歴、自他覚症状、身長、体重、視力、聴力、血圧、尿検査、胸部X線検査、血液、心電図等	私立学校、市町村立学校、県立高校及び特別支援学校、国立大学校の教職員
胃部X線検査	間接撮影	市町村立学校、県立高校及び特別支援学校の教職員
その他の検診	血液検査等	私立学校、県立高校及び特別支援学校の教職員
特殊健康診断	有機溶剤、電離放射線、特定化学物質等	国立大学校の教職員
ストレスチェック検査	職業性ストレス簡易調査(57項目)	私立学校の教職員

2 各種検診実績

(1) 受診者数

① 幼児・児童・生徒・学生

(人)

検 査 項 目	受 診 者 数				
	県立学校	市町村立学校	私立学校	国立学校	計
尿検査（蛋白・糖・潜血）	30,133		6,937		37,070
血液検査	531		2,184		2,715
血圧測定			2,656		2,656
心音・心電図検査		10,306	167		10,473
心臓検診	10,222		4,446		14,668
胸部X線検査（間接，直接撮影）	9,722		1,830		11,552
健康診断			3,249		3,249
特殊健康診断				798	798
計	50,608	10,306	21,469	798	83,181

② 教職員

(人)

検 査 項 目	受 診 者 数				
	県立学校	市町村立学校	私立学校	国立学校	計
健康診断	1,736	98	707	634	3,175
胃部X線検査	618				618
その他の検診	60		93	142	295
特殊健康診断				623	623
ストレスチェック検査			417		417
計	2,414	98	1,217	1,399	5,128

(2) 幼児・児童・生徒・学生成績

① 尿検査

区 分	総受診者 (人)	異常なし (人)	比率 (%)	尿蛋白		尿潜血		尿糖	
				陽性者 (人)	比率 (%)	陽性者 (人)	比率 (%)	陽性者 (人)	比率 (%)
県立 (高等学校) (特別支援学校)	30,133	29,153	96.75	586	1.94	328	1.09	66	0.22
私立 (幼稚園・保育園)	535	533	99.63			2	0.37		
私立 (中学校)	669	650	97.15	11	1.65	7	1.05	1	0.15
私立 (高等学校)	5,733	5,601	97.69	76	1.33	41	0.72	15	0.26
計	37,070	35,937	96.94	673	1.82	378	1.02	82	0.22

② 血液検査

区 分	総受診者 (人)	異常なし (人)	比率 (%)	ほぼ正常 (人)	比率 (%)	経過観察 (人)	比率 (%)	要精検 (人)	比率 (%)
県立 (高等学校) (特別支援学校)	531	446	83.99	20	3.77	48	9.04	17	3.20
私立 (中学校)	597	477	79.90	51	8.54	62	10.39	7	1.17
私立 (高等学校)	1,587	1,245	78.45	146	9.20	158	9.96	38	2.39
計	2,715	2,168	79.85	217	7.99	268	9.87	62	2.29

※ウイルス学検査を除く。

③ 心音心電図検査

区 分	総受診者 (人)	異常なし (人)	比率 (%)	ほぼ正常 (人)	比率 (%)	経過観察 (人)	比率 (%)	要精検 (人)	比率 (%)	受診継続 (人)	比率 (%)
市町村立 (小学校・中学校)	10,306	9,471	91.90	555	5.39	19	0.18	104	1.01	157	1.52
私立 (中学校)	167	150	89.82	11	6.58			3	1.80	3	1.80
計	10,473	9,621	91.87	566	5.40	19	0.18	107	1.02	160	1.53

※二次検査を除く。

④ 心臓検査

区 分	総受診者 (人)	異常なし (人)	比率 (%)	ほぼ正常 (人)	比率 (%)	経過観察 (人)	比率 (%)	要精検 (人)	比率 (%)	受診継続 (人)	比率 (%)
県 (高 等 学 校) (特 別 支 援 学 校)	10,222	8,048	78.73	1,857	18.17	11	0.11	166	1.62	140	1.37
私 (高 等 学 校)	4,446	3,402	76.52	913	20.54	4	0.09	77	1.73	50	1.12
計	14,668	11,450	78.06	2,770	18.88	15	0.10	243	1.66	190	1.30

⑤ 胸部X線検査

区 分	総受診者 (人)	異常なし (人)	比率 (%)	ほぼ正常 (人)	比率 (%)	経過観察 (人)	比率 (%)	要精検 (人)	比率 (%)	受診継続 (人)	比率 (%)
県 (高 等 学 校) (特 別 支 援 学 校)	9,722	9,523	97.95	154	1.58	18	0.19	27	0.28		
私 (高 等 学 校)	1,830	1,810	98.91	11	0.60	3	0.16	6	0.33		
計	11,552	11,333	98.10	165	1.43	21	0.18	33	0.29		

V 視 覚 事 業



V 視 覚 事 業

幼児・児童等の「視覚障害の早期発見・早期指導」を主目的とするこの事業は、茨城県より乳幼児視聴覚療育支援事業の委託を受け、幼児（幼稚園、認定こども園、保育所等）、児童（小学1年生）及び聾学校を視覚検診車で巡回し、一次スクリーニング検診を行った。

また、当センター施設（視覚センター）においては、一次スクリーニング検診後の二次検査を含めた屈折異常、弱視、斜視等の精密検査及び指導を行った。

平成30年度の受診者延べ総数は13,822人（視覚移動検診11,949人、視覚精密検査1,873人）であった。

1 概 要

(1) 視覚検診車による視覚移動検診

① 検査内容

- ・視力検査（裸眼視力・矯正視力・眼鏡チェック）
 - * 矯正視力検査は小学1年生以上
- ・眼位検査（眼球運動検査を含む）

② 搭載機器

- ・単一視力検査装置
- ・並列視力検査装置
- ・検眼レンズ
- ・オートレフケラトメーター
- ・レンズメーター

(2) 視覚センターにおける視覚精密検査

① 検査内容

- ・眼科的精密検査
- ・小児眼科的指導（屈折異常・眼位異常の視能矯正）
- ・一般眼鏡装用指導

(3) 年度別事業実績の推移

(人)

年 度	区 分	視覚移動検診	視覚精密検査	計
平成20		12,627	1,888	14,515
21		12,077	1,730	13,807
22		12,197	1,755	13,952
23		※ 11,880	1,836	13,716
24		11,532	1,849	13,381
25		12,340	1,851	14,191
26		※ 12,502	1,805	14,307
27		※ 12,170	1,690	13,860
28		※ 12,213	1,683	13,896
29		※ 11,894	1,807	13,701
30		※ 11,949	1,873	13,822

※ P R 検診が含まれる。

2 事業実績の内容

区 分	視覚移動検診	視覚精密検査	計
稼働日数(日)	150	116	※ 266
受診者数(人)	11,949	1,873	13,822

※ 稼働日数については延べ日数を示す。

3 事業状況

(1) 視覚移動検診市町村別検診状況

区 分	幼 児	児 童	聾 学 校	合 計
施 設 数	94	138	2	234
受 診 者 数 (人)	4,875	6,976	35	※ 11,886

市 町 村 名	区 分	施設数	受診者数(人)	市 町 村 名	区 分	施設数	受診者数(人)
水 戸 市	幼 児	12	739	筑 西 市	幼 児	7	320
	児 童	33	2,163	つ く ば 市	幼 児	3	240
	聾 学 校	1	10	潮 来 市	児 童	6	212
ひたちなか市	幼 児	7	1,071	城 里 町	幼 児	1	91
神 栖 市	児 童	14	870		児 童	5	113
牛 久 市	幼 児	23	708	大 子 町	幼 児	6	204
笠 間 市	幼 児	2	56	稲 敷 市	幼 児	10	201
	児 童	11	589	桜 川 市	幼 児	4	164
つくばみらい市	幼 児	1	75	結 城 市	幼 児	2	119
	児 童	12	544	石 岡 市	幼 児	2	113
那 珂 市	幼 児	2	150	大 洗 町	児 童	2	99
	児 童	9	446	常 陸 太 田 市	幼 児	1	88
鹿 嶋 市	児 童	12	578	行 方 市	幼 児	1	58
茨 城 町	幼 児	5	332	河 内 町	幼 児	3	51
	児 童	4	208	北 茨 城 市	幼 児	1	47
坂 東 市	児 童	13	458	阿 見 町	聾 学 校	1	25
東 海 村	児 童	6	397				
常 陸 大 宮 市	幼 児	1	48				
	児 童	11	299				

※ P R 検診は含まれない。

(2) 視覚精密検査市町村別受診状況（初来者）

(人)

市 町 村 名	受診者数	市 町 村 名	受診者数
水 戸 市	99	鉾 田 市	4
ひ た ち な か 市	36	北 茨 城 市	3
那 珂 市	21	小 美 玉 市	2
日 立 市	14	桜 川 市	2
笠 間 市	13	つくばみらい市	2
東 海 村	13	大 子 町	2
大 洗 町	11	稲 敷 市	1
茨 城 町	11	鹿 嶋 市	1
常 陸 大 宮 市	9	神 栖 市	1
行 方 市	6	つ く ば 市	1
筑 西 市	5	城 里 町	1
潮 来 市	4		
常 陸 太 田 市	4	計	265

(3) 視覚事業県内利用分布図



4 視覚移動検診の結果

(1) 市町村別検診結果

① 幼 児

市 町 村 名	年齢 (歳)	施設数	受診者数 (人)	視 力 ^{※2}		眼 位 ^{※3}		その他の眼疾患	
				要精検者(人)	比率(%)	要精検者(人)	比率(%)	要精検者(人)	比率(%)
ひたちなか市	3	7	423	47	11.1	12	2.8	1	0.2
	4	7	344	21	6.1	15	4.4		
	5	6	304	23	7.6	13	4.3	2	0.7
水戸市	3	10	272	46	16.9	11	4.0	1	0.4
	4	12	307	33	10.7	13	4.2	4	1.3
	5	8	160	16	10.0	4	2.5	1	0.6
牛久市	4	23	695	81	11.7	12	1.7		
	5	9	13	4	30.8				
茨城県	3	4	106	12	11.3	1	0.9		
	4	5	124	16	12.9	3	2.4		
	5	5	102	9	8.8	1	1.0		
筑西市	3	7	146	18	12.3	1	0.7		
	4	6	132	14	10.6	3	2.3	1	0.8
	5	3	42	3	7.1	2	4.8		
つくば市	3	2	53	6	11.3	2	3.8		
	4	3	129	8	6.2	5	3.9		
	5	2	58	4	6.9	2	3.4	1	1.7
大子町	3	6	57	7	12.3	1	1.8		
	4	6	62	5	8.1	1	1.6	1	1.6
	5	6	85	12	14.1	3	3.5	1	1.2
稲敷市	4	10	198	20	10.1	3	1.5		
	5	1	3	1	33.3				
桜川市	4	4	72	14	19.4	2	2.8		
	5	4	92	9	9.8	3	3.3		
那珂市	3	2	49	6	12.2	2	4.1		
	4	2	51	6	11.8	4	7.8		
	5	2	50	5	10.0	4	8.0	1	2.0
結城市	3	2	58	3	5.2				
	4	2	61	13	21.3	4	6.6		
石岡市	3	2	36	8	22.2	3	8.3		
	4	2	39	2	5.1				
	5	2	38	4	10.5	1	2.6		
城里町	3	1	28	4	14.3				
	4	1	25						
	5	1	38	2	5.3	1	2.6		
常陸太田市	3	1	28	5	17.9	1	3.6		
	4	1	29	4	13.8			1	3.4
	5	1	31	1	3.2	1	3.2		
つくばみらい市	3	1	19	3	15.8	1	5.3		
	4	1	25			2	8.0		
	5	1	31	5	16.1	4	12.9	1	3.2
行方市	3	1	21	2	9.5				
	4	1	20	3	15.0				
	5	1	17	1	5.9				
笠間市	3	1	14	3	21.4	1	7.1		
	4	2	40	1	2.5	2	5.0		
	5	1	2	1	50.0				
河内町	3	3	26	5	19.2				
	4	2	18	3	16.7				
	5	1	7						
常陸大宮市	3	1	16	1	6.3				
	4	1	14	1	7.1	1	7.1		
	5	1	18	3	16.7	1	5.6		
北茨城市	3	1	23	3	13.0				
	4	1	24	2	8.3	1	4.2		
計		※1 199	4,875	529	10.9	147	3.0	16	0.3

(年齢は平成30年4月1日現在の年齢である。)

② 児 童

市町村名	学年	施設数	受診者数 (人)	視 力 ^{※2}		眼 位 ^{※3}		その他の眼疾患	
				要精検者(人)	比率(%)	要精検者(人)	比率(%)	要精検者(人)	比率(%)
水 戸 市	1	33	2,163	237	11.0	77	3.6	4	0.2
神 栖 市	1	14	870	112	12.9	28	3.2	3	0.3
笠 間 市	1	11	589	74	12.6	20	3.4	1	0.2
鹿 嶋 市	1	12	578	78	13.5	22	3.8	1	0.2
つくばみらい市	1	12	544	61	11.2	11	2.0		
坂 東 市	1	13	458	54	11.8	13	2.8	1	0.2
那 珂 市	1	9	446	28	6.3	8	1.8	1	0.2
東 海 村	1	6	397	39	9.8	11	2.8		
常 陸 大 宮 市	1	11	299	29	9.7	12	4.0	1	0.3
潮 来 市	1	6	212	34	16.0	8	3.8		
茨 城 町	1	4	208	19	9.1	5	2.4		
城 里 町	1	5	113	12	10.6				
大 洗 町	1	2	99	13	13.1	4	4.0	1	1.0
計		138	6,976	790	11.3	219	3.1	13	0.2

③ 聾 学 校

学 校 名	施設数	受診者数 (人)	視 力 ^{※2}		眼 位 ^{※3}		その他の眼疾患	
			要精検者(人)	比率(%)	要精検者(人)	比率(%)	要精検者(人)	比率(%)
霞 ヶ 浦 聾 学 校	1	25	10	40.0	4	16.0		
水 戸 聾 学 校	1	10			1	10.0		
計	2	35	10	28.6	5	14.3	0	0.0

(水戸聾学校は幼稚部のみ、霞ヶ浦聾学校は、幼稚部から中等部まで実施した。)

※1 同一施設で複数の年齢を検診している箇所があり、延べ施設数を表示している。実際の施設数は94である。

※2 視力の判定基準

・ 幼児の場合

裸眼視力・所持眼鏡等装用時視力が0.7未満の者及び他覚的屈折検査で異常を認めた者を「要精密検査者」とした。

・ 小学生以上の場合

裸眼視力・所持眼鏡等装用時視力が1.0未満の者及び他覚的屈折検査で異常を認めた者を「要精密検査者」とした。

※3 眼位の要精検者には「眼球運動障害などの疑い」も含まれる。

(2) 年齢（学年）別検診結果

区 分	受診者数 (人)	視 力		眼 位		その他の眼疾患	
		要精検者数(人)	比率(%)	要精検者数(人)	比率(%)	要精検者数(人)	比率(%)
3 歳 児	1,375	179	13.0	36	2.6	2	0.1
4 歳 児	2,409	247	10.3	71	2.9	7	0.3
5 歳 児	1,091	103	9.4	40	3.7	7	0.6
小学 1 年 生	6,976	790	11.3	219	3.1	13	0.2
計	11,851	1,319	11.1	366	3.1	29	0.2

（聾学校は、統計対象から除いた。）

(3) 裸眼視力内訳

スクリーニング検診の結果、裸眼視力を幼児は5段階に、児童は8段階に分け、表①②に示した。

区分中の「検査不能」は、発達障害等のため、裸眼視力の測定ができなかったものである。

① 幼児

裸眼視力区分				計(眼)	比 率(%)
	3 歳児(眼)	4 歳児(眼)	5 歳児(眼)		
A	1,499	3,237	1,657	6,393	65.6
B	980	1,157	328	2,465	25.3
C	215	341	176	732	7.5
D	36	57	13	106	1.1
検 査 不 能	20	26	8	54	0.5
計	2,750	4,818	2,182	9,750	100.0

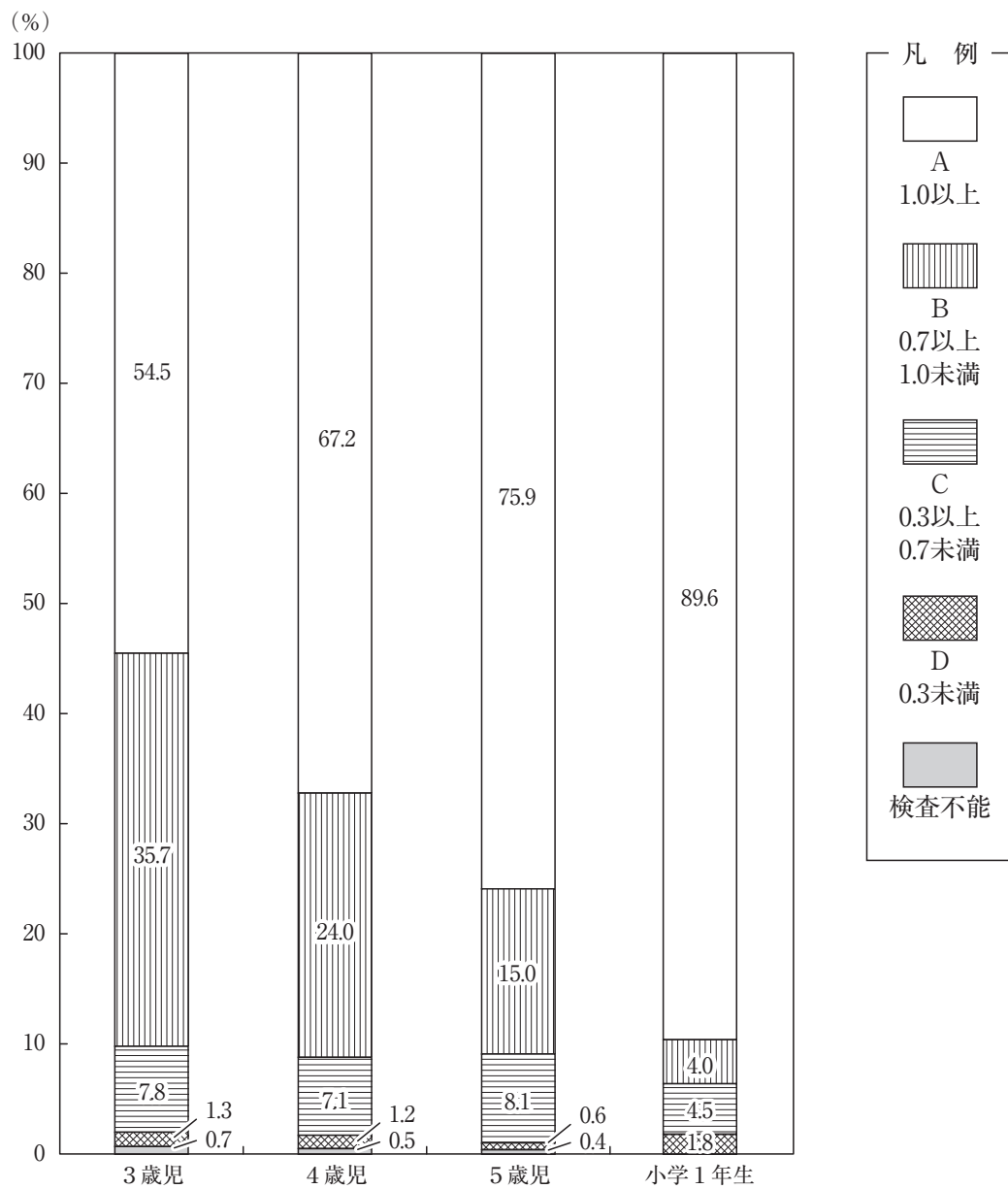
【裸眼視力区分内訳】

A	1.0以上
B	0.7以上 1.0未満
C	0.3以上 0.7未満
D	0.3未満

② 児童

裸眼視力区分	小学 1 年生(眼)	比 率(%)
1.0以上	12,503	89.62
0.7以上～1.0未満	559	4.01
0.3以上～0.7未満	628	4.50
0.1以上～0.3未満	207	1.48
0.04以上～0.1未満	41	0.29
0.02以上～0.04未満	2	0.01
0.02未満	3	0.02
検査不能	9	0.07
計	13,952	100.00

③ 年齢（学年）別裸眼視力分布



(4) その他の眼疾患（疑い）内訳

(人)

疾患名 \ 区分	幼 児	児 童	計
眼 球 振 盪	10	11	21
睫 毛 内 反	4	2	6
眼 瞼 下 垂	2	0	2
計	16	13	29

5 視覚精密検査の結果

(1) 受診経路（初来者）

受診経路の内訳では、「集団検診」による受診の割合が高い。

受診経路	受診者数(人)	比率(%)
集 団 検 診※	144	54.3
保 健 所 ・ 保 健 セ ン タ ー	56	21.1
広 報 紙 等	37	14.0
眼 科 医	17	6.4
部 内 ・ 他 部 門	7	2.7
知 人	4	1.5
計	265	100.0

※「集団検診」には視覚移動検診・学校健診・就学時健診・幼稚園・保育所等検診が含まれる。

(2) 年齢構成別診断名内訳（初来者）

年齢構成別に診断名をみると、下表のとおり屈折異常が最も多く約58%近くを占める。次いで眼位異常である。

(人)

診断名 \ 年齢	0～1	2～3	4～5	6～7	8～9	10～11	12～13	14～15	16～17	18以上	合 計	比率(%)
屈 折 異 常	8	72	77	70	16	6	4		1	9	263	58.2
弱 視		29	22	16	1	1					69	15.3
眼 位 異 常※1	4	23	28	30	3						88	19.5
睫 毛 内 反		4	3								7	1.5
眼 球 振 盪		1		1	1						3	0.7
色 覚 異 常				2		1					3	0.7
そ の 他		3	1		2		1			12	19	4.2
計	12	132	131	119	23	8	5	0	1	21	※2 452	100.0

※1 眼位異常には、眼球運動障害も含む。

※2 診断名総件数は、重複者がいるため受診者数とは異なる。

(3) 年齢構成別屈折種別内訳（初来者）

年齢構成別に屈折種別をみると下表のとおり、低年齢には遠視・遠視性乱視が多い傾向にある。

（眼）

年齢 診断名	0～1	2～3	4～5	6～7	8～9	10～11	12～13	14～15	16～17	18以上	合 計	比率(%)
遠 視	6	47	45	40	9					1	148	28.1
遠 視 性 乱 視	4	51	65	65	3	1				1	190	36.1
近 視	1	4	5	11	11	5	3			3	43	8.2
近 視 性 乱 視	1	10	9	9	3	3	4		2	9	50	9.5
混 合 乱 視		20	26	9	2	2				4	63	12.0
そ の 他※	4	12	4	6	4	1	1				32	6.1
計	16	144	154	140	32	12	8	0	2	18	526	100.0

※ 「その他」には、正視が含まれる。

(4) 受診後の処置（初来者）

- ・「経過観察」とは、一定期間医学的観察を要すると判断されたものである。
- ・「指示・指導」とは、診断結果に従い医学的な指示・指導を行ったものである。
- ・「眼科専門医紹介」とは、治療や手術を必要とし、それを眼科専門医に依頼したものである。

処 置 区 分	受 診 者 数(人)	比 率(%)
経 過 観 察	191	72.1
指 示 ・ 指 導	72	27.2
眼 科 専 門 医 紹 介	2	0.7
計	265	100.0

VI 聴 覚 事 業



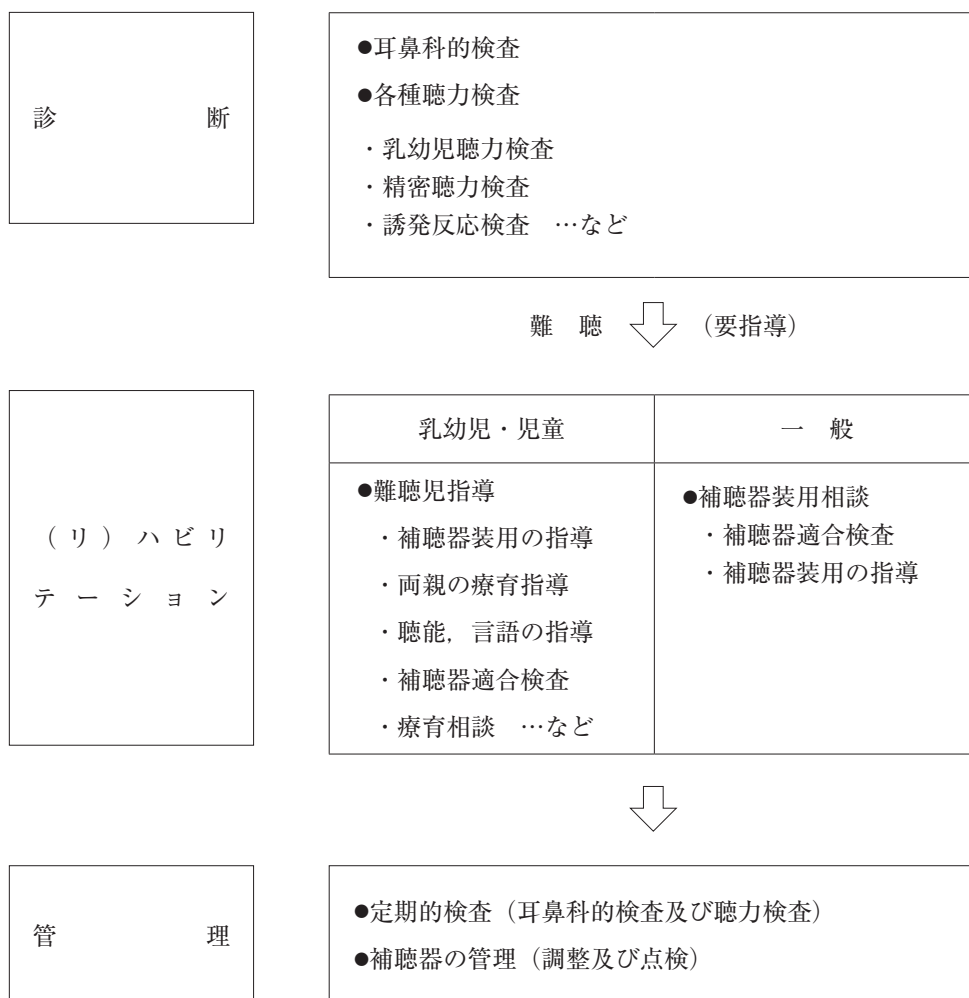
Ⅵ 聴 覚 事 業

茨城県からの委託を受け、「聴覚障害児の早期発見・早期指導」を主目的として、乳幼児・児童を中心に相談に対応した。耳鼻科的検査、各種聴力検査による診断を行い、難聴児・者に対しては、補聴器装用や聴能言語の指導を行った。

また、原則として耳鼻科専門医からの紹介がある場合は、一般も対応した。

1 概 要

(1) 業務の内容



(2) 実 績

受診者数は延べ2,902人、稼働日数は235日であった。また、実受診者数は880人であり、その内訳は、初来の受診者が177人、昨年度以前からの継続受診者が703人であった。

業務内容別にまとめると下表のとおりである。

① 業務内容別の実績（延べ人数）

(人)

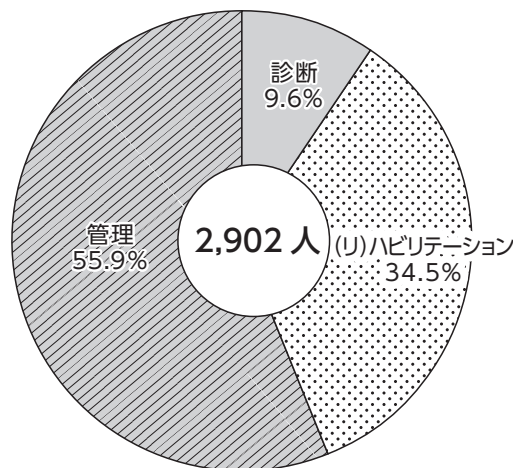
区 分	乳幼児・児童	一 般	計	比率(%)
診 断	263	17	280	9.6
(リ)ハビリテーション	767	234	1,001	34.5
管 理	1,189	432	1,621	55.9
計	2,219	683	2,902	100.0

区分：「乳幼児」・・・6歳未満（就学前）

「児 童」・・・6歳以上（就学後）満17歳以下

「一 般」・・・満18歳以上

② 業務内容別の分布



(3) 受診者の居住分布

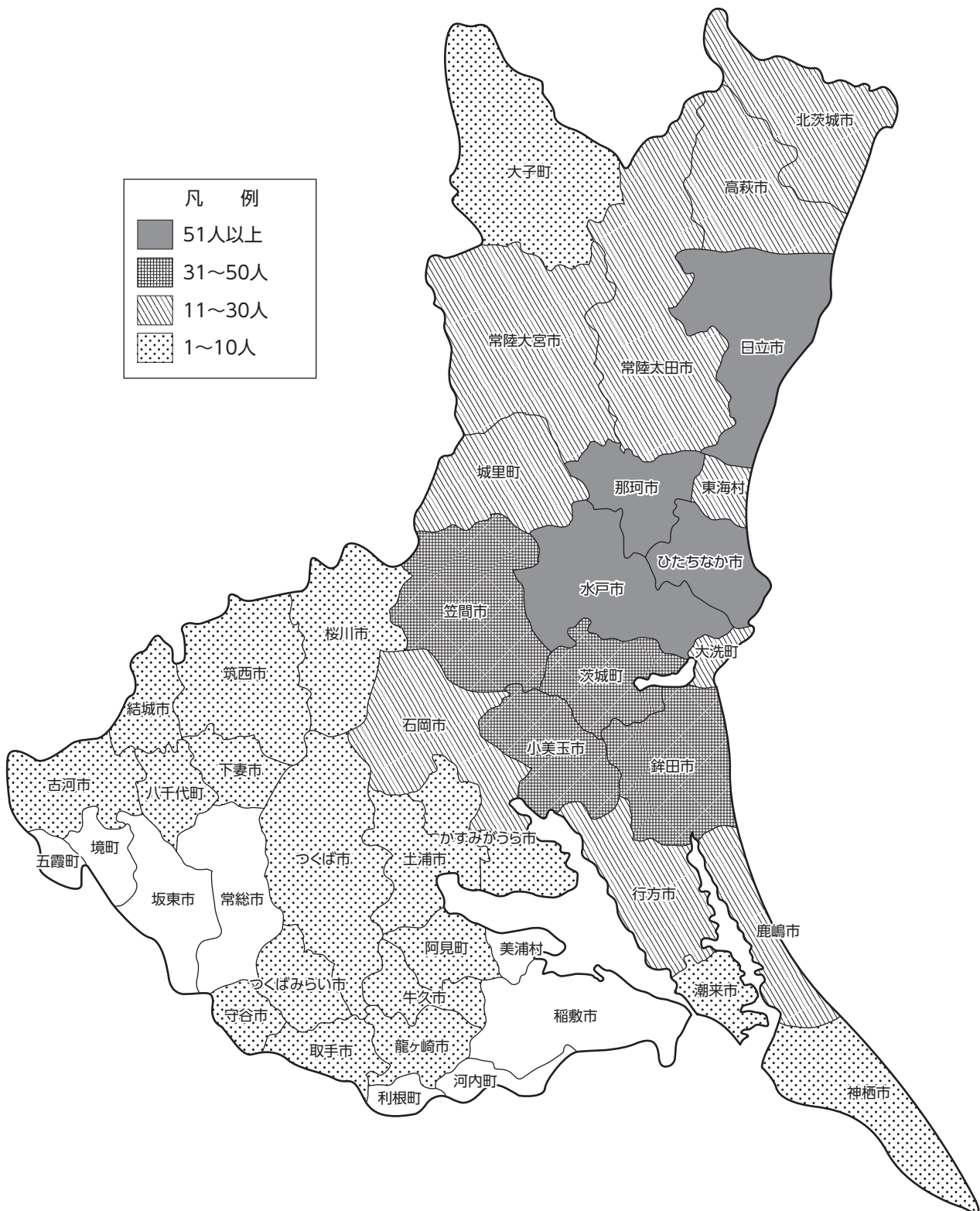
県内受診者は、水戸市が最も多かった。また、その近郊市町村を中心に県北地域、鹿行地域など広域に分布していた。

県外からは、12人の受診があった。

① 県内受診者の分布（実人数）

市町村名	人数(人)	市町村名	人数(人)	市町村名	人数(人)	市町村名	人数(人)	市町村名	人数(人)
水 戸 市	220	常陸太田市	27	石 岡 市	12	阿 見 町	5	八 千 代 町	1
ひたちなか市	138	常陸大宮市	25	城 里 町	12	下 妻 市	4	土 浦 市	1
日 立 市	66	東 海 村	24	潮 来 市	10	取 手 市	3	結 城 市	1
那 珂 市	54	鹿 嶋 市	19	大 子 町	9	牛 久 市	2	つくばみらい市	1
笠 間 市	40	大 洗 町	18	桜 川 市	8	かすみがうら市	2	県 外	12
茨 城 町	38	北 茨 城 市	13	筑 西 市	6	守 谷 市	1		
小 美 玉 市	37	行 方 市	13	神 栖 市	6	つ く ば 市	1		
鉾 田 市	32	高 萩 市	13	龍ヶ崎市	5	古 河 市	1	計	880

② 県内受診者分布（実人数）



2 業務別の様態

(1) 診断の部（実人数）

① 年齢・性別

初来受診者の年齢は、新生児聴覚スクリーニングの影響により、0歳が最も多かった。乳幼児・児童の性別については、男児が96人であり、女児の72人より多かった。

ア 乳幼児・児童内訳

(人)

年齢(歳) 性別	0	1	2	3	4	5	6	6～12	13～17	計
男	42	5	7	10	6	9	2	15		96
女	18	1	6	11	4	5	2	21	4	72
計	60	6	13	21	10	14	4	36	4	168
比率(%)	35.7	3.6	7.7	12.5	6.0	8.3	2.4	21.4	2.4	100.0

※ 年齢区分の「6歳」は就学前の幼児,「6～12歳」の6歳は就学後の児童。

イ 一般内訳

(人)

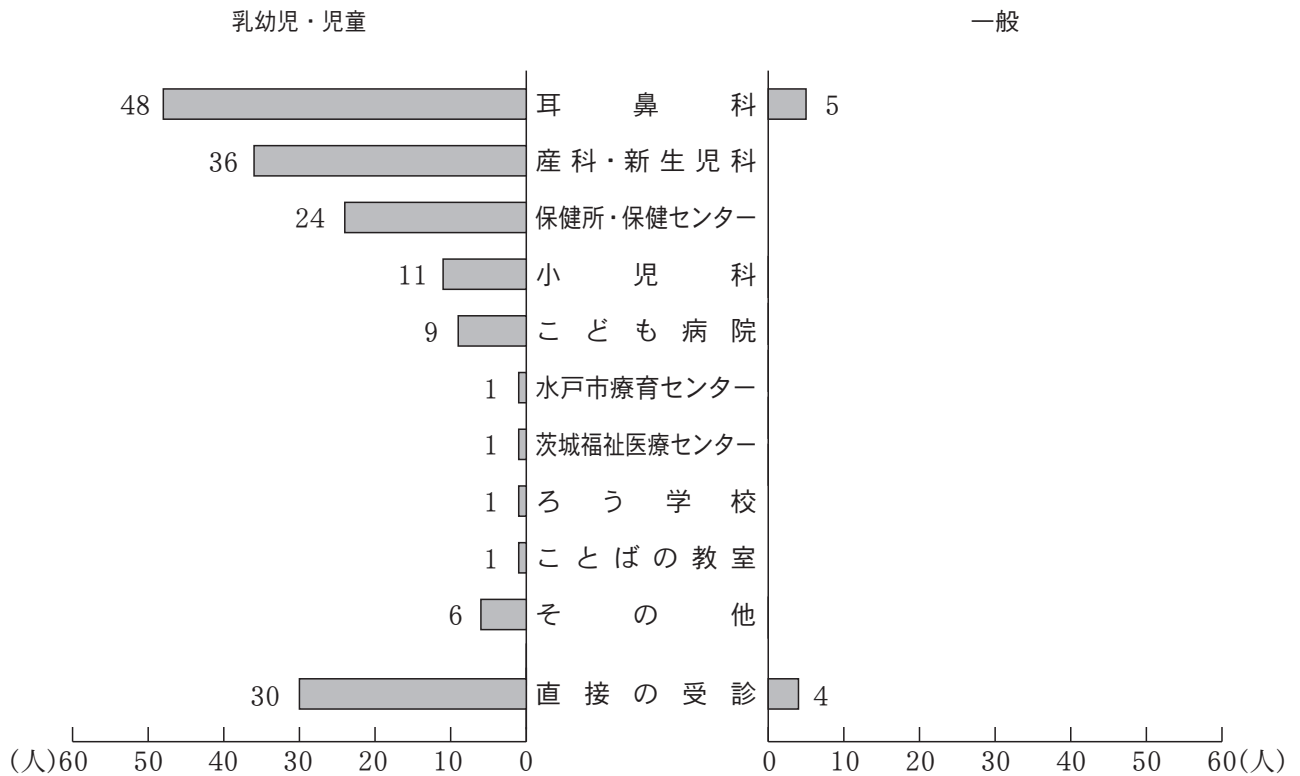
年齢(歳) 性別	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男			1	1				2	4
女		1	2		1		1		5
計	0	1	3	1	1	0	1	2	9
比率(%)	0.0	11.1	33.4	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	100.0

② 受診経路

他機関からの紹介による受診が多く、紹介元は、耳鼻科や産科・新生児科、保健所・保健センターが多かった。

耳鼻科は、一般の耳鼻科では難しい、乳幼児の聴力検査や精密検査、(リ)ハビリテーションなどの依頼であった。産科・新生児科は、新生児聴覚スクリーニング検査後の精密検査の依頼であった。また、保健所・保健センターは、乳幼児健診やことば遅れなどについての相談から、難聴が疑われた例であった。

ア 受診経路内訳



③ 受診起因

乳幼児・児童では、新生児聴覚スクリーニング検査で要精密検査となり、受診した例が最も多かった。次いで、難聴が疑われて受診した例や、言葉遅れの原因として難聴の有無を調べるために受診した例が多かった。

ア 受診起因別内訳

乳幼児・児童

起 因	人数(人)
新生児聴覚スクリーニング	47
難聴の疑い	35
言葉遅れ	34
学校健診	17
難聴リスク	12
就学時健診	6
3歳児健診	3
補聴器相談希望	3
幼稚園健診	2
治療中・後	2
聴力管理	2
1歳6ヶ月健診	2
その他	3
計	168

一 般

起 因	人数(人)
難聴の疑い	4
補聴器相談希望	2
診断書	1
その他	2
計	9

④ 検査結果

難聴の有無をみると、乳幼児・児童では、両耳とも正常である例は100例で約70%を占めており、難聴がある場合は片耳に比べて両耳が多かった。難聴の種別は、感音性が約65%、伝音性が約35%と、感音性難聴が多かった。一般では、ほとんどの例に難聴があり、難聴の種別は感音難聴が多かった。

ア 聴力検査結果

年齢(歳) \ 区分		正常(人)	難聴あり		難聴の種別		
			両耳(人)	片耳(人)	伝音性(耳)	感音性(耳)	混合性(耳)
乳幼児・児童	0	21	8	8	5	19	
	1	6					
	2	11	1			2	
	3	15	4	1	5	4	
	4	7	3		4	2	
	5	10	3	1	1	6	
	6	4					
	6～12	24	5	5	8	7	
	13～17	2	1	1		3	
	計	100	25	16	23	43	0
	比率(%)	70.9	17.7	11.4	34.8	65.2	0.0
一般	18～19						
	20～29	1					
	30～39		2	1	1	3	1
	40～49			1		1	
	50～59			1		1	
	60～69						
	70～79		1			2	
	80～		2			4	
	計	1	5	3	1	11	1
	比率(%)	11.1	55.6	33.3	7.7	84.6	7.7
合 計		101	30	19	24	54	1
比率(%)		67.3	20.0	12.7	30.4	68.4	1.3

※1 検査結果の出していない者が、27例いる。

※2 年齢区分の「6歳」は就学前の幼児、「6～12歳」の6歳は就学後の児童を示す。

⑤ 診 断 名

乳幼児・児童では、難聴の疑いが84人と最も多く、次いで両側感音難聴が多かった。

難聴以外の診断名では、言語発達遅滞が多かった。

ア 診断名別集計

(人)

診 断 名	乳幼児・児童	一般	計	診 断 名	乳幼児・児童	一般	計
難聴の疑い	84	3	87	外耳道閉鎖症	1		1
両側感音難聴	15	3	18	耳鳴症		1	1
片側感音難聴	3		3	眩暈症		1	1
両側伝音難聴	4		4	言語発達遅滞	11		11
片側伝音難聴	5	1	6	構音障害	8		8
機能性難聴	10		10	発達遅滞	3		3
滲出性中耳炎	5		5	ターナー症候群	1		1
耳垢栓塞	2		2	頭蓋外胚葉異形成症	1		1
急性副鼻腔炎	1		1	原発性腫瘍	1		1
急性上気道炎	1		1	計	156	9	165

※ 症例により複数の診断名を持つため、計は受診者数とは異なる。

⑥ 診断後の措置

乳幼児・児童、一般ともに、終了となる例が最も多かった。乳幼児・児童では、次いで聴力管理のための定期検査指示が多かった。

ア 診断後の措置内訳

乳 幼 児 ・ 児 童

措 置	人数(人)
終 了	92
定期検査指示	32
(リ) ハビリテーション開始	14
治療（依頼）	3
他医紹介	1
経過観察	1
中止・継続中	25
計	168

一 般

措 置	人数(人)
終 了	6
(リ) ハビリテーション開始	3
計	9

(2) (リ)ハビリテーションの部

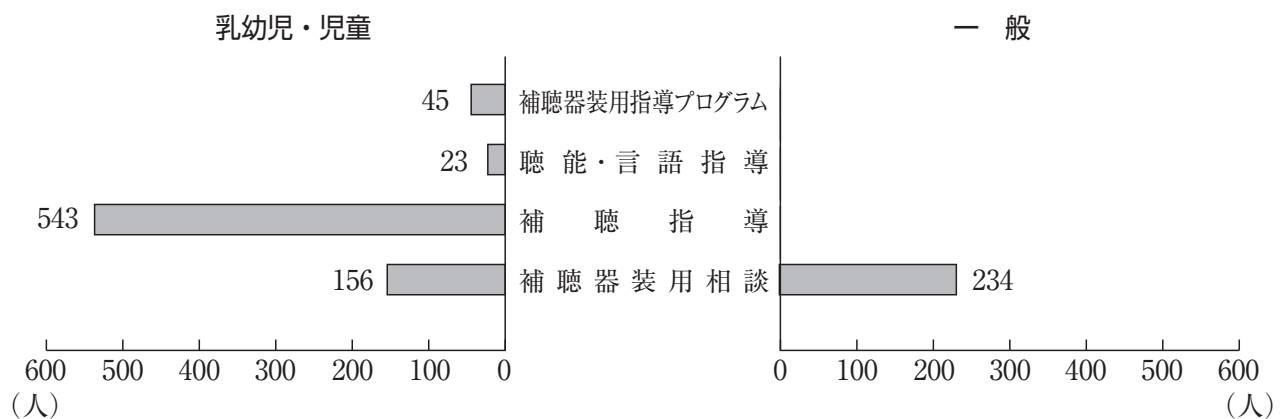
① (リ)ハビリテーションの業務内容

年齢や難聴の程度などにより、概ね下表の内容に分けられる。

ア 業務の内容

補聴器装用指導：難聴児の養育に関する保護者への教育を中心にした指導プログラム（難聴診断後に、全4回実施）
聴能・言語指導：言語発達を中心とした発達全般に関する評価及び指導（年齢や難聴の程度で異なり、数年間継続）
補聴指導：主に、乳幼児に対する補聴器の適合及び装用指導（聴力検査や補聴器調整を繰り返し行い、数年間継続）
補聴器装用相談：児童・成人に対する補聴器の適合及び装用指導（1～2か月で終了）

② 業務内容別(延べ人数)



③ 年齢・性別（実人数）

乳幼児・児童では、6～12歳と3歳が他の年齢と比べて多かった。性別でみると、女兒の62人に比べて男児が80人と多かった。

一般では、80歳以上が最も多く、性別でみると、男性の17人に比べて女性が39人と多かった。

ア 乳幼児・児童内訳

（人）

年齢(歳) 性別	0	1	2	3	4	5	6	6～12	13～17	計
男	2	9	12	17	7	6	1	16	10	80
女	2	5	6	13	2	10		15	9	62
計	4	14	18	30	9	16	1	31	19	142
比率(%)	2.8	9.9	12.7	21.1	6.3	11.3	0.7	21.8	13.4	100.0

※年齢区分の「6歳」は就学前の幼児、「6～12歳」の6歳は就学後の児童を示す。

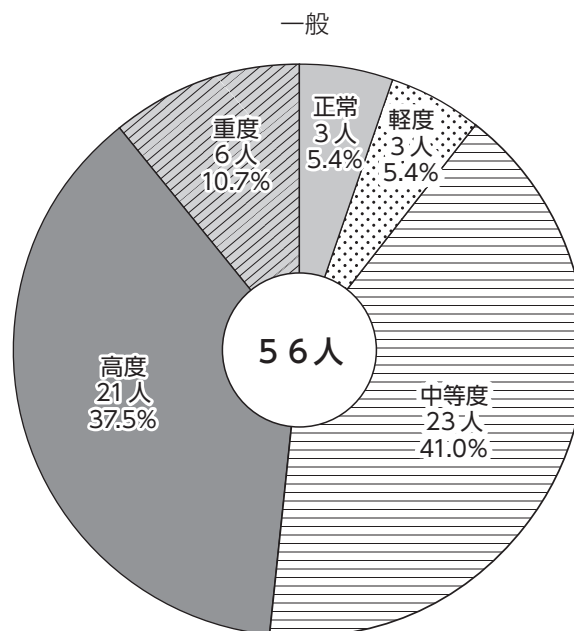
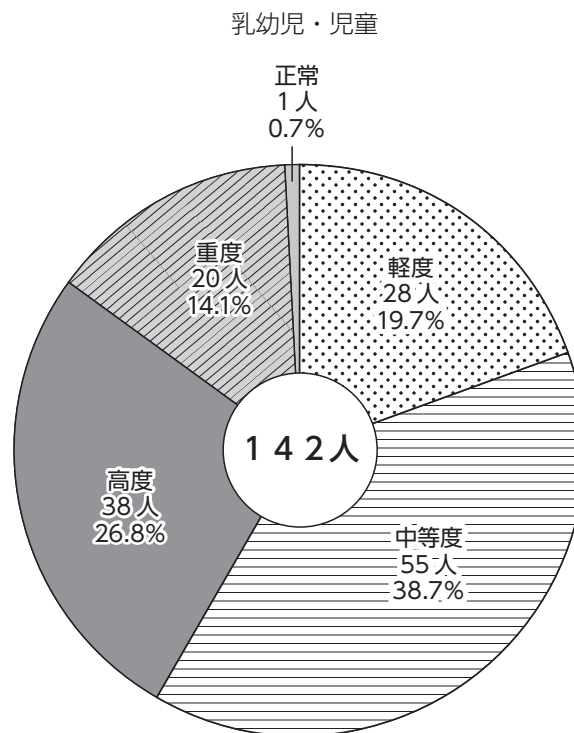
イ 一般内訳

（人）

年齢(歳) 性別	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	1	3	1			2	1	9	17
女	4	8	1	5	1	4	10	6	39
計	5	11	2	5	1	6	11	15	56
比率(%)	8.9	19.6	3.6	8.9	1.8	10.8	19.6	26.8	100.0

④ 良聴耳の聴力レベル分布（実人数）

乳幼児・児童では，中等度難聴が最も多く，次いで高度難聴が多かった。一般では，中等度難聴と高度難聴が多く，ほぼ同程度であった。



※正常範囲～19dB，軽度20～49dB，中等度50～69dB，高度70～99dB，重度100dB～

(3) 管理の部

① 管理の業務内容

業務内容は、定期的な聴力管理と補聴器管理に分けられる。

補聴器管理は、補聴器の作動不良などに対処したもので、聴力検査等は実施していない。

ア 管理の延べ数 (人)

区 分	聴力管理	補聴器管理	計
乳 幼 児 ・ 児 童	1,150	39	1,189
一 般	371	61	432

② 年齢・性別（補聴器管理を除いた実人数）

乳幼児・児童では、男児、女児とも6～12歳が最も多く、次いで13～17歳の順であった。

一般では、男性は18～19歳、20～29歳、80歳以上が多く、女性は20～29歳が多かった。

性別でみると、乳幼児・児童は男児、一般は女性の方が多かった。

ア 乳幼児・児童内訳 (人)

年齢(歳) 性別	0	1	2	3	4	5	6	6～12	13～17	計
男	18	17	23	28	25	19	6	113	43	292
女	7	14	16	18	15	24	3	86	52	235
計	25	31	39	46	40	43	9	199	95	527
比率(%)	4.7	5.9	7.4	8.7	7.6	8.2	1.7	37.8	18.0	100.0

※年齢区分の「6歳」は就学前の幼児、「6～12歳」の6歳は就学後の児童を示す。

イ 一般内訳 (人)

年齢(歳) 性別	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	18	20	9	5	1	5	10	22	90
女	13	31	12	15	8	9	19	15	122
計	31	51	21	20	9	14	29	37	212
比率(%)	14.6	24.1	9.9	9.4	4.2	6.6	13.7	17.5	100.0

③ 診断名（補聴器管理を除いた実人数）

乳幼児・児童，一般とも両側感音難聴が最も多かった。次いで，乳幼児・児童は片側感音難聴が多く，一般は片側感音難聴，両側混合性難聴が多かった。

難聴以外の診断名では，乳幼児・児童，一般ともに，ダウン症候群が多かった。

ア 診断名別集計

(人)

診 断 名	乳幼児・児童	一般	計	診 断 名	乳幼児・児童	一般	計
難聴の疑い	64	1	65	構音障害	1		1
両側感音難聴	236	169	405	発達障害	6		6
片側感音難聴	82	15	97	精神発達遅滞	3	2	5
両側混合性難聴	15	10	25	脳性麻痺	8	2	10
片側混合性難聴	7	2	9	脳白質ジストロフィー	1		1
両側伝音難聴	51	7	58	脳室周囲白質軟化症	1		1
片側伝音難聴	36	2	38	頭蓋外胚葉性異形成症	1		1
機能性難聴	10		10	原発性腫瘍	1		1
急性中耳炎	1		1	点頭てんかん	1		1
滲出性中耳炎	22		22	神経線維腫Ⅰ型	1		1
慢性中耳炎		1	1	神経芽細胞腫	1		1
耳管狭窄症	1		1	ファロー四徴症	1		1
耳硬化症	1		1	骨形成不全症	1		1
外耳炎	3		3	軟骨無形成症	1		1
耳垢栓塞	7	2	9	ダウン症候群	53	9	62
外耳道閉鎖症	19	1	20	先天性CMV症候群	5		5
小耳症	18		18	ビエールロバン症候群	5		5
耳小骨連鎖異常	2		2	コルネリア・デ・ランゲ症候群	2	1	3
耳介奇形	6	1	7	BO(R)症候群	1	1	2
遅発性内リンパ水腫		1	1	チャージ症候群	3	1	4
前庭水管拡大症	3	1	4	染色体異常	1		1
人工内耳例	13		13	ヌーナン症候群	1		1
アレルギー性鼻炎		2	2	歌舞伎メーキャップ症候群	1		1
急性咽頭炎		2	2	耳・口蓋・指症候群	1		1
急性扁桃炎		1	1	Epstin症候群	1		1
口唇・口蓋裂（含：術後）	15	1	16	先天性風疹症候群		1	1
口内炎		1	1	temple症候群	1		1
顔面神経麻痺	15	1	16	ゴールデンハー症候群	2		2
側頭部打撲		1	1	ワーデンブルグ症候群	1	1	2
言語発達遅滞	8		8	計	741	240	981

※症例により複数の診断名を持つため，計は受診者数と異なる。

④ 措置（補聴器管理を除いた延べ人数）

乳幼児・児童，一般とも継続管理となる例が最も多く，次いで診断書発行が多かった。また，聴力の変化や環境の変化，言語発達等の経過から，(リ)ハビリテーション開始となる例もあった。

ア 管理後の措置内訳

乳幼児・児童

措 置	人数(人)
継続管理	1,058
診断書発行	32
終了	29
(リ)ハビリテーション開始	20
経過観察	5
治療(依頼)	4
他医紹介	2
計	1,150

一 般

措 置	人数(人)
継続管理	329
診断書発行	20
(リ)ハビリテーション開始	17
終了	3
経過観察	1
治療(依頼)	1
計	371

Ⅶ 救急医療情報コントロール事業



VII 救急医療情報コントロール事業

茨城県より当事業を受託し、昭和53年8月に事業を開始した。

当事業は、コントロールセンターを主軸とし、救急医療機関等からの情報収集や県内消防本部への情報の提供などを行い、救急搬送時の円滑化・迅速化を図っている。また、県民からの電話等による問合せに対し、救急医療機関等の案内を行っている。

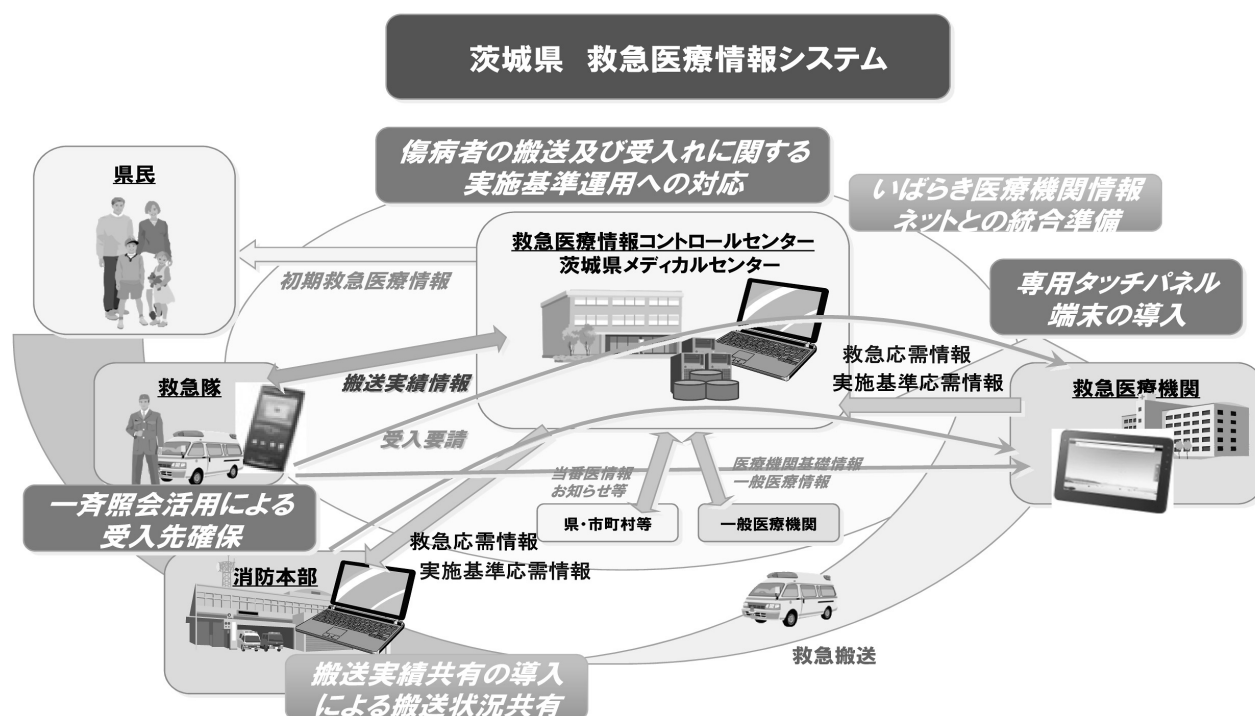
関係者向けには、医療連携支援情報、広域災害情報、周産期・新生児救急医療情報等の提供をしている。

平成23年10月にシステムのリニューアルを行い、各救急医療機関に専用タッチパネル端末を導入し、消防本部には、新たな情報として、今までの救急応需情報のほかに、救急搬送受入実施基準の症状別の応需情報（実施基準応需情報）を救急告示医療機関等から収集し、救急搬送に対応した情報の提供を速やかに行えるようにした。また、一斉照会システムを導入し、搬送先医療機関を探し始めてから10分たっても収容先が見つからない場合、救急告示病院等に対して一斉に受け入れ要請を行うことができるシステムを整備し、迅速に搬送できるようにした。

平成30年9月には、懸案であったシステム更新を県が実施した。また、同時に、休日と夜間については民間コールセンターを活用した、おとな向けの医療電話相談（＃7119）事業を開始し、医療相談と病院案内をひとつの電話で行える体制が図られた。これにより、10月1日からは、当センターにおける病院案内業務については、平日、月曜から土曜までの9時から17時30分までに縮小したところである。

なお、平成31年4月からは#7119事業が24時間化されたことにより、事業が一元化され、当センターでの業務はすべて終了した。

1 システム全体の流れ



2 参加機関と内容

機 関 名	内 容
コントロールセンター	- 救急告示医療機関等や一般の医療機関から実施基準応需情報・救急医療情報・医療情報等を収集し、救急告示医療機関等や一般の医療機関及び消防本部に提供 - 県民へ電話による救急医療機関の案内（24時間対応） - システムホームページ内にて、当番医情報等を公開（携帯電話にも対応） - 広域災害情報システムの運用（厚生労働省の広域災害・救急医療情報システムと連携し、災害時の医療機関の支援情報・ライフライン情報等の収集・提供を実施） - 周産期・新生児救急医療情報の収集（13ヶ所）及び医療機関への情報提供
消防本部	- 端末装置より応需可能な医療機関を検索することにより、円滑な救急搬送を実施 - 救急協力医療機関等に対し、診療可能を確認のうえ、変更情報を入力
三次・二次救急医療機関・救急告示医療機関等	- 救急医療応需情報、実施基準応需情報及び広域災害情報の提供 - 医療機関基礎情報の提供 - 医療連携情報の利用
救急協力医療機関	- インターネット網を利用して、パソコンから入力又は消防本部からの電話による応需状況の問合せに応じ、救急医療情報を提供 - 医療機関基礎情報の提供
一般医療機関	- 医療機関基礎情報の提供 - 医療連携情報、救急医療情報の利用
休日夜間急患センター・在宅当番医療機関	あらかじめ決められている当番医診療スケジュールに従い、夜間・日曜日・祝日等に診療
当番関係市町村・医師会	当番医診療スケジュールの提供

※ その他の機関として、県・市町村（上記以外）等行政機関、医師会（上記以外）が参加している。

3 提供情報

提 供 先	情 報 内 容
県民向け情報	今診てもらえるお医者さん情報（携帯電話でも提供）
	休日夜間当番医情報（携帯電話でも提供）
	小児輪番情報
	外国語での対応可能な医療機関情報（英語表記）
関係者向け情報	救急医療応需情報
	実施基準応需情報
	医療連携支援情報
	当番医情報
	周産期・新生児救急情報
	広域災害救急医療情報

4 救急医療情報システムの運営状況

(1) システム登録医療機関等

告示等情報収集施設（告示及び二次協力）97ヶ所、協力等情報収集施設（協力及び電話収集）173ヶ所、一般情報収集施設1,329ヶ所、歯科診療所1,406ヶ所、休日夜間急患センター12ヶ所、在宅当番医352ヶ所の登録医療機関から救急医療情報を収集している。

※ 協力等情報収集施設とは、告示等情報収集施設以外の医療機関で、システムに参加いただいている医療機関を示す。

(ヶ所)						(平成30年9月30日現在) (ヶ所)	
	告示等情報 収 集 施 設	協力等情報 収 集 施 設	一 般 情 報 収 集 施 設	歯科診療所	計	各市町村より診療日程収集	
						休 日 夜 間 急患センター	在宅当番医
病院	93(1)	36(△1)	46(0)	0(0)	175(0)	12(0)	352(8)
診療所	4(0)	137(△12)	1,283(7)	1,406(6)	2,830(1)		他132は、告示・協力等情 報施設であり、さらに当番 を行っている施設
計	97(1)	173(△13)	1,329(7)	1,406(6)	3,005(1)		

※ ()内は、前年度との比較増減

(2) コントロールセンターにおける医療機関案内状況

① 年度別案内件数

コントロールセンターにおける案内件数は、昨年度より19,198件減の24,389件であった。(件)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
件数	47,214	46,332	47,099	45,195	43,587	24,389
前年度増減	△2,158	△882	767	△1,904	△1,608	△19,198

② 月別案内状況

案内件数は、9月まではセンターで24時間案内を行っていたが、10月より日曜・祝日・夜間は民間のコールセンターで行うこととなったため減少している。

(件)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成29年度	3,284	4,064	3,064	3,794	4,601	3,460	3,054	2,990	4,092	4,940	3,242	3,002
平成30年度	3,211	3,895	2,899	3,726	4,794	3,377	434	368	374	568	408	335

③ 時間帯別・診療科別案内状況

案内件数を時間帯別に見てみると、夜間帯が9,164件と最も多い時間帯となっている。また、診療科別に見ると、小児科が5,594件と最も多く、次いで内科が4,815件と多かった。前年度も同様の傾向であった。

ア 時間帯別案内件数

(件)

年度 \ 時間帯	午前6:00～12:00	午後12:00～18:00	夜間18:00～24:00	深夜0:00～6:00
平成29年度	8,475	12,601	18,233	4,278
平成30年度	4,300	6,218	9,164	2,220

※ 平成30年度は9月30日までの件数です。

イ 診療科別案内件数

(件)

年度 \ 科目	小児科	内科	整形外科	外科	耳 鼻 咽喉科	脳神経 外 科	皮膚科・ 泌尿器科	その他
平成29年度	12,135	10,122	7,003	4,029	2,134	2,343	1,750	4,071
平成30年度	5,594	4,815	3,729	2,152	1,007	1,255	1,165	2,185

※ 平成30年度は9月30日までの件数です。

④ 医療機関を案内できなかった状況

案内できなかった件数は年間で576件あった。事由別では、「様子を見る」が220件と最も多く、次に「近隣に該当機関なし」が198件と多かった。また、診療科別では耳鼻咽喉科が88件と最も多く、次いで内科の87件となっている。

ア 事由別不案内件数

(件)

年度 \ 事由	近隣に該当機関なし	様子を見る	自分で探す	かかりつけ医へ照会	その他
平成29年度	317	446	95	135	47
平成30年度	198	220	44	68	46

※ 平成30年度は9月30日までの件数です。

イ 診療科別不案内件数

(件)

年度 \ 科目	小児科	耳 鼻 咽喉科	眼科	皮膚科・ 泌尿器科	整形外科	内科	産・婦人科	脳神経 外 科	外科	歯科口腔 外 科	その他
平成29年度	185	167	112	63	147	142	31	53	48	34	58
平成30年度	81	88	81	45	86	87	7	24	19	24	34

※ 平成30年度は9月30日までの件数です。

⑤ ゴールデンウィーク・お盆及び年末年始の案内状況

ゴールデンウィーク・お盆期間中の案内件数は、ゴールデンウィーク2,419件、お盆1,397件であった。

ア ゴールデンウィーク

(件)

年度 \ 月日	4月28日	4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日
平成29年度	87	321	251	68	135	425	392	366	252
平成30年度	161	300	326	107	131	385	390	393	226

イ お盆

(件)

年度 \ 月日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日
平成29年度	364	366	362	195
平成30年度	432	398	342	225

5 消防本部の運営状況

(1) 消防本部における応需情報検索状況

① 時間帯別応需情報検索状況

消防本部における総検索回数は132,087回となり、前年度（281,035回）と比べ149,848回の減となった。

(回)

年度\時間帯	午前6:00～12:00	午後12:00～18:00	夜間18:00～24:00	深夜0:00～6:00
平成29年度	88,960	70,664	88,563	33,748
平成30年度	42,535	32,940	42,423	14,189

※ 平成30年度は9月25日までの件数です。

② 種類別応需情報検索状況

種類別に検索状況を見てみると、一般応需状況モニター（自動更新検索システム）が70,352回と最も多く、次いで実施基準応需情報モニター（自動更新検索システム）が52,150回と多かった。

(回)

年度\項目	一般応需 情報検索	一般応需 状況モニター	実施基準応需 情報モニター	病院群 輪番検索	医療機関 検 索	医療機能 検 索
平成29年度	14,427	155,156	107,717	3,961	499	175
平成30年度	7,338	70,352	52,150	1,900	267	80

※ 平成30年度は9月25日までの件数です。

(2) 消防本部における医療機関案内状況

① 年度別案内状況

(件)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
件数	15,637	16,797	17,579	18,448	15,881	6,728
前年度増減	△1,604	1,160	782	869	△2,567	△9,153

※ 平成30年度は8月31日までの件数です。

② 月別案内状況

(件)

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成29年度	1,289	1,576	1,071	1,494	1,691	1,177	1,172	1,099	1,335	1,665	1,210	1,102
平成30年度	1,057	1,391	1,142	1,429	1,709							

※ 平成30年度は8月31日までの件数です。

(3) 一斉照会利用状況

一斉照会の利用状況は24件ありました。

(件)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成29年度	6	7	2	3	5	5	7	5	6	10	10	8
平成30年度	9	1	5	4	2	3						

※ 平成30年度は9月25日までの件数です。

6 医療機関の診療応需状況

診療応需状況を曜日別・時間帯別に見てみると、夜間帯及び日曜・祝日の応需率が、通常診療時間外となるため低くなっている。

曜日別・時間帯別医療機関診療応需状況

(%)

時間帯 \ 曜日	日曜・祝日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
日中帯10時	38.7	73.5	74.0	72.2	72.8	74.5	62.2
夜間帯20時	37.2	39.3	39.5	40.5	40.2	40.3	39.0

※ 平成30年度は9月25日までの件数です。

7 インターネットによる情報利用状況

インターネットの利用状況について、PC向けページ及び携帯向けページのログイン数は736,460件ありました。また、各メニューへのアクセス総数は306,450件あり、前年度に比べ41,276件の増となった。

県民向けページ利用状況（Web、携帯 Web ページのログイン数と各メニューへのアクセス総数）

(件)

年度 \ 項目	ログイン数(トップページ)			各メニューへのアクセス総数		
	Web	携帯Web	計	Web	携帯Web	計
平成29年度	870,870	90,192	960,979	216,646	50,528	265,174
平成30年度	542,916	193,544	736,460	96,019	210,431	306,450

※ 平成30年度は9月25日までの件数です。

Ⅷ 小児救急医療電話相談事業



Ⅷ 小児救急医療電話相談事業

平成16年8月25日に茨城県から受託し、事業を開始した。現在は、47都道府県で実施している。事業内容は、保護者等が小児の急病などで不安な時や判断に迷った時などに、看護師や医師から処置方法等のアドバイスが受けられる相談を毎日実施している。

平成28年4月1日からは民間コールセンターに再委託することにより、深夜帯及び休日の相談時間の延長を行った。

また、平成30年10月1日からは、相談時間の拡大及びおとな救急電話相談の開始に伴い、相談業務はすべて民間コールセンターで一元化のうえ実施することとなり、当センターでの業務は9月30日をもって終了した。

なお、平成31年4月からは24時間化され、県から委託された民間コールセンターにおいて実施している。

1 事業の経緯

平成16年8月25日	事業開始（全国5番目に実施）、祝日及び年末年始を除く平日（月～金曜）の午後6時30分～午後10時30分の時間帯で相談実施、看護師・医師共1名が対応
平成19年4月1日	相談日拡充：毎日（365日）実施
平成20年6月1日	試験的に看護師2名体制に移行
平成20年9月1日	看護師2名体制完全実施
平成21年4月1日	時間帯を午後6時30分～午後11時30分に、1時間延長
平成21年10月1日	日曜・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）の昼間相談開始、時間帯は午前9時～午後5時
平成26年4月1日	時間帯を午後6時30分～翌午前0時30分に、1時間延長
平成28年4月1日	平日の時間帯を午後6時30分～翌朝8時に延長 （午後11時30分から翌朝8時までを民間コールセンターが担当） 日曜・祝日・年末年始の時間帯を午前8時～翌朝8時に延長 （午前8時から9時30分と午後11時30分から翌朝8時までを民間コールセンターが担当）
平成30年10月1日	平日の時間帯を午後5時30分～翌朝9時に延長 日曜・祝日・年末年始の時間帯を午前9時～翌朝9時に延長 上記の相談時間帯すべてを民間コールセンターに委託

2 事業の運営状況（平成30年度の件数はすべて9月末日までとなります）

(1) 月別相談件数

総相談件数は15,327件で、前年度（同期）と比べ853件の増となった。

(件)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	2,161	2,378	2,222	2,692	2,543	2,478	2,308	2,160	2,701	2,622	2,231	2,149	28,645
平成30年度	2,410	2,593	2,330	2,997	2,545	2,452							15,327

(2) 二次医療圏別相談件数

相談件数を二次医療圏別に見てみると、水戸（19.8%）、取手・竜ヶ崎（15.9%）、つくば（14.9%）、常陸太田・ひたちなか（12.7%）、土浦（8.0%）、古河・坂東（7.9%）、筑西・下妻（7.5%）、鹿行（7.0%）、日立（4.1%）と地域差はあるが県内全域に広がっている事が分かる。

(件)

年度 \ 医療圏	水戸	日立	常陸太田・ひたちなか	鹿行	土浦	つくば	取手・竜ヶ崎	筑西・下妻	古河・坂東	県外	不明
平成29年度	5,665	1,263	3,617	2,031	2,147	4,063	4,759	2,044	2,533	146	377
平成30年度	3,039	631	1,948	1,068	1,230	2,280	2,444	1,157	1,216	77	237

(3) 時間帯別相談件数

相談件数を時間帯別にみると、18:30～19:30で2,512件（16.4%）、19:30～20:30で2,101件（13.7%）、20:30～21:30で1,899件（12.4%）と相談開始から時間がたつにつれて減少していくことが分かる。

① 時間帯別相談件数

(件)

年度\時間帯	9:30～14:00	14:00～18:30	18:30～19:30	19:30～20:30	20:30～21:30	21:30～22:30	22:30～23:30
平成29年度	1,790	1,944	4,796	4,157	3,590	2,700	2,064
平成30年度	829	976	2,512	2,101	1,899	1,442	1,111

② 民間コールセンター相談分

(件)

年度\時間帯	23:30～0:30	0:30～1:30	1:30～2:30	2:30～3:30	3:30～4:30	4:30～5:30	5:30～6:30	6:30～7:30	7:30～8:30	8:30～9:30
平成29年度	1,382	1,069	895	669	553	422	475	824	791	524
平成30年度	776	623	540	365	298	234	311	539	483	288

(4) 相談内容別相談件数

相談件数を相談内容別に見てみると、救急医療相談10,578件と最も多く、次いで、病院紹介2,134件、病気の相談1,548件が主な相談内容となる。

(件)

年度\相談内容	救急医療相談	一般病気の相談	薬の相談	病院紹介	育児・しつけ	その他
平成29年度	19,500	4,116	1,465	2,718	289	557
平成30年度	10,578	1,548	610	2,134	127	330

(5) 年齢別・症状別相談件数

相談件数を年齢別に見てみると、0歳から3歳までで11,561件と、総相談件数の75.4%を占めている。また、症状別では、発熱が5,168件と圧倒的に多く、次いで打撲、嘔吐・吐き気と続く結果となる。

① 年齢別相談件数

(件)

年度\年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6～10歳	11～15歳
平成29年度	7,414	6,724	3,884	3,063	2,060	1,610	3,058	832
平成30年度	3,980	3,891	2,010	1,680	1,064	778	1,490	434

② 症状別相談件数

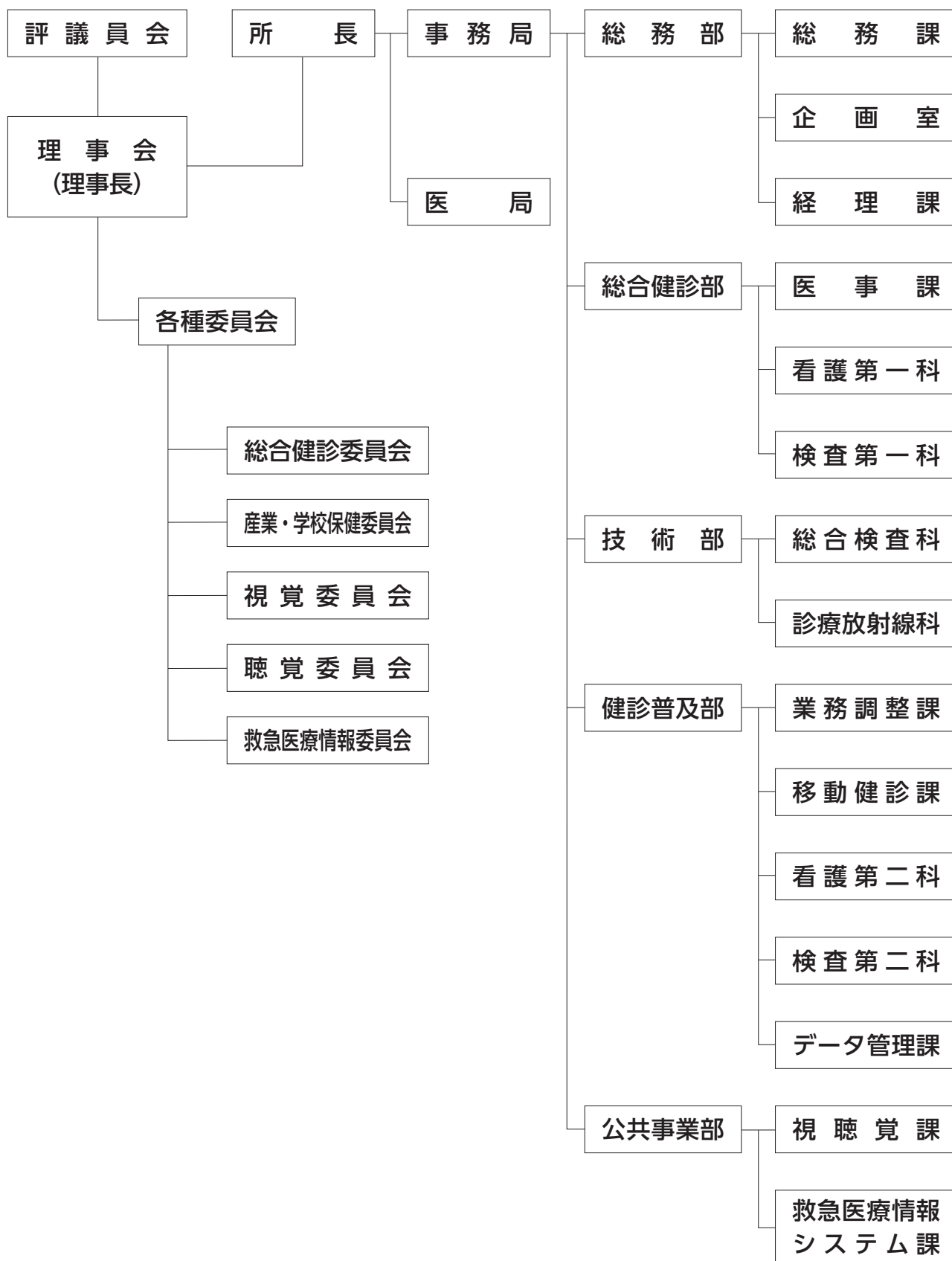
(件)

年度\症状	発熱	打撲	嘔吐・吐き気	発疹	咳	誤飲・異物	耳痛	けが	下痢	その他
平成29年度	9,779	2,438	2,605	1,780	1,880	1,415	762	1,161	765	6,060
平成30年度	5,168	1,322	1,199	968	986	844	383	592	393	3,472

第 2 章 概 要

1 法人の運営組織図

平成31年3月31日現在



2 役員，評議員，顧問，相談役，参与，名誉所長，委員会名簿（平成31年3月31日現在）

職 名	氏 名
役 員	
理事長	諸 岡 信 裕
副理事長	石 光 敏 行
常務理事	長谷川 正 哉
理 事	石 島 弘 之
理 事	上 甲 宏
理 事	新 井 峻
理 事	橋 本 和 彦
理 事	松 崎 信 夫
理 事	政 安 静 子
理 事	海老原 次 男
理 事	小 林 敏 郎
理 事	満 川 元 一
監 事	大 祢 廣 伸
監 事	梅 里 義 博
評議員	
評議員（茨城県保健福祉部長）	木 庭 愛
評議員（水戸市保健福祉部長）	大曾根 明 子
評議員（原外科医院 医院長）	原 毅
評議員（大場内科クリニック 理事長）	大 場 正 二
評議員（筑波大学附属病院 病院長）	原 晃
評議員（水戸赤十字病院 名誉院長）	佐久間 正 祥
評議員（公益財団法人茨城県総合健診協会 会長）	金 子 道 夫
評議員（木島法律事務所 弁護士）	木 島 千華夫
評議員（茨城県立中央病院 病院長）	吉 川 裕 之
顧 問	
顧 問（茨城県知事）	大井川 和 彦
顧 問（衆議院議員）	田 所 嘉 徳
顧 問（衆議院議員）	額 賀 福志郎
顧 問（衆議院議員）	葉 梨 康 弘
顧 問（衆議院議員）	梶 山 弘 志
顧 問（衆議院議員）	石 川 昭 政
顧 問（衆議院議員）	浅 野 哲
顧 問（衆議院議員）	国 光 文 乃
顧 問（衆議院議員）	青 山 大 人
顧 問（衆議院議員）	石 井 啓 一
顧 問（衆議院議員）	神 田 裕
顧 問（参議院議員）	岡 田 広
顧 問（参議院議員）	郡 司 彰
顧 問（参議院議員）	藤 田 幸 久
顧 問（参議院議員）	上 月 良 祐
相談役	
相談役（小松整形外科医院 理事長）	小 松 満
参 与	
参 与（公益財団法人茨城県総合健診協会 前会長）	山 口 巖
参 与（筑波大学附属病院 元病院長）	五十嵐 徹 也
名誉所長	
名誉所長（元 I M C 副理事長兼所長）	小 林 昇

職 名	氏 名
総合健診委員会	
委員長	石 島 弘 之
副委員長	上 甲 宏
委 員	土 井 幹 雄
委 員	佐久間 正 祥
委 員	原 晃
委 員	小 林 雅 枝
委 員	大曾根 明 子
委 員	海老原 次 男
委 員	政 安 静 子
委 員	満 川 元 一
委 員	石 光 敏 行
産業・学校保健委員会	
委員長	小 林 敏 郎
副委員長	益 子 雄 行
委 員	皆 川 憲 弘
委 員	山 村 邦 男
委 員	平 間 敬 文
委 員	近 藤 正 英
委 員	小 林 雅 枝
委 員	石 光 敏 行
視覚委員会	
委員長	橋 本 和 彦
副委員長	勝 又 俊 二
委 員	菅 谷 誠 一
委 員	糸 賀 ひでみ
委 員	久 保 輝 清
委 員	伊 藤 睦 子
委 員	石 光 敏 行
聴覚委員会	
委員長	新 井 峻
副委員長	高 橋 邦 明
委 員	原 晃
委 員	高 根 宏 展
委 員	菅 谷 誠 一
委 員	新 井 雅 之
委 員	金 山 亮 治
委 員	石 光 敏 行
救急医療情報委員会	
委員長	松 崎 信 夫
委 員	須 能 浩 信
委 員	佐久間 正 祥
委 員	家 坂 義 人
委 員	軸 屋 智 昭
委 員	田 口 雅 一
委 員	山 口 高 史
委 員	石 光 敏 行

3 職員の配置状況

職種別人員一覧表

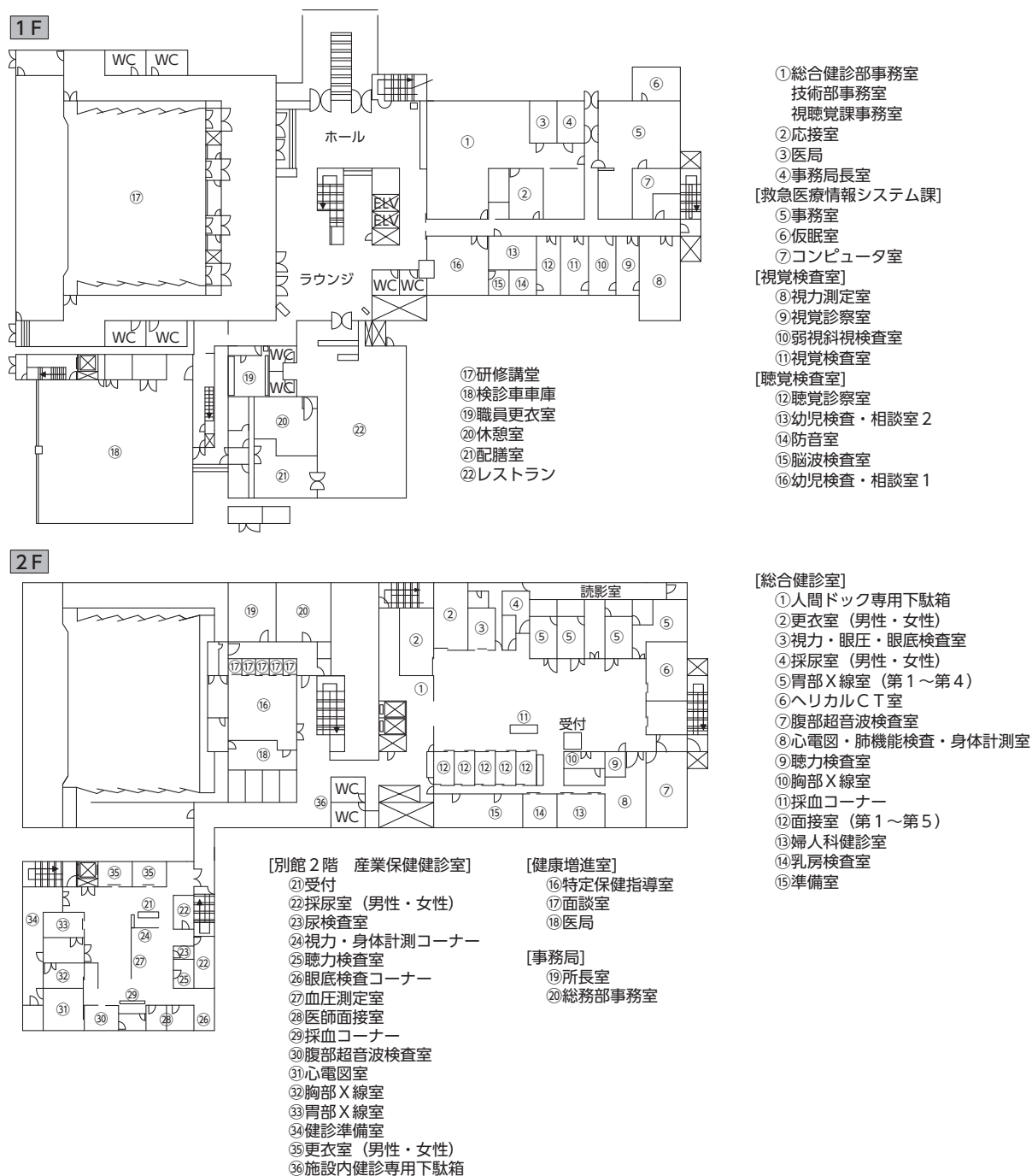
平成31年3月31日現在
(人)

	正 職 員										計
	医師	事務職	技 術 職								
			看護師	准看護師	管理栄養士	検査技師	診療放射線技師	視能訓練士	言語聴覚士	視聴覚技師	
医 局	5										5
事 務 局		3									3
総 務 部*		10						1			11
総合健診部		6	9		2						17
技 術 部						18	10				28
健診普及部		14	7								21
公共事業部		3						2	3	1	9
計	5	36	16	0	2	18	10	3	3	1	94
	嘱託・再雇用職員										計
	医師	事務職	技 術 職								
			看護師	准看護師	管理栄養士	検査技師	診療放射線技師	視能訓練士	言語聴覚士	視聴覚技師	
医 局	2										2
事 務 局											0
総 務 部*		1									1
総合健診部						1					1
技 術 部											0
健診普及部		6	1	1		2					10
公共事業部		1							1		2
計	2	8	1	1	0	3	0	0	1	0	16
	臨 時 職 員										計
	医師	事務職	技 術 職								
			看護師	准看護師	管理栄養士	検査技師	診療放射線技師	視能訓練士	言語聴覚士	視聴覚技師	
医 局											0
事 務 局											0
総 務 部*		1									1
総合健診部		2	4	2							8
技 術 部											0
健診普及部		3	1			1					5
公共事業部		1									1
計	0	7	5	2	0	1	0	0	0	0	15
	全 体										計
	医師	事務職	技 術 職								
			看護師	准看護師	管理栄養士	検査技師	診療放射線技師	視能訓練士	言語聴覚士	視聴覚技師	
医 局	7										7
事 務 局		3									3
総 務 部*		12						1			13
総合健診部		8	13	2	2	1					26
技 術 部						18	10				28
健診普及部		23	9	1		3					36
公共事業部		5						2	4	1	12
合 計	7	51	22	3	2	22	10	3	4	1	125

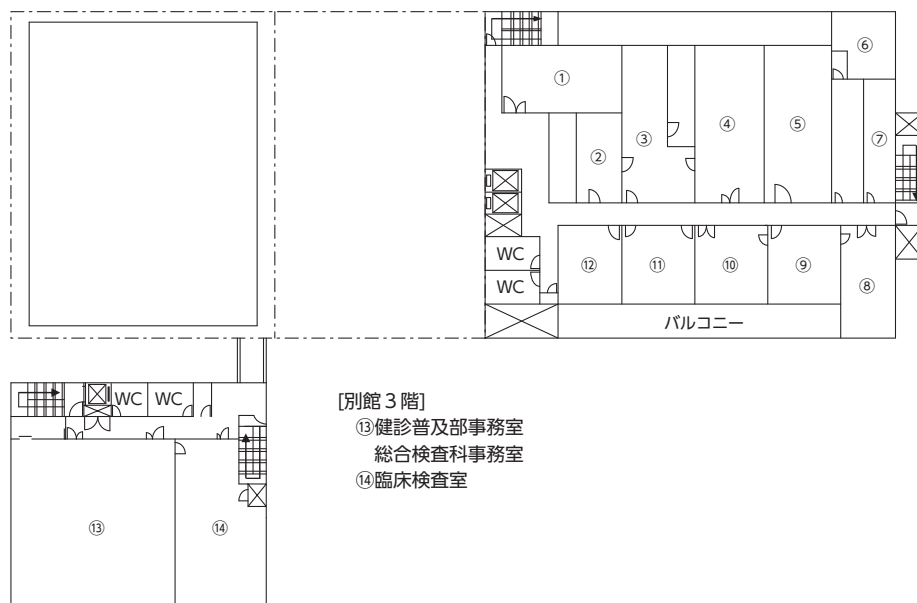
※総務部には育児休業者も含む

4 施設の概要

- ◇ 所在地 茨城県水戸市笠原町489
- ◇ 敷地面積 12,946.9㎡
- ◇ 延床面積 総延床面積 13,005㎡
 - (本館) 8,016㎡
 - (別館) 1,645㎡
 - (人間ドック棟) 3,344㎡
- ◇ 構造 (本館) 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階・塔屋1階
 (別館) 鉄筋コンクリート造 地上3階・塔屋1階
 (人間ドック棟) 鉄筋コンクリート造 地下1階・地上2階・塔屋1階
- ◇ 本館・別館建物平面図



3F

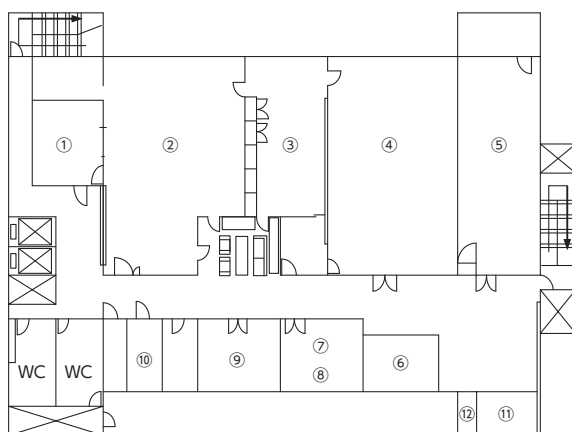


- ①茨城県学校保健会
- ②内視鏡待合室
- ③内視鏡検査室
- ④IMC会議室
- ⑤書庫
- ⑥IMCコンピュータ室
- ⑦救急医療普及啓発推進事務局
- ⑧茨城県医師会第1会議室
- ⑨茨城県病院協会
茨城県産婦人科医会
茨城県医師会史編纂室
- ⑩茨城県医師国民健康保険組合
- ⑪茨城県労災保険指定医協会
茨城県医療法人協会
県央医師会
- ⑫茨城県医師会会長室

[別館 3階]

- ⑬健診普及部事務局
総合検査科事務局
- ⑭臨床検査室

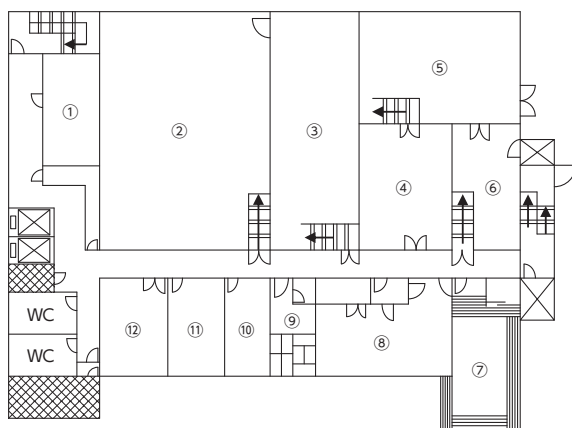
4F



[茨城県医師会]

- ①事務局長室
- ②事務室
- ③役員室
- ④第3会議室
- ⑤第4会議室
- ⑥女性医師就業支援相談窓口
茨城県医療勤務環境改善支援センター
- ⑦茨医会
- ⑧茨城県医師協同組合
- ⑨事務室
- ⑩職員更衣室
- ⑪茨城県医師会サーバ室
- ⑫i S Nサポートセンター

B1F

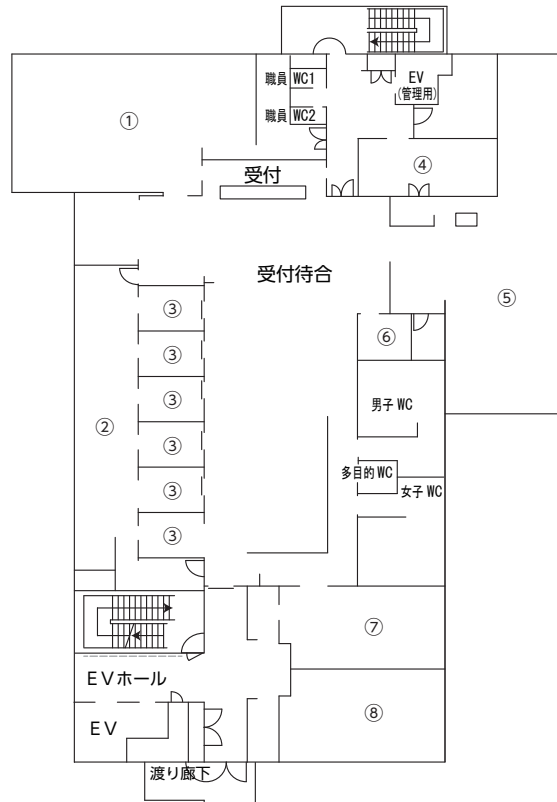


- ①資材室
- ②空調機械室
- ③倉庫
- ④管理室
- ⑤電気室
- ⑥発電機室
- ⑦和室
- ⑧大会議室
- ⑨宿直室
- ⑩小会議室
- ⑪器材室
- ⑫倉庫

◇ 人間ドック棟建物平面図

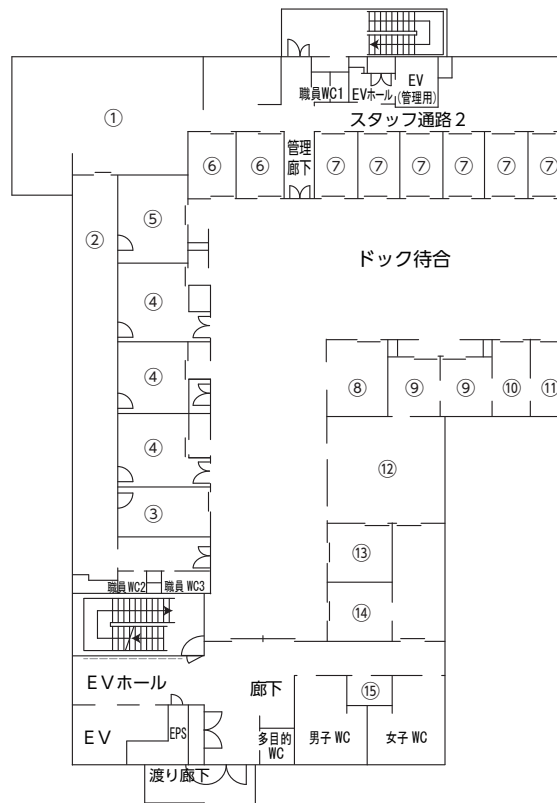
(平成31年3月完成・平成31年4月稼働)

1F



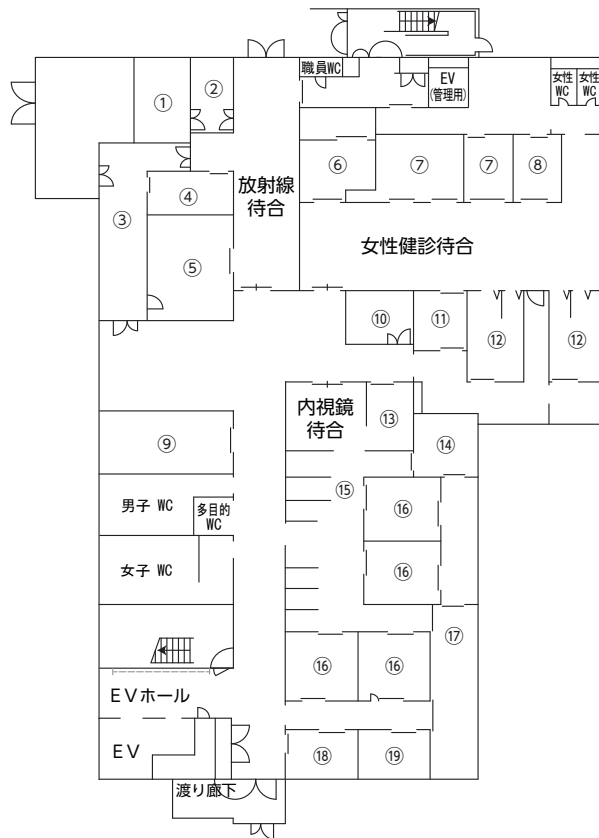
- ①総合健診部事務室
- ②看護準備室
- ③面談室（1～6）
- ④パントリー
- ⑤レストラン
- ⑥個室待合
- ⑦男子更衣室
- ⑧女子更衣室

2F



- ①読影室
- ②操作室
- ③胸部X線室
- ④胃部X線室（1～3）
- ⑤予備室
- ⑥心電図室（1～2）
- ⑦超音波室（1～6）
- ⑧聴力・視力室
- ⑨眼圧・眼底室（1～2）
- ⑩身体測定室
- ⑪肺機能検査室
- ⑫採血室
- ⑬静養室
- ⑭血圧コーナー
- ⑮採尿回収室

B1F



- ① 幼児聴力検査室
- ② 前室
- ③ 操作室
- ④ 骨密度測定室
- ⑤ C T室
- ⑥ 乳房X線室
- ⑦ 乳房超音波・診察室（1～2）
- ⑧ 乳房問診室
- ⑨ 倉庫
- ⑩ 物品庫
- ⑪ 子宮問診室
- ⑫ 子宮診察室（1～2）
- ⑬ 静養室
- ⑭ 看護準備室
- ⑮ 前処置室
- ⑯ 内視鏡検査室（1～4）
- ⑰ 洗浄室
- ⑱ 滅菌室
- ⑲ 器材室

5 センターの沿革

法人のあゆみ

昭和48年度

- 5月 茨城県議会議長あて「メディカルセンター建設用地の県有地貸与請願書」提出，茨城県医師会長
 - 9月 茨城県医師会メディカルセンター建設準備委員会設置（県医師会，市郡医師会長会議）
 - 3月 茨城県医師会代議員会「メディカルセンター設立のため会員の協力を得て計画の具体化を進める」決議
-

昭和49年度

- 4月 県有地貸与不採択通知（茨城県議会）
 - 10月 東京営林局長あて「国有地貸与申請書」提出，茨城県医師会長
 - 2月 農林大臣あて茨城県メディカルセンター建設用地貸与願いの「陳情書」提出，茨城県医師会長
 - 3月 茨城県医師会代議員会で「メディカルセンター建設用地早期解決，早期建設」決議
-

昭和50年度

- 7月 茨城県メディカルセンター設立準備委員会発足（常任部会，運営部会，建設部会，資金部会）
 - 9月 建設用地貸借について，県衛生部長，東京営林局長合意
茨城県医師会臨時代議員会
 - ・財団法人 茨城県メディカルセンター設立承認
 - ・財団法人 茨城県メディカルセンター寄付行為承認
 - ・財団法人 茨城県メディカルセンター設立代表者に県医師会長を指名
 - ・基本財産：3,000万円，運用財産：1,000万円の寄付行為を承認「財団法人 茨城県メディカルセンター」設立許可申請書を茨城県知事あて提出
 - 9月29日付，茨城県医指令第196号を以て設立許可される 【創立】
「財団法人 茨城県メディカルセンター」発足，事務局を県医師会館内に開設
日本自転車振興会へ51年度補助金交付要望書提出（施設の新築，健診機器整備）
 - 11月 財団法人 茨城県メディカルセンター新築工事設計及び監理委託決定
25日契約締結（委託先：株式会社三橋建設設計事務所）
 - 3月 建設用地「国有林野監理審議会」において承認される
茨城県医師会通常大委員会及び総会で「(財) 茨城県メディカルセンター建設のため医師会員全員の寄付金拠出」を決議（寄付金拠出額：340,000千円）
-

昭和51年度

- 6月 診療所開設許可 水保指令 第111号
 - 8月 建設用地（笠原苗畑跡地）使用許可 水戸営林署長
 - 9月 起 工 式
-

昭和52年度

- 6月 上 棟 式
 - 10月 移動健診センター事業開始（現産業保健事業）
 - 2月 竣 工 式
-

昭和53年度

- 6月 総合健診センター事業開始
- 7月 救急医療情報コントロールセンター事業開始（県北地区）
保険医療機関指定（保 第997号）
救急医療情報コントロールセンター全県稼動
- 10月 健康増進センター事業開始
母子保健センター事業開始

昭和54年度

- 4月 中小企業労働者健康管理事業助成制度に係る健康診断機関の指定を受ける
特殊健康診断業務開始
学校保健センター事業開始
- 5月 笠原神社創祀（5月11日を例祭日とする）
- 8月 聴覚センター事業開始
- 9月 視覚センター事業開始
救急医療情報コントロールセンターシステム「優秀情報処理システム」として通産省等主唱の情報化週間
推進会議議長賞受賞

昭和55年度

- 4月 日本病院会より優良自動化健診施設の指定を受ける
- 9月 10月1日を「財団法人 茨城県メディカルセンター創立記念日」とする
- 11月 生活保護法第49条の規定による医療機関に指定される（茨城県 社福第702号）

昭和56年度

- 4月 中央労働災害防止協会の健康診断機関名簿に登載

昭和58年度

- 9月 救急医療情報コントロール室，茨城県知事より「救急功労賞」を受賞
- 2月 「救急医療情報コントロール新システム」始動式

昭和60年度

- 5月 母子保健相談業務終了（茨城県立こども病院へ移管）
- 9月 創立10周年記念式典

平成元年度

- 10月 総合健診コンピュータシステム更新
 - 3月 「救急医療情報コントロール新システム」始動式
-

平成2年度

- 12月 センター南出入口道路（茨城県用地）使用許可
センター南出入口道路開通式
-

平成3年度

- 2月 茨城県あて「建物増築承認申請書」提出
 - 3月 産業保健健診棟（別館）工事請負契約を株式会社田村工務店と締結
-

平成4年度

- 4月 茨城県より建物増築承認書受理
 - 3月 産業保健健診棟（別館）完成，竣工式
-

平成7年度

- 7月 「シンボルマーク，標語」の制定
 - 8月 広報誌「いずみ」発行（以降定期発刊）
 - 9月 創立20周年記念式典
 - 11月 新健診システム稼動（IBM機）
-

平成8年度

- 4月 日本総合健診医学会より優良施設に認定される
-

平成9年度

- 11月 すこやかフェスティバルへ参加（健康科学センター）
人間ドック受診者20万人達成（11月18日達成）
 - 2月 「広域災害・救急医療情報システム」始動式（3月1日運用開始）
-

平成10年度

- 3月 新ビジョン（第1期）中長期計画の策定
-

平成11年度

- 4月 日本総合健診医学会より優良施設認定更新
 - 7月 ホームページ開設（7月19日開始）
 - 11月 正面玄関館名表示看板の設置
 - 2月 館名石の設置（南側入口）
-

平成13年度

- 6月 人間ドック受診者25万人達成（6月1日達成）
 - 3月 総合案内板設置
-

平成14年度

- 4月 日本総合健診医学会より優良施設認定更新
 - 10月 大好き茨城県民まつり参加
 - 1月 国道50号バイパス案内表示板設置
-

平成15年度

- 4月 マンモグラフィ検診施設画像認定施設の認定（4月1日）
 - 5月 日本臨床細胞学会施設の認定（H15. 5～H24. 5）
 - 9月 北側駐車場増設工事完了
 - 12月 全館空調機器一式更新
 - 2月 第1回IMC学会開催（以降毎年開催）
-

平成16年度

- 8月 小児救急医療電話相談事業開始（8月25日）
防火優良施設特例認定の交付
 - 9月 人間ドック受診者30万人達成（9月21日達成）
 - 2月 非常用発電機一式更新
-

平成17年度

- 4月 日本総合健診医学会より優良施設認定更新
 - 9月 創立30周年記念式典
 - 2月 胃部エックス線TV装置更新
 - 3月 乳房エックス線撮影装置整備（茨城県補助事業）
-

平成18年度

- 10月 全館土足利用化開始
 - 11月 画像保管装置整備
 - 1月 IMC新総合システム本稼動 ・ 総合窓口業務開始
 - 2月 本館エレベータ機器リニューアル（2台）
 - 3月 視覚検診車更新（茨城県補助事業）
-

平成19年度

- 4月 日本臨床細胞学会施設認定更新
 - 9月 マンモグラフィ検診施設画像認定施設認定更新
 - 2月 電話交換機設備システム更新
-

平成20年度

- 4月 日本総合健診医学会より優良施設認定更新
健康評価施設査定機構より推薦施設（総合健診，特定健診，特定保健指導）に認定される
-

平成21年度

- 11月 本館トイレ改修
-

平成22年度

- 4月 ロビー天井改修
 - 7月 レストラン厨房改修
-

平成23年度

- 4月 日本総合健診医学会より優良施設認定更新
健康評価施設査定機構より推薦施設（総合健診，特定健診，特定保健指導）に認定更新
 - 5月 CT装置更新
-

平成24年度

- 12月 胸部X線検診車更新（全車両デジタル化）
 - 3月 茨城県知事より一般財団法人の認可を受ける
-

平成25年度

- 4月 公益法人制度改革（平成20年12月1日施工）に伴い，平成25年4月1日付で「一般財団法人」へ移行登記完了
 - 11月 画像システム更新
内視鏡検査機器更新
-

平成26年度

- 4月 日本総合健診医学会より優良施設認定更新
健康評価施設査定機構より推薦施設（人間ドック，総合健診，特定健診，特定保健指導）に認定更新
 - 10月 マンモグラフィ検診施設画像認定施設認定更新
 - 12月 総合健診委員会と健康増進委員会を統合し，総合健診委員会を発足
産業保健委員会と学校保健委員会を統合し，産業・学校保健委員会を発足
 - 1月 耐震診断を実施
 - 3月 移動電源車整備
デジタルサイネージ（電子掲示板）設置
人間ドック面談室案内モニター設置
-

平成27年度

- 6月 第2期中長期計画の策定
 - 9月 創立40周年（9月29日）
創立40周年記念スローガン制定「ささえる健康 みんなの未来」
 - 10月 創立40周年記念式典・祝賀会を開催
 - 12月 経膈超音波検査診断装置更新
 - 1月 人間ドック受診者50万人達成（1月25日達成）
 - 3月 胃部X線装置更新
-

平成28年度

- 6月 増築改修工事基本設計業務委託契約を株式会社三橋設計と締結
 - 8月 乳房超音波診断装置更新
CT検査装置更新
 - 1月 便潜血測定装置更新
全自動尿分析装置更新
全自動尿中有形成分分析装置更新
 - 2月 検査システム更新
 - 3月 胃部X線透視撮影装置更新
-

平成29年度

- 4月 新棟増築工事設計業務委託契約を株式会社三橋設計と締結
日本総合健診医学会より優良施設認定更新
健康評価施設査定機構より推薦施設（人間ドック、総合健診、特定健診、特定保健指導）に認定更新
 - 6月 心電図自動解析装置更新
 - 7月 自動採血管準備装置更新
 - 8月 全身X線骨密度測定装置設置
 - 9月 非接触型眼圧計更新
 - 1月 新棟整備工事請負契約を安藤ハザマ・鈴縫特定建設工事共同企業体と締結
新棟整備工事監理業務委託契約を株式会社三橋設計と締結
新棟建設工事起工式（1月14日）
サイボウズ・ADサーバー更新
 - 3月 検診車2号車搭載胃・胸部X線デジタル装置更新
-

平成30年度

- 4月 別館胸部X線撮影装置更新
 - 9月 小児救急医療電話相談事業終了（民間事業に移管）
 - 2月 受電設備更新
非常用発電設備一式更新
火災受信機更新
非常放送設備更新
電話交換機設備システム更新
人間ドック棟完成
 - 3月 人間ドック棟竣工式（3月24日）
検診車5号車胃部X線撮影装置更新
胸部X線撮影装置更新（人間ドック）
乳房X線撮影装置更新（人間ドック）
解析付心電計更新（人間ドック）
超音波画像診断装置設置（人間ドック）
救急医療情報コントロール事業終了（民間事業に移管）
救急医療情報委員会廃止
-

6 主な医用機器及びコンピュータ機器

(1) 総合健診部

平成31年 3月31日現在

区 分	機器等名	台数	品 番
受付・エスコート	リライトカード発行機	4	AR1000H-HP
視力・眼圧・眼底	自動視力計	2	ニデック NV-350
	非接触眼圧計	1	キヤノン TX-20P
	無散瞳眼底カメラ	1	キヤノン CR-2
	撮影・画像送信ノートPC	1	CanvinaCapture (DELL LATITUDE E6430)
	AOC DICOMビューワ 一式		
	リライトカードライター	4	ARCTEC AR1000H-AL
聴力	自動聴力計	4	RION AA-47
	聴力ボックス	2	RION
	データプリンター	1	RION AA-47 コントローラ AB31
	リライトカードライター	2	ARCTEC AR1000H-AL
血圧・面談	全自動血圧計	4	UDEX-Twin TYPE-1
	面接支援PC	1	LENOVO 10AC000XJP
		1	RA24HLCDAUモニター
	面接支援PC	4	LENOVO 10AC000XJP
		1	Flex Scan L685 / 画像参照モニター
		3	Flex Scan EV2456
	リライトカードライター	4	ARCTEC AR1000H-AL
採血	リライトカードライター	3	ARCTEC AR1000H-AL
腹部超音波	腹部・乳房超音波診断装置	1	日立アロカメディカル ARIETTA70
	腹部・心臓兼用超音波診断装置	2	キャノンメディカルシステムズ Aplio a550
	腹部・心臓兼用超音波診断装置	3	キャノンメディカルシステムズ Aplio 500 Platinum
	腹部・乳房超音波診断装置	1	日立アロカ HI-VISION-Preirus
	リライトカードライター	6	ARCTEC AR1000H-AL
胸部X線	胸部X線撮影装置	1	キャノンメディカルシステムズ KXO-50SS/N2
	CR立位撮影装置	1	富士フイルムメディカル CALNEO スマート77
	リライトカードライター	1	ARCTEC AR1000H-AL
セスデン	リライトカードライター	1	ARCTEC AR1000H-AL2
胃部X線	胃部X線テレビ装置	3	日立 DIAVISTA DHF-155H4
		1	キャノンメディカルシステムズ DREX-AA28X21/R2
	リライトカードライター	4	ARCTEC AR1000H-AL
C T	マルチCT	1	SIMENS SOMATOM Scope
	リライトカードライター	1	ARCTEC AR1000H-AL
	ドライイメージャー	1	フジメディカル DRYPIX7000
骨粗しょう症	全身用X線骨密度測定装置	1	GE PRODIGY Fuga Advance
	リライトカードライター	1	ARCTEC AR1000H-AL
身体計測・体脂肪・肺機能	自動身長計付体組成計	1	タニタ DC-250
	肺機能測定装置	1	ミナト SYSTEM-7
	リライトカードライター	2	ARCTEC AR1000H-AL
心電図	心電図自動解析装置	1	フクダ電子 FCP-7431
	心電図自動解析装置	1	フクダ電子 FCP-7541 (微小心電図ソフト付)
	血圧脈波検査装置	1	フクダ電子 VS-1500Va Sera
	データマネージメントシステム	1	フクダ電子 EFS-8800
	リライトカードライター (心電図用)	3	ARCTEC AR1000H-AL
	リライトカードライター (腹囲用)	2	ARCTEC AR1000H-AL

区 分	機器等名	台数	品 番
乳がん検査	乳房撮影装置	1	富士フイルムメディカル FDR MS-3500
	ドライイメージャー	1	フジメディカル DRYPIX 4000
	リライトカードライター	2	ARCTEC AR1000H-AL
	乳房超音波診断装置	1	日立製作所 HI VISION Ascendus
	画像参照装置	1	EIZO (L985EX) / 東芝 EQUIUM
子宮がん検査	コルポスコピー	1	カールツァイス OPMI-1
	経膣走査超音波診断装置	1	シーメンス・ジャパン SONOVISTA FX
	診療ライト	1	アトムメディカル 390-ATM
	診療ユニット	1	アトムメディカル EU50
	検診台	1	アトムメディカル メグジョイEX
	全自動小型高圧蒸気滅菌器	1	サクラ精機 SPA-750 (別館)
	生物顕微鏡	1	ニコン
	リライトカードライター	1	ARCTEC AR1000H-AL
細胞診	マルチティーチング顕微鏡	1	ニコン X2F-MTH3
	生物顕微鏡	1	ニコン ECLIPSE 80i
胃内視鏡	上部消化管汎用スコープ	1	EG-590WR2
	上部消化管汎用経鼻スコープ	4	EG-580NW
	光源装置	1	XL-4450
	プロセッサ	1	VP-4450HD
	H R モニター	1	HRモニター90R0019-H
	内視鏡洗滌消毒装置	1	OER-3
	内視鏡吸引機	1	KV-4
	生体情報モニタ	1	BP-A308
	検診台	1	TAKARA BELMONT EX-SD6P
	光源装置 (レーザー)	1	LL-7000
	上部消化管汎用経鼻スコープ(レーザー)	4	EG-L580NW7
	リライトカードライター	1	ARCTEC AR1000H-AL
腹囲	腹囲測定装置	1	ワンズウィル meta majar DASH
その他	自動体外式除細動器	2	PHILIPS社製 ハートスタートHS1 +
健康増進室	体内脂肪計	1	竹井機器工業 タニタ TBF-410

(2) 健診普及部

区 分	機器等名	台数	品 番
健診車	<1号車>	1	日立製作所 架装ヤナセ (日野自動車)
	胸部X線DR装置	1	日立製作所 DHF-153HMS
		1	富士フイルム CALNEO (MB)
	<2号車>	1	日立製作所 架装東京特殊車体(株) (三菱ふそう)
	胃部X線DR装置	1	日立製作所 ESPACIO AVANT
	胸部X線DR装置	1	キャノン CXDI-401C COMPACT
	<3号車>循環器	1	日立製作所 架装ヤナセ (三菱)
	<5号車>	1	日立製作所 架装東京特殊車体(株) (日野自動車)
	胃部X線DR装置	1	日立製作所 ESPACIO AVANT
	<6号車>	1	日立製作所 架装東京特殊車体(株) (日野自動車)
	胸部X線DR装置	1	日立製作所 Randnext CS
		1	富士フイルム CALNEO (MB)
	<7号車>	1	キャノンメディカルシステムズ 架装東京特殊車体(株) (いすゞ)
	胸部X線DR装置	1	キャノンメディカルシステムズ SREX-A32B/11
		1	キャノン CDXI-40EG

区 分	機器等名	台数	品 番
電源車	電源車	1	北村製作所（日野自動車）
	発電機	1	エアマン SDG45AS-3B1改
身体計測	<1, 2, 6, 7号車>		
	身長計	4	エーアンドディ デジタル身長計AD6227
	体重計	4	エーアンドディ ベストサイドスケールAD6121
	<別館施設内健診会場>		
	全自動身体計測計	1	タニタ 体脂肪計BF-220
	体組成計	1	タニタ 体組成計DC-430A
視力計	<1, 2, 6, 7号車>		
	視力計	8	TOPCON スクリーノスコープSS-3
	<別館施設内健診会場>		
	視力計	2	TOPCON スクリーノスコープSS-3
聴力計	自動視力計	2	ニデック NV-350
	オーディオメータ（1号車）	1	リオン AA-58
	オーディオメータ（2号車）	1	リオン AA-56
	オーディオメータ（6号車）	1	リオン AA-58
	オーディオメータ（7号車）	1	リオン AA-58
	<別館施設内健診会場>		
	聴力計	3	リオン AA-56
		1	リオン AA-58
血圧計	聴力ボックス（騒音検査用）	1	リオン AT-61
	<1, 2, 6, 7号車>		
	水銀レス血圧計	11	エーアンドディ UM-102
	自動血圧計	8	オムロン HBP-1300
	<別館施設内健診会場>		
	全自動血圧計	3	エルクエスト Udex-Twin TYPE1
	<学校健診用>		
	自動血圧計	10	エーアンドディ TM-2655P
	自動血圧計	2	テルモ エルマーノ
	自動血圧計	2	オムロン HEM1010
	自動血圧計	1	オムロン HEM7051
	自動血圧計	8	オムロン HEM7220
採血	遠心機（1号車）	1	コクサン H-19FM
	遠心機（2号車）	1	コクサン H-19 α
	遠心機（6, 7号車）	2	コクサン H-19FM
	遠心機（学校用）	2	久保田 2010
	遠心機（施設内用）	1	久保田 2010
		2	コクサン H-19 α
眼底	デジタル眼底カメラ（施設内用）	3	キヤノン CR1-MARK II
心電図	心電図自動解析装置（1号車）	1	フクダ電子 FCP-7541
	心電図自動解析装置（別館施設内用, 6号車）	2	フクダ電子 FCP-7431
	心電図自動解析装置（7号車）	1	フクダ電子 FCP-8700
	<学校健診用>		
	心電図自動解析装置	3	フクダ電子 FCP-7431
	心電図自動解析装置	1	フクダ電子 FCP-8700
	心音・心電図自動解析装置	4	フクダ電子 ECP-7641
各種検査	ハンディーターミナル（巡回健診用）	56	キャノン
	リライトカードライター（施設内健診用）	17	ARCTEC AR1000H-AL
受付	リライトカード発行機（施設内健診用）	1	ARCTEC AR1000H-HP
肺機能	肺機能計測器（スパイロ）（施設内健診用）	2	ミナト オートスパイロAS-507

区 分	機器等名	台数	品 番
腹部超音波	<別館施設内健診会場>		
	腹部超音波診断装置	1	東芝 xario200
	腹部超音波診断装置	1	日立 Noblus
	腹部超音波診断装置	1	日立 Nv-Light
	腹部超音波診断装置	1	東芝 SSA-640A
胸部X線	<別館施設内健診会場>		
	胸部X線撮影用装置	1	キャノン CDXI-40EC
		1	キャノンメディカルシステムズ MRAD-A50S
胃部X線	<別館施設内健診会場>		
	胃部X線テレビ装置	1	キャノンメディカルシステムズ Raffine-i
V D T	<別館施設内健診会場>		
	オートレフラクトレンズメーター	2	ニデック AR-1 α
	電動近点計	2	トーマコーポレーションNP-3000
	VDT視力計	2	トーマコーポレーションCA-1000
	非接触眼圧計	2	キャノン TX-20P
振動	<別館施設内健診会場>		
	皮ふ温測定温度計	1	インテグラル MDD4
	振動感覚測定器	1	リオン AU-02B
電離	ハロゲン診断器セット（施設内健診用）	1	ナイツ BXA-12345
	ハロゲン診断器セット（施設内健診用）	1	ナイツ BX-12345
腹囲	自動腹囲測定器	1	ワンズ meta-major-DASH
その他	<1号車>		
	自動体外式除細動器	1	日本光電 AED-3100
	<2号車>		
	自動体外式除細動器	1	日本光電 AED-3100
	<6号車>		
	自動体外式除細動器	1	日本光電 AED-3100
	<7号車>		
	自動体外式除細動器	1	日本光電 AED-3100
	<別館施設内健診会場>		
	自動体外式除細動器	1	日本光電 AED-2100
	超音波骨評価装置	2	アロカ AOS-100NW

(3) 臨床検査業務／検査室関係

区 分	機器等名	台数	品 番
遠心器関係	卓上遠心器	1	日立 CT-6EL
	卓上多本架遠心器	1	日立 CF-9RX
流し台関係	検査用流し台	1	オリエンタル技研
	洗浄室流し台	1	オリエンタル技研 PNB-800
	塩ビ制流し台	1	オリエンタル技研 PNB-1800
冷蔵庫関係	薬品用冷蔵ショーケース	1	日立 RC-M15C
	冷蔵庫	1	ホシザキ RSC-120B
	薬品用冷蔵庫	1	ホシザキ RSC-120C
	薬品用冷蔵庫	1	サンヨー MPR-414FRS
	薬品用冷蔵庫	1	ホシザキ RSC-120A
	フリーザー	1	日本フリーザー マイバイオキューブDTF-35
設備機器	水平回転式振とう器	1	サクラ精機 VP-10B
	超音波洗浄装置	1	サクラ精機 US-201S
	乾熱滅菌器	1	ヤマト SH-62
	超音波ピペット洗浄機	1	シャープ UT-55
	卓上型換気装置	1	興研ラミネーターテーブル HD-01

区 分	機器等名	台数	品 番
一般検査分析関係	全自動尿分析装置	1	栄研化学 US-3500plus
	全自動尿中有形成分分析装置	1	シスメックス UF-5000
	尿沈渣顕微鏡	1	オリンパス BHS-F-SET (BH2)
	尿沈渣顕微鏡	1	ニコン ECLIPSE 50i
	便潜血検査	1	栄研化学 OC-SENSOR PLEDIA
	便潜血検査	1	栄研化学 OC-SENSOR PLEDIA
血液分析装置関係	血液学的検査 (自動血球計数装置)	1	シスメックス XE2100L
	血液学的検査(多項目自動血球計数装置)	1	シスメックス XE-AlphaN
	血液学的検査(自動グリコヘモグロビン装置)	2	アークレイ アダムスA1C HA-8181
	生化学的検査 (生化学自動分析装置)	1	日立 LABOSPECT 008
	全自動化学発光免疫測定装置	1	アボットジャパン アーキテクト i2000SR
	水平回転振とう器	1	サクラ精機 VP-10B
	ピペット洗浄機	1	シャープ UT-55
	生化学自動分析装置	1	日立 LABOSPECT 008
	自動開栓機	1	マイクロニクス社
	純水装置	1	日立 WPSH-100
	自動化学発光酵素免疫分析装置	1	和光製薬 Sphere Light Wako
	卓上多本架遠心器	1	日立 himac CF9RX
	卓上遠心器	1	日立 himac CT6EL

(4) 読影室関係

区 分	機器等名	台数	品 番
読影室 (人間ドック棟)	医用画像高精細観察装置	5	富士フイルムメディカル/参照用ビューワ4Mカラー1面 (R) 32bit
	ドライイメージャー	1	富士メディカル DRYPIX 7000
	バリウムミキサー	1	
別館 (現像室)	バリウムミキサー	4	サーマル科学産業 BP-10特型
	放射線測定器	1	ビクトリーン社 450P型 電離箱式サーベイメータ
	胸、腹部用X線ファントム	1	京都科学 WAC型
外部読影用	医用画像高精細観察装置 (塩山Dr)	1	キャノンメディカルシステムズ/東芝 TPC-7300GI
	医用画像高精細観察装置 (茨城県立中央病院)	2	キャノンメディカルシステムズ/東芝 TPC-7300GI
	医用画像高精細観察装置 (水戸協同病院)	1	キャノンメディカルシステムズ/東芝 TPC-7300GI
	医用画像高精細観察装置 (水戸医療センター)	1	キャノンメディカルシステムズ/東芝 TPC-7300GI

(5) 公共事業部

区 分	機器等名	台数	品 番
視覚検診 (固定センター)	戸塚残像複像検査装置	1	TOC
	日点ミニ・スペースPL乳幼児視力検査器	1	日本点眼薬研究所 (茨城県整備)
	レフラクトメーターⅡ型 (手動式)	1	トプコン
	ウィーカースアダプトメーター	1	スイスハーグストレイト社
	自動視野計	1	カールツァイスHFAⅡ (茨城県整備)
	フォトスリットランプ	1	カールツァイス
	検眼レンズ	1	TOC 137型
	双眼倒像検眼鏡	1	キーラー
	スリットランプ (ポータブルタイプ)	1	コーワ SL-17
	ダイノプター	1	TOCEE-022
	電気眼圧計	1	TOCEE-013
	アプラネーショントノメーター付スリットランプ	1	スイスハーグストレイト社 900BMV(茨城県整備)
	弱視レンズトライアルセット	1	ニコン
	薬用冷蔵ショーケース	1	サンヨー MPR-162D (CN)
	ランタン色覚検査器	1	TOCEG-020
	小児用レンズ	1	オリルス BK-61E
	深径色覚検査器	1	TOC

区 分	機器等名	台数	品 番
視覚検診 (固定センター)	字ひとつ視力検査装置	1	はんだや HE-63 (茨城県整備)
	眼鏡測定器	1	ニデック LM-600P (茨城県整備)
	検眼レンズボタンカーブ	1	TOCレンズ40通
	動体視力検査装置	1	コーワ AS-4A型
	視力検査装置	2	タカギセイコー VC-30 (茨城県整備)
	アコモドポリレコーダー	1	コーワ HS-90型
	検眼レンズ	1	ニコン 検眼レンズセット S-1
	網膜視機能検査装置	1	TOCEA-251型
	自動屈折角膜検査装置	1	ニデック オートレフラクトメーター ARK-900
	自動屈折角膜検査装置	1	キヤノン RK-F2 (茨城県整備)
	自動屈折角膜検査装置(ハンディータイプ)	1	ニデック HandyRef-K (茨城県整備)
	非接触眼圧計	1	キヤノン TX-20P (茨城県整備)
	MTSマスタートライアルレンズ	1	保谷レンズHOYA-S1
	稲葉式近点距離計	1	高田機器
	検眼レンズセット	1	はんだやHE-70A (茨城県整備)
	アノマロスコープ	1	TOC二型
	ジャバルセツツオフサルモメーター	1	スイスハーグストレイト社
	シノプトフォア	1	クレメントクラーク社 2001 (茨城県整備)
	超音波診断装置	1	バイオフィジックメディカル オフサスキャンB MEB-5304
	誘発電位検査装置	1	日本光電 MEB-5304
	新型コージナトル	1	はんだや (茨城県整備)
	ロカリザートルコレクトール	1	リーサ
	電光残像装置	1	リーサ
	検眼レンズ	1	TOCモダック斜面立箱EA224
	ゴールドマンペリメーター	1	スイスハーグストレイト社 940ST
	スポットビジョンスクリーナー	1	ウェルチアレン社 SV-100S-B
	オクルパッド	2	ジパンフォーカス
	眼底カメラ付き光干渉断層計	1	ニデック RS-330 (茨城県整備)
	検眼レンズセット	1	鈴弥光器 (茨城県整備)
視覚検診 (巡回)	字ひとつ視力検査装置	1	興和オブチドコーワAVC-35型
	検眼レンズセット	1	ニコン S-2型
	眼鏡測定器	1	ニデック LM-600P
	自動屈折角膜検査装置	1	ニデック ARK-1a (茨城県整備)
	無反射視力検査装置	1	高木製作所 VC-22型
聴覚検診	高圧滅菌器	1	東邦製作所 サーボクレーブ TE-241ER (茨城県整備)
	耳鼻科患者用診療椅子	1	第一医科 癒 FTC-1-KC (茨城県整備)
	耳鼻科用診療ユニット	1	第一医科 ステラFU-STE NS片側 (茨城県整備)
	誘発電位検査装置	1	日本電気三栄 SYNAX/ER-1100
	誘発電位検査装置	1	日本電気 MEB-9404 (茨城県整備)
	聴性定常反応 (ASSR) 検査装置	1	日本光電 580-NAVPRO (茨城県整備)
	インピーダンスオージオメータ	1	リオン RS-22 (茨城県整備)
	インピーダンスオージオメータ	1	リオン RS-21
	新生児用オージオメータ	1	リオン TB-03 (茨城県整備)
	聴能訓練用AVシステム	1	ソニー
	補聴器特性測定装置	1	フライ FONIX6500CX (茨城県整備)
	補聴器特性測定装置	1	フライ FONIX-8000 (茨城県整備)
	騒音計一式	1	リオン 精密騒音計NL-14騒音解析装置SA-74A
	語音聴力検査装置	1	インターアコースティックAD629 (茨城県整備)
	オージオメータ	1	リオン AA-HI (茨城県整備)
	オージオメータ	1	リオン AA-74 (茨城県整備)
	乳幼児用オージオメータ	1	リオン TB-01N
	幼児聴力測定装置	1	永島医科器械 S-II
	幼児聴力検査システム	1	リオン (茨城県整備)

※メーカー名は購入時のものとする。

7 学会及び研修会

期 日	学会及び研修会	開催地	出張者	
H30 4. 14～15	第115回日本内科学会総会	みやこめっせ (京都府)	所 長	石 光 敏 行
			消化器・内視鏡センター長	齋 藤 洋 子
14	2018 国際医用画像総合展	パシフィコ横浜 (神奈川県)	係 長	西木戸 理 子
			診療放射線技師	森 博 美
			診療放射線技師	廣 澤 幸 恵
			診療放射線技師	小 西 智 希
14	第74回日本放射線技術学会総会学術大会	パシフィコ横浜 (神奈川県)	診療放射線技師	廣 澤 幸 恵
14	腹部エコー初心者集中スクール	US-Lead本郷ラーニング センター (東京都)	臨床検査技師	山 田 里佳子
29	つくばピンクリボンフェスティバル2018	つくば国際会議場 (つくば市)	部 長	春 日 きくえ
			課 長	小 林 裕治郎
			主 任	小 澤 昌 美
			看護師	佐々木 知 美
			診療放射線技師	廣 澤 幸 恵
5. 8	安全運転管理者講習会	茨城県立県民文化センター (水戸市)	課 長	檜 山 利 和
10～13	第95回日本消化器内視鏡学会総会	グランドプリンスホテル 新高輪 (東京都)	消化器・内視鏡センター長	齋 藤 洋 子
19	平成30年度全国がん検診指導者講習会	フクラシア八重洲 (東京都)	消化器・内視鏡センター長	齋 藤 洋 子
22	平成30年度耐震対策緊急促進事業説明会	ビジョンセンター東京 (東京都)	次 長	市 村 優 一
			主 任	木 村 直 樹
6. 8～9	第57回消化器がん検診学会総会	新潟県民会館・りゅーとびあ (新潟県)	消化器・内視鏡センター長	齋 藤 洋 子
			部 長	皆 川 京 子
			診療放射線技師	早 川 修 太
8～10	日本超音波医学会第91回学術集会	神戸国際会議場 (兵庫県)	所 長	石 光 敏 行
8	日本人間ドック健診協会 平成30年度通常総会	主婦会館プラザエフ (東京都)	部 長	春 日 きくえ
12	平成30年度公益・一般法人のための 給与に関する法的知識と計算実務	損保会館 (東京都)	係 長	須 藤 有 美
24	腎・泌尿器&婦人科領域の超音波検査を 学ぶ	ソラシティカンファレンス センター (東京都)	主 任	小 澤 昌 美
28～30	第27回日本脳ドック学会総会	いわて県民情報 交流センター (岩手県)	所 長	石 光 敏 行
			室長補佐	井 坂 昭 彦
			主 任	木 村 直 樹
28～30	第24回日本ヘリコバクター学会学術集会	レンブラントホテル大分 (大分県)	消化器・内視鏡センター長	齋 藤 洋 子
30	健康運動指導士・登録更新のための 認定講習会	茨城県立県民文化センター (水戸市)	副参事兼課長補佐	深 谷 由美子

期 日	学会及び研修会	開催地	出張者	
H30 7. 4～5	茨城県公社等連絡協議会 第1部課程研修	いこいの村涸沼 (銚田市)	臨床検査技師	梶 田 真 衣
			言語聴覚士	高 畠 麻 央
5	日本人間ドック健診協会 第14回これからの健診事業を考える会	主婦会館プラザエフ (東京都)	次 長	清 水 亮 一
			課長補佐	大 場 栄 次
6～8	第74回日本弱視斜視学会総会	倉敷市民会館 (岡山県)	視能訓練士	和 田 由美子
			視能訓練士	朝 日 千 瑛
12～13	第52回公益・一般法人夏期特別講習会	損保会館 (東京都)	事務局長	長谷川 正 哉
			次 長	市 村 優 一
16	基礎から学ぶ超音波工学講座	全国家電会館 (東京都)	臨床検査技師	角 井 ひとみ
24～25	全国労働衛生団体連合会 検体検査研修会	東京三田NNビル (東京都)	臨床検査技師	梶 田 真 衣
29	心電図判読塾	全国家電会館 (東京都)	臨床検査技師	梶 田 真 衣
8. 10	茨城県公社等連絡協議会 企画書作成について	茨城県開発公社ビル (水戸市)	係 長	宇佐美 昌 枝
			主 任	廣 木 和 幸
			言語聴覚士	高 畠 麻 央
19	超音波検査士を目指す方のための試験 対策臨床セミナー	全国家電会館 (東京都)	臨床検査技師	角 井 ひとみ
22	茨城県公社等連絡協議会 ライフプランセミナー	建設技術管理センター (水戸市)	係 長	豊 田 浩
25	平成30年度関東甲信越医師会連合会 医師会共同利用施設分科会	東京都医師会館 (東京都)	事務局長	長谷川 正 哉
			次 長	市 村 優 一
			係 長	須 藤 有 美
28～29	VDT・眼科領域健康診断研修会	グランパークカンファレンス (東京都)	看護師	布 瀬 みのり
29～31	第59回日本人間ドック学会学術大会	朱鷺メッセ (新潟県)	所 長	石 光 敏 行
			消化器・内視鏡センター長	齋 藤 洋 子
			事務局長	長谷川 正 哉
			次 長	市 村 優 一
			部 長	舟 橋 勝 也
			課 長	小 林 裕治郎
			科長補佐	渋谷 祐 子
			係 長	小 泉 美 保
			主 任	広 瀬 千 鶴
			主 事	雨 谷 清 人
			臨床検査技師	軽 部 未沙稀

期 日	学会及び研修会	開催地	出張者	
H30 9. 6～7	茨城県公社等連絡協議会 第2部課程研修	茨城県学校給食会 (水戸市)	臨床検査技師	山 田 里佳子
			主 事	滝 田 舞
			看護師	藤 井 志 穂
			主 事	長 山 昇 平
7～9	第66回日本心臓病学会学術集会	大阪国際会議場 (大阪府)	所 長	石 光 敏 行
23	腹部エコーマスター講座	損保会館 (東京都)	主 査	相 川 輝 美
27～28	茨城県公社等連絡協議会 第3部課程研修	茨城県学校給食会 (水戸市)	主 任	廣 木 和 幸
29	腹部超音波検査研修会 (中級コース)	グランパークカンファレンス (東京都)	主 査	川 又 尚 子
10. 11～13	日本臨床検査自動化学会第50回大会	神戸国際会議場 (兵庫県)	主 任	小 岸 友 美
			臨床検査技師	山 田 里佳子
16	全国公益法人協会 実践簿記会計講座 (基礎コース)	全国町村議員会館 (東京都)	主 事	西 野 文 子
17～20	第63回日本聴覚医学会総会・学術講演会	神戸国際会議場 (兵庫県)	係 長	小 室 久美子
			言語聴覚士	内 田 紗保子
18～19	茨城県公社等連絡協議会 第4部課程研修	茨城県学校給食会 (水戸市)	係 長	市 村 淳 子
24～26	平成30年度全国学校保健・安全研究大会	鹿児島市民文化ホール他 (鹿児島県)	次 長	清 水 亮 一
			主 任	廣 木 和 幸
26	茨城県公社等連絡協議会 クレーム電話応対講座 (初級)	茨城県学校給食会 (水戸市)	主 事	大 山 真 来
28	第154回マンモグラフィ更新技術講習会	富士フィルム本社 (東京都)	係 長	西木戸 理 子
29～ 11. 2	JDDW 2018	神戸コンベンション センター他 (兵庫県)	消化器・内視鏡センター長	齋 藤 洋 子
			部 長	皆 川 京 子
			事務局長	長谷川 正 哉
			次 長	清 水 亮 一
			主 査	久 野 和 美
			主 任	福 田 具 基
			診療放射線技師	鈴 木 由美子
			診療放射線技師	廣 澤 幸 恵
11. 1～2	第19回茨城県健診施設事務局長連絡会議	ホテル・ザ・ウエスト ヒルズ水戸 (水戸市)	次 長	市 村 優 一
			課 長	大 山 公 一
			室長補佐	井 坂 昭 彦
			課長補佐	大 場 栄 次

期 日	学会及び研修会	開催地	出張者	
H30 11. 4	超音波検査士を目指す方のための 超音波工学基礎セミナー	全国家電会館 (東京都)	臨床検査技師	角 井 ひとみ
9～10	第73回日本大腸肛門病学会学術集会	京王プラザホテル (東京都)	消化器・内視鏡センター長	齋 藤 洋 子
9	第34回茨城乳がん検診研究会	つくば国際会議場 (つくば市)	科長補佐	鬼 沢 孝 子
			主 査	川 又 尚 子
			主 任	小 岸 友 美
13	常陽産研セミナー 一日で学ぶ税務の基礎講座	茨城県開発公社ビル (水戸市)	主 事	雨 谷 清 人
14～15	茨城県公社等連絡協議会 第5部課程研修	国民宿舎鶴の岬 (日立市)	課 長	中 崎 達 也
			科長補佐	鬼 沢 孝 子
22	平成30年度保険者交流会	主婦会館プラザエフ (東京都)	次 長	市 村 優 一
			課 長	小 林 裕治郎
22～24	第28回日本乳癌検診学会学術総会	大阪国際会議場 (大阪府)	主 査	川 又 尚 子
12. 10	副安全運転管理者講習会	茨城県立県民文化センター (水戸市)	主 任	秋 葉 徹
14	第2回乳がん検診従事者講演会	東京都がん検診センター (東京都)	係 長	西木戸 理 子
15	超音波スクリーニング研修講演会2018	TOC五反田メッセ (東京都)	臨床検査技師	竹 内 麻菜美
			臨床検査技師	田 波 結 香
17～18	保健師・看護師等研修会 (保健指導コース)	グランパークカンファレンス (東京都)	看護師	川野邊 雅 子
H31 1. 13～14	日本超音波検査学会 第133回医用超音波講義講習会	東京国際フォーラム (東京都)	係 長	佐 久 多貴子
18	平成30年度「J-START全国連絡会議」	フクラシア東京ステーション (東京都)	部 長	春 日 きくえ
19	日立胃がんX線検診セミナー	上野イーストタワー (東京都)	診療放射線技師	早 川 修 太
23～25	日立自動分析装置研修会	日立ハイテクノロジーズ 東京テクニカルセンタ (東京都)	臨床検査技師	軽 部 未沙稀
24	茨城県公社等連絡協議会 働き方改革について	茨城県開発公社ビル (水戸市)	課 長	大 山 公 一

期 日	学会及び研修会	開催地	出張者	
H31 2. 1～2	日本総合健診医学会第47回大会	新横浜プリンスホテル (神奈川県)	所 長	石 光 敏 行
			部 長	石 渡 陽 子
			事務局長	長谷川 正 哉
			次 長	市 村 優 一
			部 長	春 日 きくえ
			科 長	舟 橋 勝 也
			係 長	鈴 木 紀 子
			主 任	福 田 具 基
			主 任	川 西 恭 子
			主 任	小 岸 友 美
			看護師	佐々木 知 美
			主 事	大 山 真 來
			主 事	小 林 亮 太
			主 事	滝 田 舞
			嘱 託	加 藤 翔 子
15～16	平成30年度胸部X線検査研修会	東京三田NNビル (東京都)	診療放射線技師	廣 澤 幸 恵
16	第18回肺がんCT検診認定技師更新講習会	駒澤大学 (東京都)	診療放射線技師	小 西 智 希
16～17	第9回乳房超音波技術講習会	結核予防会結核研究所 (東京都)	臨床検査技師	角 井 ひとみ
18	特殊健康診断研修会	グランパークカンファレンス (東京都)	看護師	藤 井 恵美子
22	契約医療機関事務説明会	星陵会館 (東京都)	主 査	久 野 和 美
			主 任	廣 木 和 幸
23	胸部初級コース	水戸済生会総合病院 (水戸市)	臨床検査技師	軽 部 未沙稀
			臨床検査技師	梶 田 真 衣
3. 1	全国公益法人協会 「決算書及び定期提出書類作成事務」	全国町村議員会館 (東京都)	主 任	雨 谷 清 人
8～10	第18回国際消化器内視鏡セミナー	新横浜プリンスホテル (神奈川県)	消化器・内視鏡センター長	齋 藤 洋 子
29～31	第83回日本循環器学会学術集会	パシフィコ横浜 (神奈川県)	所 長	石 光 敏 行

第 3 章 業 績 目 録

1 学会・研究発表

期日	学会・講演会	開催地	発表課題	発表者及び共同研究者
H30. 7. 26	平成30年度 母子保健推進研修会	水戸市保健センター (茨城県)	難聴児の早期発見について 聴覚スクリーニング検査の重要性	○ 小 室 久美子
8. 30 ～31	第59回日本人間ドック 学会学術大会	朱鷺メッセ (新潟県)	クレジットカードの導入経験 ～開始後3年間の利用状況と 問題点～	○ 広 瀬 千 鶴
				石 光 敏 行
				小 林 裕治郎
				久 野 和 美
				宇佐美 昌 枝
				浅 野 純 子
				大 山 真 来
			春 日 きくえ	
11. 1 ～ 4	第56回日本消化器がん 検診学会大会	神戸コンベンション センター (兵庫県)	茨城県の消化器がん検診から 胃がん・大腸がん検診のこれ からを考える	○ 齋 藤 洋 子
			任意型胃X線検診における読 影判定区分の運用と評価	○ 皆 川 京 子
				齋 藤 洋 子
				鈴 木 由美子
				廣 澤 幸 恵
				早 川 修 太
				岡 安 啓 介
				西木戸 理 子
				栁 原 淳
				富 山 芳 丈
			当センターにおける除菌治療 の現状と除菌前後の胃X線画 像の検討	○ 鈴 木 由美子
				岡 安 啓 介
				栁 原 淳
				西木戸 理 子
				早 川 修 太
				富 山 芳 丈
				皆 川 京 子
				齋 藤 洋 子
			当センターの胃X線画像での ピロリ感染の有無と胃がんリ スク層別化検査の比較	○ 廣 澤 幸 恵
				岡 安 啓 介
				栁 原 淳
				西木戸 理 子
				早 川 修 太
				鈴 木 由美子
				富 山 芳 丈
				皆 川 京 子
				齋 藤 洋 子
H31. 2. 1 ～ 2	日本総合健診医学会 第47回大会	新横浜プリンスホテル (神奈川県)	人間ドック時のオプション心 エコー検査と胸部CT検査が診 断の契機となったバルサルバ 洞動脈瘤の1例	○ 石 光 敏 行
			ストレスチェック制度の実施 に伴う安全衛生委員会の改善 とその成果	佐 久 多貴子
				小 澤 昌 美
				相 川 輝 美
				○ 福 田 具 基
				石 光 敏 行
				大 武 正 樹
				井 坂 昭 彦
				木 村 直 樹
				市 村 優 一
				長谷川 正 哉

※○印は発表者を示す。

平成30年度事業年報

発 行 2019年10月

発行者 一般財団法人 茨城県メディカルセンター
〒310-8581 水戸市笠原町489
T E L 029-243-1111(代表)
F A X 029-243-1108